

易占入門

附 觀相.家相.手相.姓名判断.農家曆の手引

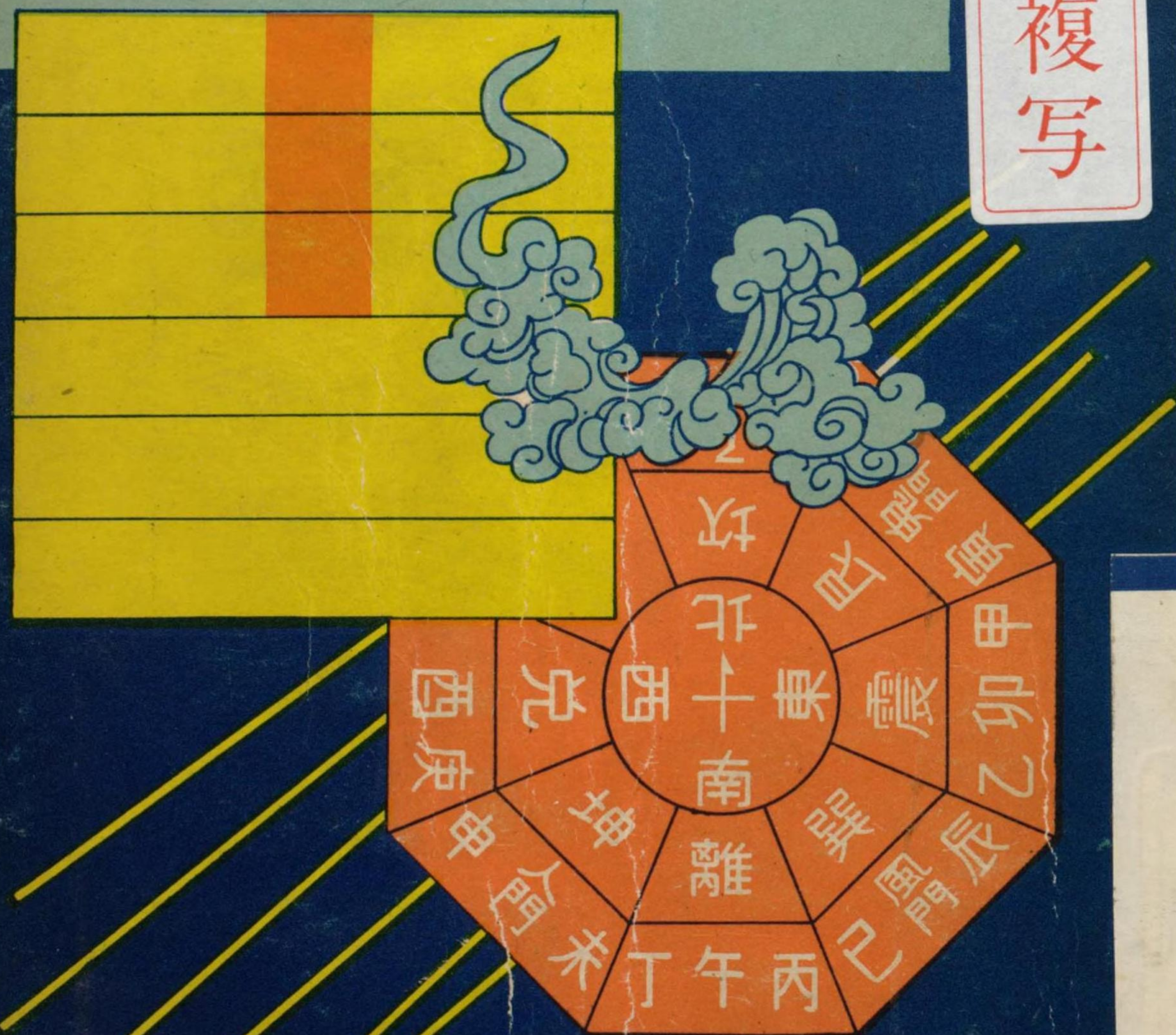
神山五黄著

148.6
Ko678e



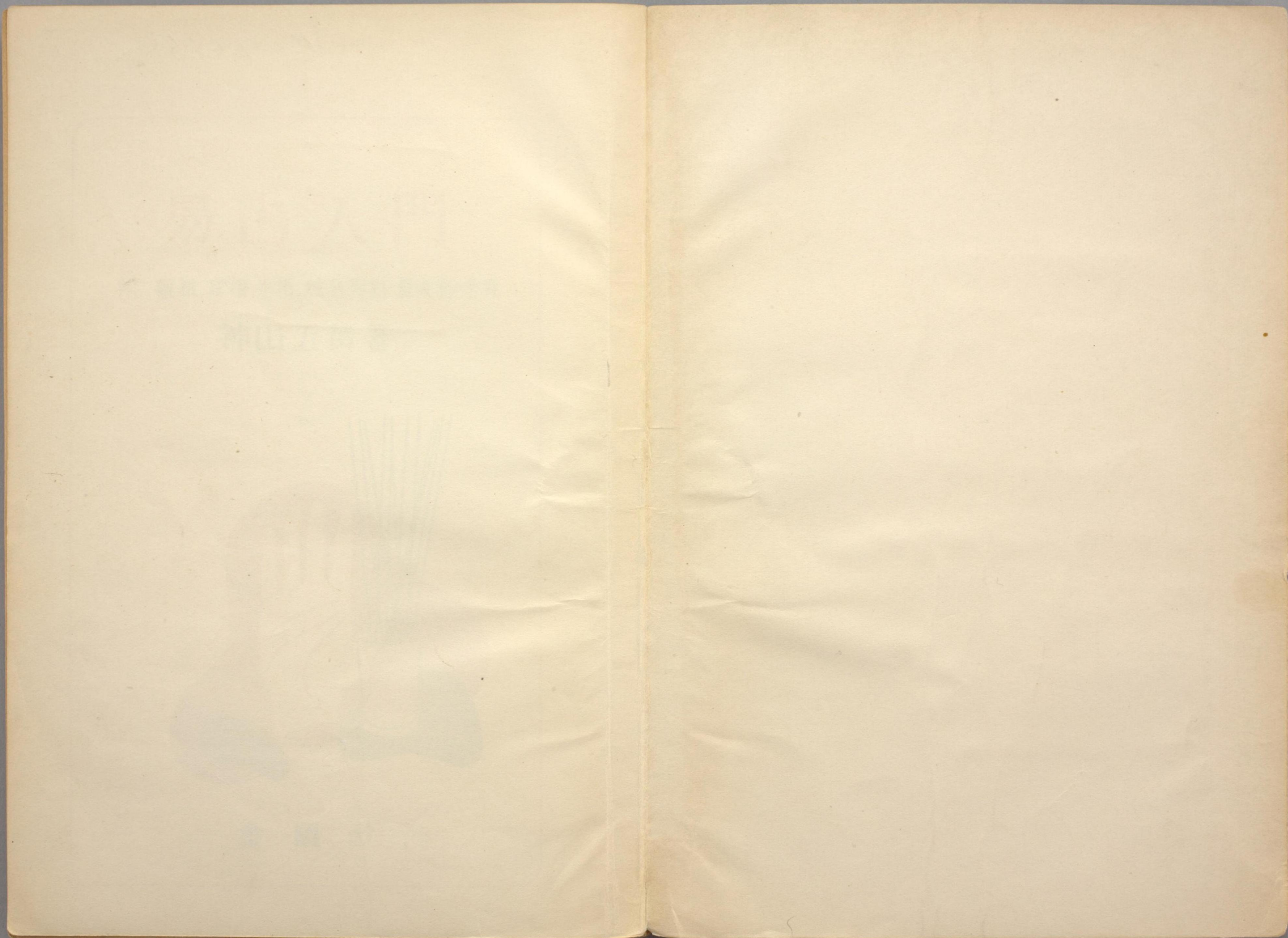
00395026

×
複写



金園社





易占入門

附 觀相.家相.手相.姓名判断 農家曆の手引

神山五黄著



金園社

148.6K0678e



395026

易占入門 目次

序 説……………一

第一章 易義例……………二

一、八卦……………三

二、上卦(外卦)下卦(内卦)……………三

三、爻……………四

四、象……………五

五、陰陽の消長……………七

第二章 六十四卦の名称図解……………八

上経……………八

下経……………一〇

第三章 占筮法の説明……………二二

一、占筮法に対する第一要件……………二三

二、略筮法による本卦の求め方……………二三

三、略筮法による変卦の求め方……………二七

四、筮竹を用ひざる簡単なる占筮法……………二二

五、立筮の際に於ける……………二二

精神統一に対する注意……………二六

第四章 易卦の占断応用……………二七

一、本卦による占断応用……………二七

二、本卦と変卦とを……………二七

対照とする場合の占断応用……………二九

第五章 六十四卦の解説と

其占断応用

一、乾	三
二、坤	三
三、屯	三
四、蒙	三
五、需	三
六、訟	三
七、師	三
八、比	三
九、小畜	三
十、履	三
十一、泰	三

十二、否	三
十三、同人	三
十四、大有	三
十五、謙	三
十六、豫	三
十七、隨	三
十八、蠱	三
十九、臨	三
廿、觀	三
廿一、噬嗑	三
廿二、賁	三
廿三、剝	三
廿四、復	三
廿五、无妄	三
廿六、大畜	三

廿七、頤	七
廿八、大過	七
廿九、坎	六
卅、離	六
卅一、咸	六
卅二、恒	六
卅三、遯	七
卅四、大壯	六
卅五、晉	九
卅六、明夷	九
卅七、家人	九
卅八、睽	九
卅九、蹇	九
四十、解	九
四一、損	一〇
四二、益	一〇
四三、夬	一〇
四四、姤	一〇
四五、萃	一〇
四六、升	一〇
四七、困	一〇
四八、井	一〇
四九、革	一〇
五十、鼎	一〇
五一、震	一〇
五二、艮	一〇
五三、漸	一〇
五四、歸妹	一〇
五五、豐	一〇
五六、旅	一〇

五七、巽	二六	眉の現わす運命種々相	二六
五八、兌	二六	耳の現わす運命種々相	二六
五九、渙	二九		
六十、節	三三		
六一、中孚	三三		
六二、小過	三四		
六三、既濟	三六		
六四、未濟	三六		
序説	一四一		
第六章 人相学手引	一四三		
鼻の現わす運命種々相	一四四		
口の現わす運命種々相	一四七		
眼の現わす運命種々相	一五三		
		第七章 手相学手引	一七五
		第八章 家相学手引	一八七
		第九章 姓名学手引	二二
		(終)	

易 占 入 門

序 説

易が如何なる目的を以て作られたものであるか、又何を説き示さんとして居るかと云ふ問題は、極めて深奥複雑な問題であつて、今これを簡単に解説することは至難なことであるが、概略して考へて見ると、第一に占筮を目的として居り、第二に人間の修養の道を説き示して居り、第三に宇宙の神祕を解かんとする哲學であると云ふことが出来ると思ふ。

諸易學の眞髓と目的とを概説すると 上述の三點にあると考へるのであるが、今これを詳説しようとするれば、學問的に見て一大事業であつて、膨大なる著述となり、限られたる本書に於て、これを説き盡すことは不可能であるし、第一著者の本書執筆の目的は、以上に掲げた易學の三大目的の中の一つである。易學の占筮應用と云ふ點にあり、従つて本書に於いては、その學理的解説は、これを出来る限り簡単に止め、占筮應用と云ふ點に力を注いだことであるから、讀者に對して、豫め此點を了解せられて、本書を読んで頂くやうに希望する所である。然し易理乃ち易の經文の解説と云ふ點に於い

ても、簡單ではあるが、その大意を解し得る爲には、出来るだけ意を用ゐたつもりであるから、假令解説が簡單であつて、深淵なる易理を究めるには不充分の恨みは免れないとは云つても、その大意は却つて簡明にこれを會得して頂けることゝ、著者の竊に信ずる所である。又易占に對する應用と云ふ點に就いては、著者が特に意を用ゐた所ではあるが、何分社會人事の問題は非常に複雑多岐であつて、その凡ゆる問題を網羅し盡すと云ふことは、限られたる紙面に於いては、これ亦望み難い所であるから、讀者はこれを諒とせられて、本書に於いて説き示せる、易占應用の項を熟讀含味された上で、本書に於いて説明が及ばなかつた問題に對しては、讀者自身が本書の説明を参照せられて、各自に工夫を凝らされ、實占の妙用を會得せられるやうに切望する所である。然らば如何なる社會人事の問題でも、これを的確明快に占斷し得らるゝに至ることを確信するものである。

第一章 易 義 例

易は他の學問と違つて、特殊の學問であるだけに、特殊の、名稱、構成、用語等があつて、豫めこれ等に對する豫備智識を了得して居ないと、その解説の了解に苦しむことが多々あるものである、以下これ等の、名稱、構成、用語等の中で、本書の解説を理解するに當つて、特に必要であると考えた

項目に就いて、解り易く説明することにする。

一、八 卦

卦は畫で、乃ち宇宙の萬事萬物を形象化し、これを具現するものである。易に於いては、八卦乃ち、☰乾、☲兌、☱離、☴震、☵巽、☶坎、☷艮、☷坤の八卦が基礎となつて居り、この八卦を以つて、天地間の森羅萬象を現して居るものである。而してこの八卦の中の二卦が相錯して易の六十四卦を構成することになるのである。例へば、乾の卦と兌の卦が相錯して☱天澤履の卦となり、又☰乾の卦と☱離の卦とが相錯して☲天火同人の卦となるが如くである。

二、上卦（外卦）、下卦（内卦）

前述せる如く、八卦の中の二卦が相錯して易の六十四卦が構成されるのであるが、此の場合に上位する卦を上卦（又外卦とも云ふ）、下に位するものを下卦（又内卦とも云ふ）と稱するのである。これを圖解すれば左の如くである。

地天泰の卦 上卦(又は外卦) 下卦(又は内卦)

凡て上圖の如く何れの卦にても上に位する卦を上卦と云ひ、下に位する卦を下卦と云ふのである。

三、爻

爻とは卦中の一畫を指して云ふものであつて、卦を構成する本となるものである。而して爻とは交と同義で、易の變化を相交へて示せる義である。凡そ易の六十四卦は、何れも此の爻の六つづゝから構成されるものであるが、その場合に、各爻の名稱は、その最下位にあるものを初爻(一爻)と云ひ、それより順次下より上へ數へて、二番目の爻を二爻、三番目の爻を三爻、四番目の爻を四爻、五番目の爻を五爻と云ひ、最上位にあるものを上爻(六爻)と云ふのである。今これを圖解を以て示せば左の如くである。

水火既濟の卦 上爻 五爻 四爻 三爻 二爻 初爻

六十四卦を構成する凡ての爻は、皆陰陽二體の何れかに屬し、陰を柔となし、順となし、陽を剛となし、健となし、占筮の場合に當つて、陰は陽に變じ、陽は陰に變じて、易の妙理妙用を現すもので

ある。而して此の陰陽を形によつて現す時は、陰は「二」の形にて現し、陽は「一」の形にて現すものである。今これを圖解を以て示せば左の如くである。

水火既濟 陰 陽 陰 陽 陰 陽
水火未濟 陽 陰 陽 陰 陽 陰

四、象

古來「象なくして易なし」と云はれて居る程で、象と云ふことは易學上最も重要な位置を占めるものである。元來「象」とは、熱帯地方に住する巨獸のことであるが、古は交通が不便であつた爲に、人が未だその實物を見ることが出來ず、偶その牙や骨を見てその形状の巨大なることを想像せしことより轉じて、想像の義となり、總べて類似の物にかたどることを象と云つたのである。易に於いて象と云ふのは、一卦六爻を以て宇宙の森羅萬象の形状に象どりて、その象によつてこれを形容説明するものであつて、乃ち小にしては人事の失得憂虞、大にしては宇宙の運行變轉に至るまで、悉く一卦六爻の中に包含せらるゝものである。今左に八卦の現す象の數例を参考として列舉して見ることにする。

二 乾の現す象の例

天、太陽、君主、父、夫、秋、首、龍、獅子、肺臟、米、豆、大智、高貴、勇猛、決斷、富貴、驕奢、赤色、白色等、

☷ 坤の現す象の例

地、月、庶民、母、妻、夏秋の間、腹、牛、牝馬、恭敬、安靜、謙讓、黄色等、

☳ 震の現す象の例

雷、浮雲、賢人、長男、春二月、鶴、髮、果物、電氣、地震、憤激、發奮、立志、躁動、疾行、青色等

☴ 巽の現す象の例

風、霞、春夏の間、長女、鶏、蟲、鏡、蔬菜、不決斷、隨從、肱、股等

☵ 坎の現す象の例

水。雨。冬。中男。盜賊。血。腎臟。狐。險難。愛執。奸計。黑色。赤色等

☲ 離の現す象の例

日。火。電。虹。霞。五月。中女。心臟。眼。雉。螢。詩文。花木。宮。性急。美麗。文明。赤色紫色等

☶ 艮の現す象の例

山。雲。嵐。少男。手。指。骨。冬春の間。惰夫。虎。鼠。偏固。遲滯。黄色等

☱ 兌の現す象の例

澤。雨。露。雪。秋。少女。歌妓。肝臟。羊。猿。樂器。紙。筆。灌木。濕草。水邊。池。和悅愛好。色情。白色等

五、陰陽の消長

易に於いては、陰陽の消長と云ふことを非常に重視するものであつて、陽の次第に盛長することを悦びてこれを吉とするものであり、反對に陰が次第に榮え長じて陽の消退することを憂ひてこれを凶とするもので、此の陰陽消長の理に基きて吉凶を説くことが多いものである。今六十四卦の中よりその二、三の例を擧げてこれを示せば、地雷復☱☷、地天泰☶☳、等の卦は、陽が長じて陰が消する卦であるからこれを吉とし、天地否☷☰、山地剝☶☶、等の卦は、反對に陰が長じて陽が消する卦であるからこれを凶とするが如きである。此の陰陽消長の理と、その占斷應用に就いては、後章に於いて詳説する所であるから、これを熟讀含味せらるれば自ら明かとなるに至るものである。

第二章 六十四卦の名稱と圖解

上經

乾	坤	艮	上卦	乾
兌	坎	坎	下卦	乾
天澤履	地水師	山水蒙	乾為天	坤
坤	坎	坎	坤	坤
乾	坤	乾	坤	坤
地天泰	水地比	水天需	坤為地	坎
乾	巽	乾	坎	震
坤	乾	坎	震	水雷屯
天地否	風天小畜	天水訟		

六十四卦圖解

九

兌	乾	艮	坤	震	乾
巽	震	離	兌	坤	離
澤風大過	天雷无妄	山火賁	地澤臨	雷地豫	天火同人
坎	艮	艮	巽	兌	離
坎	乾	坤	坤	震	乾
坎為水	山天大畜	山地剝	風地觀	澤雷隨	火天大有
離	艮	坤	離	艮	坤
離	震	震	震	巽	艮
離為火	山雷頤	地雷復	火雷噬嗑	山風蠱	地山謙

下經

澤天夬	雷水解	風火家人	雷天大壯	澤山咸
天風姤	山澤損	火澤睽	火地晉	雷風恒
澤地萃	風雷益	水山蹇	地火明夷	天山遯

風澤中孚	兌為澤	雷火豐	艮為山	澤火革	地風升
雷山小過	風水渙	火山旅	風山漸	火風鼎	澤水困
水火既濟	水澤節	巽為風	雷澤歸妹	震為雷	水風井

Handwritten numbers: 118/34



第三章 占筮法の説明

一、占筮法に對する第一の條件

占筮法には、略筮法があり、中筮法があり、又本筮法があり、その他にも、年月日時を以て筮を立てる法、文字の畫數を以て筮を起す法等色々の法式があつて、その正非に就いてもそれ／＼論議があるのであるが、本書は直截簡明を主として執筆せることであるから、以上の諸法式の中で、最も適切と考へた略筮法によることとした。元來著者の信念に依れば、これ等の法式と云ふことは、占筮的確を得るに對しては第二義的であつて、第一の要件は、筮を立てる者の精神と易理の研究に透徹して居ると云ふことであり、特に立筮者の精神如何が根本要件であると信ずるものである。乃ち筮を立てる者の精神が至眞至純でなければならぬのであつて、若し立筮者の精神に邪念慾心があつては、肝

腎の精神統一と云ふことが出來ず、従つて神人合一の神祕境に到達することが出來ないから、的確なる卦を求め得ることは望み得ないと信ずるのである。故に易によつて占斷を行はんとする者は、常に精神の修養を第一として、邪念慾心を斷ち、至純至眞の心を保つやうに心掛けることが何よりも大切な要件であつて、その上に易理の研究に努め、その眞理に徹底して、これを活用することが肝要である。以上の二つの要件が完全を得たならば、必ず占斷の的中を得るに至ることを著者は確信するものである。

尙次手に一言して置くが、占筮の的中を得ると云ふことは、單に立筮者の精神態度に依るだけではなく、占筮を求め人、即ち求筮者の精神態度と云ふことにも重大なる關係があるのであつて、求筮者に敬虔なる心がなく、所謂「當るも八卦、當らぬも八卦」と云ふやうな不眞面目な態度であつては、立筮者と求筮者との精神的感應と云ふことが得られないから、従つて占斷の的中を見るに至るものである。故に立筮者は常に求筮者に對して人格の尊嚴を持し、求筮者より尊敬と信賴の心を得るやうに心掛けねばならず、又求筮者に對して易占に對する敬虔の念を要求すべきである。

二、略筮法による本卦の求め方

略筮法による本卦の求め方は、先づ姿勢を正して静座し、六本の算木を取つて、左圖の如く地天泰の卦として目前に列べるのである。



次に五十本の筮竹を取り、先づその数を調べた上で、両手を以て目八分に捧げ、心を清淨に持ち、誠心を籠め、目を閉ぢ、口を固く結び、心を丹田（下腹）に納め、息を凝らして自分の占はんとする事項に一心を籠めて神を念じ、一切の雑念を去つて所謂無我の境に入るのである。そこで先づ五十本の筮竹の中から一本を抜取つて傍に置くのである。茲で特に注意して置くことは、此の最初に抜取つた一本の筮竹は、易の太極に象どり、神靈をこれに倚らしめる意味のもので、極めて重要なものであるから、卦を立て終る迄は絶対に動かさないと云ふことである。次に太極の一本を抜取つた残りの四十九本を再び目八分に捧げ、前の通りに一心を籠めて無我の境に入り、これを左右へ二分するのである。次に二分した筮竹で右手の方に残つた分の方から一本を抜取つて、これを左手の方に残つた分へ加へるのである。そして此の左手にある筮竹から八本づゝ數へて段々と取除いて行くのである。さうする

と最後に残つた筮竹の數は、一本か、二本か、三本か、四本か、五本か、六本か、七本か、又は八本となる譯である。

今これを實例を以て示せば

四十九本の筮竹を二分した場合に

●右手の方が二十五本、左手の方が二十四本であつた場合には、右手の分の一本を抜取つて左手の分に加へると、左手の分の二十四本が二十五本になる譯で、此二十五本から八本づゝを取除いて行くくと、三回取除けて最後に一本だけ残ることになる譯である。

同様に

●初めに右手の分が二十四本で、左手の分が二十五本であつた場合には、左手の分の最後に残る數は二本となり。

●右手の分が二十三本、左手の分が二十六本の場合は、残りが三本

●右手の分が二十二本、左手の分が二十七本の場合は、残りが四本

●右手の分が二十一本、左手の分が二十八本の場合は、残りが五本

●右手の分が二十本、左手の分が二十九本の場合は、残りが六本

- 右手の分が十九本、左手の分が三十本の場合は、残りが七本
- 右手の方が十八本、左手の分が三十一本の場合は、残りが八本となる譯である。

儲右の如くに残つた筮竹の數によつて八卦の中の何の卦を得たかを定めるのであつて、乃ち

- 左手の残りが一本の場合は乾☰となり
- 左手の残りが二本の場合は兌☱となり
- 左手の残りが三本の場合は離☲となり
- 左手の残りが四本の場合は震☳となり
- 左手の残りが五本の場合は巽☴となり
- 左手の残りが六本の場合は坎☵となり
- 左手の残りが七本の場合は艮☶となり
- 左手の残りが八本の場合は坤☷となるのである。

以上の方法によつて、先づ初めに求め得た卦は、これを下卦として、目前に列べてある地天泰の下卦を、此の求め得た卦に置換へるのである。次に全く右と同様の方法を繰返して、求め得た卦を上卦

として地天泰の上卦をこれに置換へるのである。これで完全に本卦を求め得たことになるのである。今次に實例を以てこれを示せば

● 初めに立てた時に、右手に二十三本、左手に二十六本となつたとすれば、上述の方法を終つた最後に、左手の残りが三本になる譯であるから、下卦として☲離の卦を求め得たことになるから、地天泰の下卦の☲乾を☲離に置替へ、次に再び同様の方法を繰返した結果、今度は、右手が二十五本、左手が二十四本に二分されたとすると、最後に左手の残りが一本になる譯であるから、上卦として☲乾の卦を求め得たことになるから、地天泰の上卦の☷坤を☲乾に置替へるのである。乃ちこれ以上上卦は☲乾、下卦は☲離で

結局 ☲☲ 乾 ☲☲ 離 ☲☲ 天火同人の卦を本卦として求め得たことになるのである。

三、略筮法による變卦の求め方

變卦と云ふのは、前述の方法に依つて本卦を求め得た次に、その本卦の六爻の中の何れかの一爻を求め、此の爻の陰陽の變化によつて、本卦が六十四卦の中の何れか他の卦に變つた場合の卦を指して云ふのであつて、此の求め得た、本卦と變卦とを對照して、占はんとした問題に最後の占斷を下す

のである。

儲それでは此變卦の求め方は如何なる方法に依るべきかと云ふに、

先に本卦を求めた場合に、最初に太極として一本を抜取つた残りの四十九本を、本卦を求めた時と同じく無我の境に入つてこれを二分し、右手の方の分から一本を抜取つて左手の方に加へ、此の左手の方の筮竹を、今度は六本づゝ取除いて行つて最後に残つた筮竹の數によつて定めるのである。此場合特に注意すべきことは、本卦を求めた時に最初に太極として取除いて置いた一本は、最後迄その儘に取除いて置いて、四十九本だけを用ゐると云ふことゝ、又卦を求めた場合は、卦は八卦であるから、左手の分から八本づゝ取除いて行つたのであるが、爻を求める場合には、爻は六爻から成立つてゐるから、今度は六本づゝ取除いて行くのであると云ふことである。

今右の爻を求める方法を委しく説明すれば左の如くである。乃ち

四十九本の筮竹を左右に兩分して、右手の分の一本を左手の分へ加へ、此の左手の分から六本づゝ取除いて行くと、左手の分の残りは、最後に一本か、二本か、三本か、四本か、五本か、又は六本となる譯であつて、此場合一本残つた時は、一爻乃ち初爻、二本残つた時は、二爻、三本残つた時は三爻、四本残つた時は四爻、五本残つた時は五爻、又六本残つた時は六爻乃ち上爻を求め得たことにな

る譯である。

今これを實例を以て示せば左の如くである。

●四十九本を二分した場合に、右手に二十五本、左手に二十四本となつた時は、右手の一本を抜取つて左手の分に加へると、左手の筮竹の數は二十五本となつて、これから六本づゝ取除いて行くと、四回取除けて最後に一本残ることになるから、一爻乃ち初爻を求め得たことになるのである。同様に、

●右手の分が二十四本、左手の分が二十五本となつた場合は、残りが二本となるから二爻を得た譯であり、

●右手の分が二十三本、左手の分が二十六本となつた場合は、残りが三本となるから、三爻を得た譯であり

●右手の分が二十二本、左手の分が廿七本となつた場合は、残りが四本となるから、四爻を得た譯であり

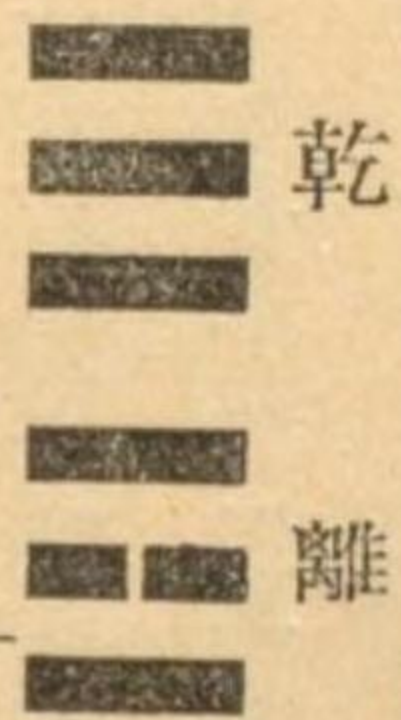
●右手の分が二十一本、左手の分が二十八本となつた場合は、残りが五本となるから、五爻を得た譯であり

●右手の分が二十本、左手の分が二十九本となつた場合は、残りが六本となるから、六爻乃ち上爻となる譯である。

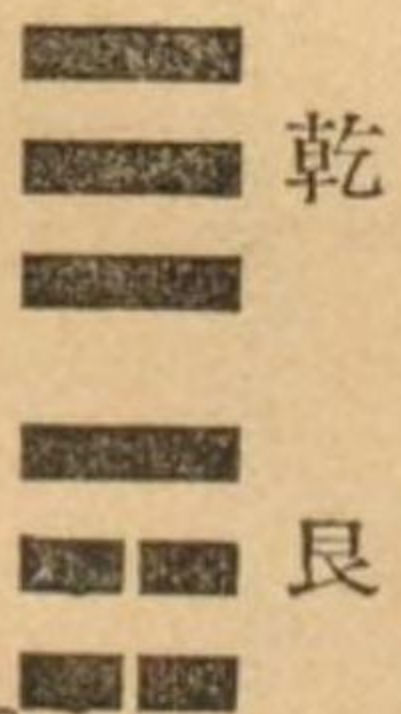
以上の方法で爻を求めるのであつて、かくして求め得た爻が陽爻であつた場合には、變じて陰となり、又陰爻であつた場合には變じて陽となつて、變卦が出来るのである。

今此の本卦より變卦を得る順序を實例を以て示せば左の如くである。乃ち先づ本卦を求めた場合に、前に本卦を求める實例として示した如く、天火同人 ䷌ の卦を得たとして、次に爻を求めた場合に、右手の分が二十五本となり、左手の分が二十四本となつたとすれば、右手の二十五本から一本を抜取つて左手の二十四本に加へると、左手の分が二十五本となり、これから六本づゝ取除いて行くと、四回取除けて最後に一本残ることになるから、一爻乃ち初爻を得たことになる譯であるが、本卦天火同人の初爻は陽であるから、これが陰に變じて同人の下卦の離 ䷄ が艮 ䷳ となつて、變卦は天山遯 ䷠ になるのである。これを圖解すれば左の如くである。

本 卦 (天火同人)



變 卦 (天山遯)



初爻の陽が變じて陰となつたのである

以上で本卦と變卦とを求める方法の説明を終つたのであるが、茲に一寸注意して置くことは、著者が易占の研究者からよく質問を受けることは、卦を求めた場合に、例へば右手の分が十八本、左手の分が三十一本となつたとすると、右手の分の一本を取つて左手の分の三十一本に加へると、左手の分が三十二本となり、これから八本づゝ取除いて行くと、四回目で一本も無くなることになるから、此の場合に残りが一本も無いから卦が求められないではないかと云ふ質問である。これは一寸最もものやうであるが、それは讀者の錯覺であつて、残りが一本も無くなつたのではなく、八本づゝ三回取除いて、残りが八本となつたのであつて、乃ち坤の卦を得たことになる譯である。此の點はなんでもない様なことであつて最初にはよく陥る錯覺であるから、念の爲に一寸一言注意して置く次第である。尙爻を定める場合もこれと同様であつて、左手の分が二十四本となつたやうな時は、三回取除いて残りが六本となるのであつて、乃ち上交(六爻)を得たことになる譯である。

四、筮竹を用ゐざる簡單なる占筮法

現在の社會情勢では、算木筮竹を手に入れることがなか／＼困難であると思ふし、又上述せる筮竹を用ゐる占筮法は、初めの人には一寸面倒に思はれて、最初には取着き憎い憂ひがあると考へられる

し、又獨り占ひをしやうとする場合とか、旅行中等の場合には算木筮竹を用ゐざる簡單なる占筮法によることが便宜と思ふので、次に筮竹を用ゐざる簡單なる占筮法を説明することにする。

先づ此の方法を用ゐるには、第一にトランプのカードのやうな厚い丈夫な紙片を六枚用意することが必要であり、第二にそのカードの一枚、一枚に、それ〴〵一、二、三、四、五、六の數字を記入して置くことが必要である。

さて上記の六枚のカードの中、一、三、五の數は奇數であるから、その數字を記入したカードは陽に當り、二、四、六の數は偶數であるから、その數字を記入したカードは陰に當ることになるのである。そこで此の六枚のカードをよく切込んでから、精神統一を行ひ無念無想になつて今占はんとする問題に精神を集注して、その一枚を抜取るのである。その結果抜取つた一枚のカードに記入された數字が、一、三、五の何れかであつたら、陽であるから、先づ初爻を陽として記録し、若しその數字が、二、四、六の何れかであつたら、陰であるから、先づ初爻を陰として記録するのである。以下順次に同様の方法で二爻、三爻、四爻、五爻、上爻の陰陽を決定して記録して行くのである。さうすれば、六回によつて自然に六十四卦中の何れかの一卦を求め得ることになる譯である。

今實例によつてこれを示せば次の如くである。乃ち

第一回に六枚のカードの中から抜取つた一枚のカードに記入された數字が三であつた場合には陽であるから、初爻を陽(一)と記録し、

第二回に抜取つたカードに記入された數字が二であつた場合には陰であるから、二爻を陰(二)と

記録し

第三回に抜取つたカードに記入された數字が一であつた場合には陽であるから、三爻を陽(三)と

記録し

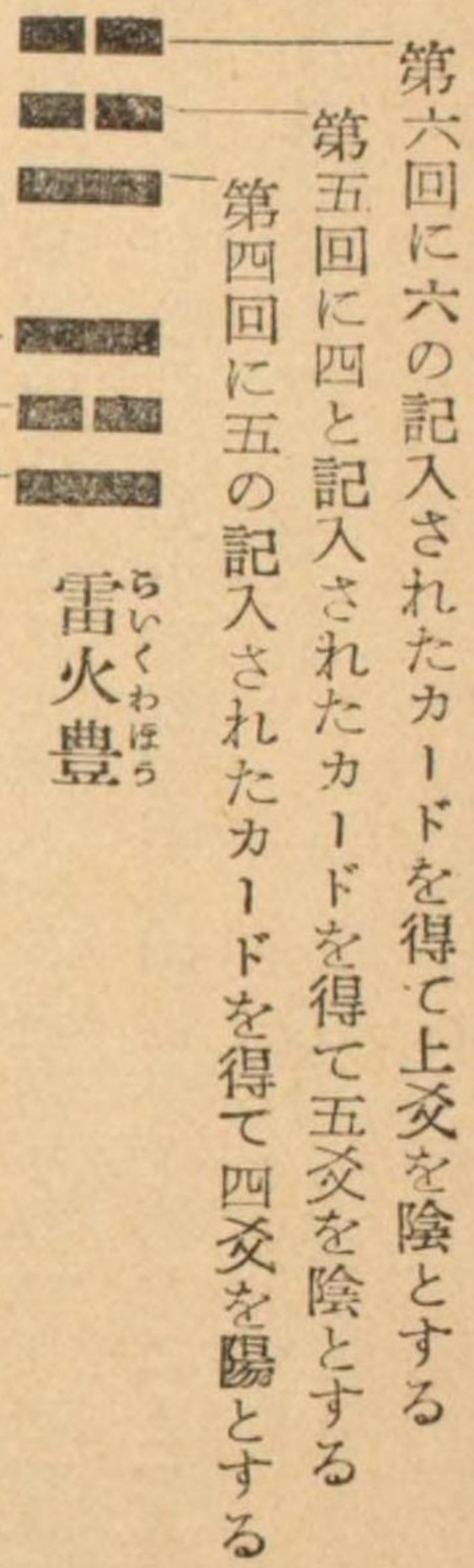
第四回に抜取つたカードに記入された數字が五であつた場合には陽であるから、四爻を陽(四)と

記録し

第五回に抜取つたカードに記入された數字が四であつた場合には陰であるから、五爻を陰(五)と

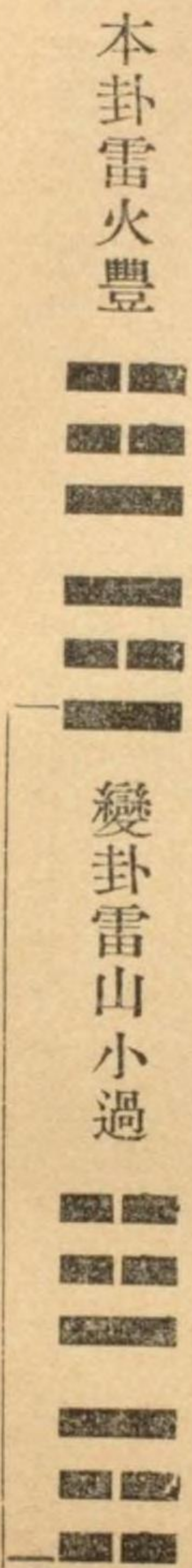
記録し

第六回に抜取つたカードに記入された數字が六であつた場合には陰であるから、上爻を陰(六)と記録するのである。乃ちこれで雷火豐の卦を得たことになり、これが本卦となるのである。今これを圖解すれば左の如くである。



第一回に三の記入されたカードを得て初爻を陽とする
 第二回に二の記入されたカードを得て二爻を陰とする
 第三回に一の記入されたカードを得て三爻を陽とする

以上の方法によつて本卦に雷火豊を得たのであるが、次に變卦を求めるには、六枚のカードから一枚を抜取つて、そのカードに記入された数字によつて爻を定め、その爻の陰陽の變化によつて變卦を決定するのであつて極めて簡單である。例へば本卦に上記の如く雷火豊の卦を得、次いで六枚のカードの中から一枚を抜取つて、一の数字を記入したカードを得たとすれば、一爻乃ち初爻を得たこととなるから、雷火豊の初爻の陽が變じて陰となり、變卦は雷山小過 の卦となる譯である。今これを圖解すれば左の如くである。



上圖の如く抜取つたカードに記入された数字が一であつたので乃ち初爻を得たことになり、本卦豊の初爻の陽が陰に變じて、従つて變卦は小過の卦となつたのである。

次に今一つ實例を示せば、六枚のカードから一枚を抜取つて、そのカードに記入された数字が六であつたとすれば、六爻乃ち上爻を得たことになるから、雷火豊の上爻の陰が變じて陽となり、變卦は離爲火となるのである。

今これを圖解によつて示せば左の如くである。



上圖の如く抜取つたカードに記入された数字が六であつたので、六爻乃ち上爻を得たことになり、本卦雷火豊の上爻の陰が陽に變じて、變卦は離爲火となつたのである。

以上の説明によつて、筮竹を用ゐざる占筮法を理解されたことと思ふが、これを占斷に應用するに當つては、右の占筮法によつて求め得たる本卦と變卦とを六十四卦の各卦に照合して、その卦の意義と占斷應用の項を適用して、それ〴〵所要の問題に對して占斷を下されば良いのである。

五、立筮の際に於ける精神統一に對する注意

立筮の際に、どうしても精神を統一して無我の境地に入ることが出来ないうで困るが、如何なる方法に依つたが良いかと云ふことも、屢著者の受ける質問の一つである。此の點は一寸簡單に答へることが出来ぬことではあるが、第一精神の統一とか、無我の境地とか云ふことに囚はれることが既に否けないのであつて、さうした事にはこだはらず、假令立筮の際に雜念が生じたり、周囲の事が耳に入つたりしても、さうした事には頓着せず、恰も水の流るゝが如き心持ちになつて、自己の占はんとする問題に精神を集注して居れば、ある切那又は瞬間に於いて、一種のひらめきと云ふか、氣合と云ふか、さうした時が生じて、占はうとする問題に合一する時があるものである。乃ちその切那に筮竹をサツと兩分すれば良いのである。斯くの如くにして度を重ね、修鍊を積んで行けば、いつとはなく自悟自得の境に達して、精神の統一も容易に行はれ、無我の境地にも入り得るやうになるものである。勿論それには、日常の精神修養と人格の完成が何よりも必要であることは云ふ迄もない所である。

第四章 易卦の占斷應用

易卦の占斷應用に就いては、次の第五章六十四卦の解説の所で、著者の今日迄の研究と體驗に基いて、社會人事の問題に關して 出来るだけ廣く且委しく説明して置いたから、讀者はこれを参照して占斷上に活用されたいのであるが、元來易卦の占斷應用と云ふことは、求め得た卦の象と意義とを活用して占斷を下すのであるが、公式を當てはめて數學の問題を解くやうに型にはまつたものではなく、占筮者の頭の働きと工夫創意に依つて、易の理論を縦横に活用して、その問題の性質、社會情勢等を考へた上で、變通自在とも云ふべき、獨自性と自由とを以て決斷を下すべきであつて、そこに易占の妙理と妙用が存する譯である。尤も變通自在と云つても、勿論易理を基礎とすべきことは云ふまでもないことであつて、易理を基としてこれに占筮者の常識、經驗等を働かせて最後の決定を下すべきである。従つて先づ易理に徹底することが第一要件であり、次に出來得る限り廣く深く、人間の本性を窮め、社會情勢を體得すると云ふことが肝要である。

一、本卦による占斷應用

易卦による占斷應用は、正式に云へば、求め得たる本卦と變卦とを對照して。その易理に基きて最後の斷定を下すことにあるのであるが。本卦と變卦とを對照して考へることは、その相互の關係が複雑であり、従つて斷定を下すに苦しむことがあり、特に初學の人に於ては、本卦と變卦との間の關係に迷ひ、その結果却つて斷定を下し兼ねたり、誤つた判斷に陥るやうな憂ひがあるから、占斷に習熟する迄は（特に初學者に於いては）先づ本卦だけに依つて占斷を行ひ、これに習熟して自信を得たる後に、本卦と變卦との對照による占斷應用に移つた方が良好と考へるのである。次に本卦による占斷應用法を二、三實例によつて説明することにする。

（實例一、）運勢を占つて乾爲天の卦を得たる場合の占斷應用

乾の卦は天の象で、萬物がその元氣を受けて生長發達することを示し、剛健盛大の勢ひを現すものであるから、此卦を得たる時は、運氣盛大を得て萬事順調に運び、功を遂げ利を得、地位昇進、業務繁榮を見る運勢であるが、その爲に調子に乗り、驕慢に流れ、慎しみを缺きて失敗災害を招き、折角の盛運を破る惧れがあるから、身を慎しみて盛運を保持する心掛けが肝要であると判斷するのである。尙此場合、家庭運を占つたとすれば、家運盛大の家に生れ、幸福なる運勢なるも、その爲に慢心驕奢に流れて盛運を破る憂ひがあるから慎しみが肝要であると判斷するのであり、又相場を占つたとす

れは乾は純陽の卦で剛健にして勢ひ盛なる象であるから、現在は活況を呈して高きことを示すも、陽の極は陰に傾く意があるから、今が頂上となつて先行は下るものと判斷し、賣るに利ありと斷定するが如くである。

（實例二、）運勢を占ひて天地否の卦を得たる場合の占斷應用

否の卦は、天地陰陽の二氣が交通せず、閉塞隔絶する象を現す卦であるから、此卦を得たる時は、氣運閉塞して通ぜず、萬事故障齟齬を招きて意の如く運ばず、身上窮迫困乏、業務不振、不和爭事、失敗損失、事身内との別離等を見る憂ひがあるから、何事も忍耐自重を守り、時運の解通を待つべきである。然る時は陰陽消長は自然の理であるから、必ず否が轉じて泰となり、氣運順調の運びを示す時節が到來するに至るものであると判斷するのである。

尙此場合、縁談を占つたのであれば、不和又は離別の象があるから見合せて他の縁を求め方が吉であり、又成否も否の卦の意義から見て成立の望みがないものと判斷するのであり、又賣買を占つたとすれば、故障を生じて成立せざるか、失敗損失を招くに至ると判斷するのである。

二、本卦と變卦とを對照する場合の占斷應用

占筮法によつて先づ本卦を得、次いで變卦を求めた場合に、此の本卦と變卦とを如何に應用して占斷を下すべきかと云ふに、求め得たる本卦と變卦との易理を合せ考へて、凡ゆる點から研究し、その結果兩方の易理を綜合して最後の判斷を下すべきであるが、大體に於いて本卦を現在の状態と見、變卦をこれより將來へ向つての成行きと見て判斷を下すことが妥當と考へる。今二、三の實例によつて、本卦と變卦との對照による占斷應用法を説明することにす。

(實例一) 運勢を占つて本卦に地火明夷、變卦に地天泰を得たる場合の占斷應用

明夷の卦は、光明掩はれて昏暗なる象を現す卦であるから、此卦を得たる時は、氣運非にして艱難多きことを現し、此時に當りては、身を慎しみ行ひを正しくし、忍耐を第一として時運の解通を待つべきである。然る時は、下卦の離日が地上に出で、光明を現し通達を見る時節が來るものであり、殊に今變卦に地天泰を得たるは、泰は陰陽交和して安泰隆昌を現す卦なれば、必ず時運解通し、萬事順調に運び吉利を得悦びを見るに至るものであると判斷するのである。

尙此場合、願望の成否を占つたとすれば、本卦の明夷の象より見て、故障ありて、成就せざることを見し、焦せらずして時節を待つべき時であるが、變卦が地天泰となるより見て、必ず故障が解消して望みを達し得るに至るものであると判斷するのである。

尙此場合、家庭運を占つたとすれば、初めは家運衰微せる家に生れて、苦勞艱難を見る運勢であるが、忍耐努力家運の發展を計らば、必ず時至りて家運の平安隆昌を見、幸福を得るに至るものであると判斷するのであり、又天候を占つたとすれば、現在は天候不良なるも、後には良好に轉ずると判斷するのである。

(實例二) 運勢を占つて本卦に火天大有、變卦に火澤睽を得たる場合の占斷應用

大有は日が天上に在つて萬物を照し、盛大豐有の象を現す卦であるから、此卦を得たる時は、運氣盛大を得て勢威赫々たることを示すものであるが、日中天に在るは西に傾くの初めにて、衰運の兆を藏するものであり、殊に今變卦に睽を得たるは、睽は物事相反きて氣運通ぜず、故障齟齬を招き諸事意の如く運ばざることを示すものなれば、今盛運なるも將に衰運艱難の迫れることを示すものなれば、驕りを慎しみ、奢侈を慎しめ、以て盛運を確保することが肝要であると判斷するのである。

尙此場合壽命を占つたとすれば、生來は強健長壽の生れなるも、強健なる爲に油斷慢心して不攝生に流れ、病難を招き短命に終る憂ひがあるから戒しむべきであると判斷するのであり、又試験の成績を占つたとすれば、優等の成績を得て得意満面の象なるも、その爲に慢心して勉強を怠り、次回には不成績を招く憂ひがあるから戒むべきであると判斷するのである。

諸以上で易卦の占斷應用法の説明を終つたのであるが、茲に一寸注意して置くことは、本卦と變卦とを應用して判斷する場合に、例へば待人の場合に、本卦は來ると斷じ、變卦は來らずと斷じ、又失物の場合に、本卦は出づと斷じ、變卦は出でずと斷じて、二卦の判斷が一致せず、果してその何れを取つて斷定を下すべきかに迷ふ場合があると云ふことである。此の反對矛盾は、易理に徹底し又占斷に習熟すれば、これを調節し勘案して、最後の的確なる判斷を下し得るものであるが、初學の人では困難であるから、その占斷の對照である問題が、運勢であるとか、相場であるとか、天候であるとか云ふやうに、現在より將來へ互つて變化を示す問題の場合には、本卦と變卦とを對照して占斷し、待人とか失物とか云ふやうに、右か左かと云ふが如く單一の判斷を要する問題は、本卦だけに基きて占斷し、斯くして段々易理の研究と占斷の習熟が積んだ上で、如何なる問題でも、本卦と變卦とを對照して占斷を下すやうに進んで行くべきである。

第五章 六十四卦の解説と其占斷應用

本章に於ては、六十四卦の象義と意義とを出來得る限り簡單明瞭に解説して、それに基づいて實地占斷の應用を説示せるものである。故に讀者が此章を熟讀含味せられたならば、六十四卦の意味を如何に占斷に應用すべきかと云ふことを理解されるに至ることを信するものである。吳々も讀者が六十四卦の現す意味を充分に理解されて、その意味の占斷應用に對する關係を會得せられるやうに切望する次第である。

(1) 乾爲天

乾とは天の意味である。此卦初爻から上爻迄六爻が皆陽で、一點の陰氣が無く、陽氣が集積し、滿ち充ちて居るのは天の象である。それ天は宇宙の始めから今日に至る迄、運行息むことなく、變化窮りなきものである。故に聖人が乾の卦を易經の最初に説示して、此天の理法を人事に當はめて、人も天の如く、終日勉め勵みて倦み怠ることなき様に教へ導かれたのである。又易の本義目的は天地の道を説示して、これによつて人道を教へることにあるから、先づ天道を説いた乾の卦を置き、次に地道

を説示した坤の卦を置いて天地兩道の根元性情を説き、これに基きて人道の大綱を示して居るのである。乃ち萬物は天の元氣を受けて生じ、其元氣が相交通して宜しきを得、生々發達を遂げるものであるとするのである。故に乾の卦は剛健盛大の勢ひを現すものである。

(一) 乾の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、盛大を得て萬事順調に運び、功利を遂げ、地位昇進、家業繁榮を見て吉なり。然し其爲慢心して調子に乗過ぎ、破れを招く恐れあれば慎しみを要す。尙功名榮達の象、名門富貴の象、賢明叡智の象、揚名榮達の子孫を得る象、強健の象、首長の象、我意強情に過ぎて失敗を見る象、人を侮りて失敗不利を招く象、婦人は我儘驕慢の象等あり。●願望、成就す。然し慢心を戒む●縁談、成立して吉。然し女子は高望み又は選好みして縁遅るゝか不幸を見る憂ひあり。又男子は虚榮強く剛情我儘の女に添ひて困苦する憂ひあれば注意●戀愛、成功するも相互の我儘より破るゝ憂ひあり●家庭運、家運盛大幸福の運勢なるも慢心驕奢に流れて破れを招く恐れあれば慎しむべし●子寶、健康有望の兒女を得て幸福の象也。又男兒多し。然し養育上放慢を戒しむべし。妊娠男兒なり●金談、成功す。然し心の緩みを戒しむ。●賣買、成功利益を得。但し調子に乗るべからず●相場、今高きも下る。賣りて利あり●壽命、健康長壽の生れなるも、不攝生に流れて折角の天壽を破る憂ひあれば注意、又頭、肺

の病に注意を要す●病氣、相當重態なるも體質強き爲に養生届かば全快すべし。胸部又は頭部の病氣なり●待人、來りて悦びあり●走人、高飛びせる象、發見長引く。西北を尋ぬべし●失物、出づ。然し長引く時は出で難し。西北の高所を探すべし●旅立、出でゝ吉●爭事、理ありて勝つ。但し無暗に強氣に走りて争ひを起すは凶なり●就職、目上の引立ありて成就す。將來有望なり●試験、優秀の成績を得べきも慢心を戒しむ●開業、時期を得て吉●轉業、移轉、現状を守る方吉なり●天候、晴天の象、又干魃の象あり。

(2)



坤爲地

坤とは地のことで、又順の義である。此卦は前の乾の卦とは全く反對で、初爻から上爻迄六爻が皆陰である。それ陽は其性情が剛健であるのに對して陰は和順である。乃ち乾が天を現すに對して坤は地を現すものである。そこで坤の地は天の元氣を受けて萬物を育成するものであつて、これを人間に取れば、乾は父であり、夫であつて、坤は母であり、妻である。それ萬物は天地陰陽の二氣が交通融和して育成され繁榮すると同様に、人間も亦陰陽の二氣が交合融和して生れ出で、發育するものであつて、父母、夫妻が和合一致して其所に人類の幸福繁榮が得られるのである。斯くの如く坤は乾の元

氣を受けて始めて其の働きを現すものであるから、乾が積極的であるのに對して、坤は飽く迄消極的で、受身の立場にあるものである。故に坤の卦は、平靜、和順の象を現すものである。

二、坤の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事進むを戒しめ、退守現状を守るべき時なり。此心掛けを守らば無事安泰を得べし。然しこれに反して急進妄動に走らば凶災を招くべし。尙和順平靜の心掛けを守るべき象、利慾に迷ひ理に反しての災害不利、我意に走り人に先んずる時は凶、本業本務を守り他事に心を移さざること肝要の象 辛苦を経て後吉を得る象剛、明達識の人に從ひての吉利等の象あり●願望、急速に成就せざるも氣長に進まば遂に成就すべし。焦せるべからず●縁談、吉にして成就の望みあるも、心進まざる場合は將來良縁の見込あれば、見合せて時節を待つべし●戀愛、成功す。然し感情に走り焦せる時は失敗すべし●家庭運、花やかならざるも平安幸福の象なり●子實、兒女多く和合幸福を得べし。妊娠女兒なり●金談、急には成功せざるも氣長に運ばば成就す●賣買、急ぐは不利なり。時期を待つべし●相場、安し。買つけて時を待つべし●壽命、虚弱の方なるも攝生を守らば相當の長壽を得べし●病氣、重態にはあらざるも長引く。慢性となる恐れあれば注意、腹部の病也●待人、急に來らず。時日を経て來る望みあり●走人、近所に居るべし。色情干係あり。方角西南●失物、屋内にあらざれば遺失せる也。

西南の低所を尋ぬべし●旅立、見合すべし●爭事、不利、和解すべし●就職、急に調はず。時節を待つべし●試験、成績普通也●開業、轉業、移轉、何れも時期を得ず。時節を待つべし●天候、雨天續く。

(3)



水雷屯 すいらいちゆん

屯とは物の始めの義である。此卦は乾の天と坤の地とが交はりて始めて生れ出でた卦である。乃ち下卦の震は、乾の一陽が來りて坤に交はり、一陽が二陰の下に位してこれより進み伸びんとして動く象であり、又上卦の坎は乾の一陽が來りて坤に交はり、二陰の間に陥つて悩む象である。これを物に例へて見れば、草木の種子が始めて地を破つて芽を出し、これより成長せんとするものであるが、未だ芽を出した許りの若芽で、軟弱であるから、風雨の難に逢つて伸悩むが如きものである。斯くの如く、此卦は天地の交はりの始めであるから、これを人に取れば幼兒であり、國家に取れば開國創業の時に當るものである。乃ち此卦を屯と名づけた所以である。

三、屯の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、創業の時にして多事多難の象也。輕舉妄動を慎しみ忍耐努力を肝要とす。然らば漸次困苦解

けて功を遂げ悦びを見るに至るべし。尙風水難、目上に従ひて吉、家政上の縛れ、明德の人の意見に従ひて吉等の象あり●願望、困難多きも忍耐努力せば成功の望みあり●縁談、行惱むも氣長に運ばゞ纏る望みあり。初め苦勞あるも末吉の縁也●戀愛、故障ありて多難なるも忍耐誠實を盡さば成功の望みあり●家庭運、初めは波瀾苦勞多きも後には繁榮幸福を得るに至る象也●子實、兒女多く初めは苦勞あるも末には幸福を得る象、妊娠男兒●金談、困難なるも氣長に努力せば望みあり●賈買、順調に運ばず。焦せらず時期を待つべし●相場、伸悩む●壽命、少青年時代病弱なるも攝生を守らば中年後は健康を得て相當長壽を保ち得べし●病氣、病勢變化多く相當重態にて長引くも、養生次第にて全快の望みあり。腎臟、心臓、耳鼻、神經病等の象●待人、急に來らず。時日を経て來るべし●走人、家出後轉々として苦勞し居る象、容易に判明せず●失物、現在は屋内にあるも、長引かば人手に渡りて出でず。早く探すべし。方角、東又は北●旅立、困難多く長引く。見合す方吉●爭事、長引きて困苦を見る。争ふは不利也●就職、故障ありて長引く。目上の人に依頼して氣長に努力せば成功の望みあり●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、故障ありて實行困難の象、暫く時節の到來を待つべし●天候、ぐづつく。後晴る。

(4)



山水蒙 さんすいもう

蒙とは蒙昧の義である。此卦上卦艮は山で、下卦坎は水である。今水が蒸發して霧となつて山を掩へば、暗く朦朧として山の姿を見ることが出来なくなるもので、乃ち蒙の象である。然し茲で云ふ蒙昧とは、頑迷固くなで始末に終へないと云ふのではなく、恰も幼兒が教へられないから東西を辨へぬのと同じで、これを教へ導けば、蒙を開いて明智に導くことを得るに至るものである。此卦の前の屯の卦は、物の始めで、混沌として秩序が整つて居らぬことを現す卦であるから、此卦に於いて教導の意義を説示して、秩序を整へ、安寧を保つべき道を説示したのである。乃ち以上の象義より取つて此卦を蒙と名づけたのである。

四、蒙の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運滯滞して辛勞困難多く、而も事理に暗く不決斷に流れ、物事に迷ひて進退を誤る象あり。目上の意見教導に従ひ、忍耐自重時節を待つべし。然らば氣運次第に解通し來りて前途に光明を認むるに至るべし。尙智巧術策を弄せず、至誠篤實を守るべきこと肝要の象 交際上疑心を抱きての不利、物事を整理せんとするも支障ありて實行困難の象、手形證文其他文書に關しての間違ひ又は災害等の

象あり●願望、調ひ難し。忍耐時節を待つべし●縁談、成立の望み乏し。暫く時節を待つべし。然し縁の吉凶としては初め苦勞あるも末は吉の縁也。又縁遠き象●戀愛、勇氣決斷を欠く爲に成功せざる象也●家庭運、故障苦勞多し。然し誠を實以て努力せば次第に開運を見るべし●子實、多き方にて苦勞も多し。然し教育に力を盡さば末は幸福を得べし。妊娠男兒也●金談、成功困難なるも熱誠次第にては望みあり●賣買、順調に運ばず。時機を待つべし●相場、氣迷ひの象、先行は上る●壽命、病弱にして短命の憂ひあり。然し攝生を守り身體を鍛錬せば、健康を得て相當長壽を得るに至るべし●病氣、病源判明せず長引く象、快否は養生次第也。腦、下腹部、傳染病等也●待人、遅るゝも來る●走人、誘惑されて家出せる象、發見長引く。方角北又は東北●失物、何かの下に在り。綿密に探さば出づ。東より北へかけての方角也●旅立、故障生じて長引く。見合す方吉●爭事、凶。長引きて苦勞不利を見る象也●就職、急に望みなし。氣長に努力すべし●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも時期を得ず。時節を待つべし●天候、曇天也。

(5)



水天需

需とは待つと云ふ義である。此卦下卦の乾は剛健にしてよく動き進まんと欲するものであるが、上

卦の坎は危険の象で、其爲に阻止されて進むことが出来ないものである。斯くの如き場合には、急進して危険に陥ることを避け、忍耐自重、時節の到來を待つて然る後に進むべきで、乃ち需の義である。又坎は雲の象、乾は天の象で、乃ち雲が天上にあるも未だ雨にならず、萬人が雨となりて滋雨の至るを待つ象で、亦需の義である。乃ち以上の象義より取つて此卦を需と名づけたのである。

五、需の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、正道を守りて堅忍自重し、躁進妄動を慎しみ、時節の到來を待つべき時なり。然らば運氣次第に開け進み、大事大業を遂ぐるに至るべし。尙目前の利を焦せりて失敗災害を招く象、大志を抱きて時を待つ象、進まんとして危険困難に逢ふ象あり●願望、急に調はず。氣長に努力せば成功すべし●縁談、初めは苦勞あるも末吉の縁也。故障ありて行惱むも氣長に運ばゞ纏るべし●戀愛、焦せりて失敗する象、忍耐誠實を肝要とす●家庭運、初め故障苦勞あるも、忍耐努力よく家を興し、盛大幸福を得るに至る象也●子實、子供を得ること遅く、初めは苦勞あるも末は幸福を得る運勢也。妊娠男兒也●金談、長引くも根氣よく進まば調ふ●賣買、目先の利を急ぐ時は失敗すべし。落着きて商機を待たば利を得べし●相場、伸惱むも先行は上る●壽命、少青年時代は多少の病難を免れざるも、生來強健の質なれば攝生を守らば長壽を得べし●病氣、長引くも養生さへ届かば全快す。胃腸病、腦病、血の

道等の象●待人、遅るゝも來る。氣長に待つべし●走人、判明長引くも無事也。方角北又は西北●失物、時日を経て出づ●旅立、今旅立つは不可、先に延ばすべし●争事、不利、中止又は和解すべし●就職、急に調はず。氣長に時節を待たば良き口あり●試験、意の如くならず。今一段勉強すべし●開業、轉業、移轉、何れも時機を得ず。暫く時節を待つべし●天候、曇天、後雨となる。

(6)  天水訟

訟とは争ひ訴へる義である。此卦上卦乾は天で陽性であるから上に昇り、下卦坎は水で陰性であるから下に下り、上下の進む方向が反對であり、殊に上、乾は剛を以て下を制し、下の坎は險を以て上を謀る象で、これ亦彼我相背く象である。乃ち訟の義である。又下卦を内とし上卦を外とするのであるが、假令内心が險惡な人間でも、表面が柔和であれば争ひを起すに至らぬものであるが、今此卦では内卦が坎險である上に、外卦も乾剛であるから、内心が險惡な上に表面も剛強なる象で、勢ひ争ひを生ぜざるを得ない譯で、亦訟の義である。即ち以上の象義から取つて、此卦を訟と名づけたのである。

六、訟の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運閉塞して通ぜず、物事に故障齟齬を招きて意の如く運ばぬ時也。宜しく進むを戒しめ退き守りて時運の解通を待つべし。尙不和争事を生じての勞苦不利、理あるも非に陥る象、智謀を弄して却つて不利後悔を招く象、目算違ひ、奸計中傷に陥りての災害不利等の象あり●願望、成就せず●縁談、凶なり。又纏らず●戀愛、相手に愛情なく、失敗に終るべし●家庭運、一家和合せず、苦情辛勞絶えずして不幸の象なり。和順を旨とし和合を計るべし●子實、親子間の意見合はず、苦勞多き象、妊娠男兒●金談、調はず●賣買、手違ひて損失を招く象也●相場、高下波瀾多くして定らず●壽命、多病短命の象、攝生を嚴守すべし●病氣、病勢變化烈しく、危険重態の象也。治療に萬全を盡すより方法なし。腦、肺、腎臓の病、血の道等なり●待人、來らず●走人、不和争事より家出せる象、生命に危険あるか、又は判明長引く象なり。西より北へかけての方角を尋ぬべし●失物、入手に渡れる象、出で難し●旅立、目的達せず、故障困難を見る象なれば中止すべし●争事、不利、目上の人に任せて和解すべし●就職、成功せず●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶、進むべからず●天候定らず、險惡の象。

(7)



地水師 ちすいし

師とは軍旅乃ち戦争の義である。此卦は二爻の一陽が、上下の五爻を統率してこれを卒ゐる形であり、又上卦坤は地、下卦坎は水であり、元來地と水とは相親しむもので、水は地によりて安居し、地は水の滋潤を得て萬物生育の働きをなすものであるが、今此卦では地が上になり、水が下になつて居つて、兩者の自然の位地が轉倒して居る爲に、相親しむことが出来ぬもので、これを世の中のことに例へて見ると、賢者が下に居つて、不肖者が上に立つたり、不善者が富み榮えて善人が窮乏して居る様な轉倒した世態であると、世の中が亂れる様なものである。乃ち以上の象義を取つて此卦を師と名づけたのである。

七、師の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣に波瀾變動を見、多事多難の時なり。私利私慾に走らず、術策を弄せず、正道を守り果斷を以てこれに處すべし。然る時はよく困難を排除し得て意外の功利を擧げ得べし。尙功を急ぎての失敗、我意を通さんとしての失敗不利、一身上業務上の變動争事、住居の變動盜難等の象あり●願望、困難多く急に調はず 忍耐努力せば先に望みあり●縁談、故障ありて纏らず。吉縁とは云ひ難し●戀愛、

縛れ多く、結局は成功せず●家庭運、一家和合せず、多難波瀾の象、果斷家政を處理せば後には隆昌を得べし●子實、女兒多く男兒少なし。中年迄は苦勞多きも晩年は幸福を得。特に男兒の成功を見て悦びある象也。妊娠女兒也●金談、急に調はず。氣長に運ばゞ望みあり●賣買、故障ありて急に運ばず。急がず商機を捕へて果斷決行せば利あり●相場、波瀾高下甚し●壽命、健康上故障多く、大病に罹る象あるも養生次第にて長壽を保ち得べし●病氣、病勢變化多く重態危険の象、然し養生次第にて絶望には非ず。悪性の瘡物、心臓病、腹部の病等也●待人、來らず●走人、不和より家出せる象、急速に探さば無事なるも、長引く時は生命に危険あり。方角西南又は北●失物、盜難の象、出でず●旅立、災害危険の憂ひありて凶也●争事、多難なるも強硬果斷に出づれば勝つ●就職、望み少なし●試験、不成績の方也●開業、轉業、移轉、何れも凶、見合すべし●天候、變化多く定らず。

(8)



水地比 すいちひ

比とは相親しむ義である。此卦上卦坎は水、下卦坤は地で、地上へ水を覆すと必ず地中へ染み込むもので、これ地と水とが相融和し、相親しむ象であり、又五爻の一陽は君主の位で、他の五爻がこれに比し従つて居るのは、天子が萬民を愛撫し、萬民がこれを仰ぎ親しんで従つて居る象である。乃ち

以上の象義を取つて、此卦を比と名づけたのである。

八、比の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、平安吉祥の象、宜しく我意我慾に走らず、他と親和を計り、過激の行動に流れずして折角の吉運を破らざる様心掛くべし。尙共同事吉、目上の意見に従ひて吉、衆望を得て發展を得る等の象あり。

●願望、成就す。特に他の助けあり●縁談、和合を得て大吉の縁也。順調に纏る●戀愛、相思の象にて必ず成功す●家庭運、一家和合を得て家運繁榮する象也●子實、順良にして親孝行の兒女を得、幸福の象也。妊娠男兒也●金談、好都合に成功す●賣買、順調に運びて利ある象、然し利を貪る時は後害あり●相場、安し●壽命、健康長壽なり●病氣、間もなく全快すべし。然し手遅れせざる注意大切也●待人、幸便をもたらして来る。悦びあり●走人、心配なく、間もなく判明するか又は歸來すべし●失物、出づ。北又は西南の低所か水邊を尋ぬべし●旅立、旅程平安の象、出で、利益を得るか悦び事あり●爭事、争ふは大凶、溫和の態度を以て和解せば、有利且容易に解決すべし●就職、助力引立ありて成功し、前途有望の勤口を得べし●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、晴天なるも後雨となる。

(9)



風天小畜

小畜の小は陰を指し、畜は止める義で、陰の弱小を以て陽の強剛を止めることを現し、従つてその止めることが弱く小なることを意味するものである。此卦四爻の一陰が、他の五爻を止めるものであり、又上卦が巽の陰を以て下卦乾の陽を止めるものである。乃ち陰の弱小を以て陽の強大を止めるものであるから、その止めることが意の如くならずして小なる象である。乃ち以上の象義より取つて此卦を小畜と名づけたのであるが、陰氣が陽氣を止めるものであるから、密雲雨ふらず、と云つて此卦を曇天の象となすものである。

九、小畜の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、運氣滯滞して故障多く、諸事意の如く運ばざる時也。此時に當つては悲觀落膽せず、忍耐努力して時節の到來を待つべき也。然らば曇天の晴るゝが如く、自然に氣運開通の時到るべし。尙小人に妨げられて進み難き象、憂悶の象、養子となりて他家を繼ぐ象、夫婦不和、女難等の象あり●願望、金談、何れも故障、妨害者ありて調はず。時節を待つべし●縁談、和合を得ず。凶縁也。故障妨害者ありて調はず。見合せて時節を待つべし●戀愛、故障妨害ありて成功せず。若し成功せる場合にて和

合せずして悲劇に終るべし●家庭運、家運不振、不和を見、苦勞多き象、然し忍耐勉勵せば中年後晩年へかけては家運開け幸福を得るに至るべし●子寶、子供に就きて苦勞多き象、晩年は幸福を得る望みあり。妊娠女兒也●金談、妨害者ありて調はず。特に女による妨げあり●賣買、商況不振の象、又妨害ありて商談成立せざる象也●相場、不況持合ふ象●壽命、病弱にして短命の憂あり。健康確保に萬全を盡すべし●病氣、長引く。慢 となる憂ひあり。性病、子宮病、胸部の病、胃腸病等也●待人故障生じて來らず●走人、色情關係あり。又家庭不和による象、判明長引く。然し高飛びせる象には非ず。方角東南又は西北●失物、出で難し。然し念の爲何かの下を探し見るべし●旅立、故障ありて長引き、用件意の如く運ばざる象、中止する方吉●爭事、長引きて困難多し。然し氣長に進まば後には有利に轉開する望みあり●就職、當分望みなし●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも故障ありて意の如く運ばざる象、暫く時機の到來を待つべし●天候、曇後雨となる。

(10)



天澤履

履とは禮の義である 此卦は下に述べる如く、危険艱難なる象を現す卦であるから、これに處して安泰を得るには、謙讓和順の徳を守り禮を盡すにあることを説示せるもので、乃ち禮の義を説いた卦

である。此卦が上卦が乾で下卦が兌であるのは、乾の剛健なる男子が前に進み、兌の柔弱なる少女が其後に従ふ象である。それ柔弱なる者の後から剛健なる者が着いて行くのは容易であるが、茲では反對に柔弱なる者が剛健なる者の後に着いて行くのであるから、甚だ困難な道理で、故に此卦に於いて、虎の尾を履むと云つて、その危険困難なることを現して居るのである。然し世の中の事は、假令強猛な者でも、和柔の態度を以て接すれば危害を加へる様なこととはなく、安全無事を得るものである。此卦の兌は和柔の徳を備へて居つて、乾の剛健に接する象であるから、虎の尾を履む。人を唾ますと云つて、危険困難の状態にあるが、よくこれを免れて安全無事を得ることを示して居るのである。

十、履の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、危険困難に處する運勢なるも、和悅柔順の態度を以てこれに臨む爲に危難を免れて安泰を得る象也。尙謙讓の徳を守り忍耐自重時節を待たば吉を得るに至る象、進取に不利退守に吉の象等あり●願望、金談、成功至難の象、氣長に時節を待つべし●縁談、吉縁なるも故障ありて成立困難の象、然し禮を盡し氣長に運ばゞ纏る望みあり●戀愛、複雑困難なる經路を辿るも、謙虛の態度を以て進まば成功の望みあり●家庭運、初運は艱難苦勞多きも忍耐和順の心掛けを守らば中年後は吉運幸福を得べし●子寶、初めは故障苦勞多きも末は幸福を得るに至る。妊娠女兒也●金談、困難なるも忍耐努力

せば成功の望みあり●賣買、困難故障多し。焦らずして商機を待つべし●相場、先行上る●壽命、少
 青年時代は虚弱多病の象なるも、攝生を嚴守せば健康を得て長壽を保ち得べし●病氣、重態危険なる
 も養生萬全を得ば回復の望みあり。腦、肺の病、又難病の象●待人、遅るゝも來る●走人、生命危険
 の象あるも機を失せざれば危く助かる望みあり。方角西より北へかけて也●失物、何かの下 掩はれ
 居る象、氣長に尋ねれば出づ。西又は西北を尋ねべし●旅立、危険困難あり。見合すべし●爭事、不
 利、溫和に解決すべし●就職、急に調はず。氣長に時節を待つべし●試験危ふく及第する象●開業、轉
 業、移轉、何れも故障ありて實行困難の象、暫く時節を待つべし●天候、初め良好なるも後險惡となる。

(11)



地天泰

泰とは安泰の義である。此卦は上卦乾天の陽氣が下降し、下卦坤地の陰氣が上昇し、天地陰陽の二
 氣が相交和して萬物が成長繁榮する象を現すものであり、又下卦乾は君主、上卦坤は國民で、君主が
 下に居り、國民が上にあるは、君主が下情に通じて徳下に及び、國民の意志が上に通ずる象で、君民
 相親和を得て國家が安泰を得る象であり、又内卦の乾は君子、外卦の坤は小人で、乃ち君子が用ゐら
 れて内に在り、小人が外に退け追はれる象で、安泰を得ることを得るものである。乃ち以上の象義よ

り取つて、此卦を泰と名づけたのである。

十一、泰の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣吉祥安泰を得て諸事順調に運び、殊に家庭身内の悦び事、身上發展、業務繁榮等の象あ
 るも、盛運に驕り安逸に流れて運氣を破る憂ひあれば、心身を緊張し努力を怠らずして、折角の盛運
 を保持する心掛け肝要也●願望、金談、順調に運びて悦びあり●縁談、和合幸福を得る良縁也。順調
 に纏る●戀愛、既に情意投合せる象、相互に慎しみを缺く時は破れを見る憂ひあり●家庭運、和合を
 得て家運繁榮の象、然しこれに驕りて家政放縱に流れ亂れを招き衰退を來す憂ひあれば慎しむべし●
 子實、子供運吉にして幸福の象、然し養育上放漫に流れて後に不幸を招くに至る憂ひあれば注意。妊
 娠女兒也●賣買、順調に運びて大利を得る象●相場、今高きも後下る●壽命、健康長壽の象なるも不
 攝生の爲にこれを破る憂ひあれば注意肝要也●病氣、經過順調に運びて間もなく全快する象なるも、
 不養生より失敗する憂ひあれば注意すべし。消化器病、性病、冷え性等也●待人、吉報をもたらして
 來る●走人、色情關係あり。知己の所に隠れ居る象也。間もなく判明すべし。方角西南又は西北●失
 物、何かの中に紛込み居る象、間もなく出づ●旅立、旅程安泰の象、出で、吉●爭事、争ふは絶対に
 凶、和解の方針を取れば有利に解決す●就職、順調に運びて悦びあり●試験、好成绩なるも慢心を戒

しむ●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉●天候、今晴天なるも後雨となる。


(21)  天地否てんちひ

否とは閉塞して通ぜざる義である。此卦は前の泰の卦とは反対で、乾天の陽氣が上卦にあつて上昇し、坤地の陰氣が下卦にあつて下降し、天地陰陽の二氣が隔絶して相交和せざる象であり、又これを人事社會に取つて見ると、上卦の乾が陽剛で下卦の坤が陰柔であるのは、上に立つ者が驕慢で下に在る者を愛撫せず、下に在る者は卑屈怯懦に陥り、上下の情意が通ぜざる象であり、又上卦乾の君子が外に退けられ、下卦坤の小人が内に在つて勢ひを奮つて、道が行はれず、世の中が亂れることを現すものである。乃ち以上の象義を取つて此卦を泰に對して否と名づけたのである。

十二、否の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運閉塞して通ぜず、辛勞困難甚しく諸事意の如く運ばざる時也。然し此爲に悲觀失望せず、勇氣を出して奮勵努力すべし。然らば盛衰は自然の理にして氣運開け吉運順調の時を迎ふるに至るべし。尙失敗損失事、進取に凶退守に吉、身上窮乏、不和爭事、小人不善者よりの災害、別離等の象あり●願望、成就せず。時節を待つべし●縁談、不和離別の象ありて凶也。成立せず●戀愛、拒絶せらる

●象●家庭運、家運衰微し不和困苦を見る象、又身内の縁薄し●子實、子供少なきか、親子間和合せず苦勞多き象、妊娠女兒也。又産重き象あり●金談、調はず●賣買、故障ありて損失の象●相場、安し●壽命、虚弱短命の象●病氣、重態にして回復の望みなし。耳鼻、呼吸器病、癌、腦等の病の象也●待人、來らず●走人、不和又は失戀の爲に家出せる象、生命に危険あるか或は判明せず●失物、出でず。人手に渡れる象也●旅立、故障困難多く、目的達せず。中止すべし●爭事、敗北の象、争ふは不利也●就職、望みなし。時節を待つべし●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも時期を得ず。實行望みなき象、思止るべし●天候、險惡の象、一荒れ荒れて後回復に向ふ。

(13)  天火同人てんくわどうじん

同人とは相親和する義である。此卦上卦の乾天も下卦の離火も、共に其性が上るもので、兩者が其性を同じくして居り、殊に互卦に巽の風があるのは、下にある火が風を得て炎上し、上にある天に従ひ和する象であり又二爻の一陰に他の五陽が親しみ合せんことを求めて居る象であつて、何れも同人の義である。乃ち以上の象義より取りて、此卦を同人と名づけたのである。

十三、同人の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣平安を得、諸事順調に運びて吉祥悦び事を見る時也。尙共同事の成功、交際を廣くし人と親和を計りて運氣を開く象、興業揚名の象、我意獨斷に走りての失敗、私情に囚はれ公正を缺きての災害、争事を慎しむべき象等あり●願望、成功す。獨力に依るよりも他の助力を借りて利あり。●縁談、和合を得る吉縁也。順調に纏る●戀愛、相思の間也。必ず成功す●家庭運、和合を得て家運益興隆する象也●子實、兒女多く、親子和合して幸福を得る象也。妊娠男兒也●金談、調ふ。人の助けあり●賣買、大利あり。殊に共同に利ある象●相場、強し●壽命、健康長壽也●病氣、心配なく間もなく全快すべし。熱病、呼吸器病の象●待人、來りて悦びあり●走人、間もなく歸來するか又は判明す●失物、出づ●旅立、旅程平安に運び、楽しみ多き旅行の象●争事、争ふは絶對に凶、好都合に和談整ふ象也●就職、有力なる助力者ありて好都合に成功す●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、晴れ。

(41)



火天大有

大有の大は盛大の義、有は豐有の義で、乃ち大有とはその有する所の弘大豊盛なることである。此卦上卦の離は太陽で、下卦の乾は天であり、乃ち太陽が天上に在つて普く萬物を照し、而も其照らす

所は悉く其有する所である象であり、又上卦の離は夏で萬物繁殖の時であり、下卦の乾は秋で萬物收藏の時であつて、何れも大有の象である。乃ち以上の象義を取つて此卦を大有と名づけたのである。

十四、大有の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運盛大隆昌を得たる時なるも、其裏に衰運の兆を藏する象あれば、驕奢慢心を戒しめ、盛運を保持する心掛け肝要也。尙衆望身に集り人の上に立つ象、金運等の象あり●願望、調ふ。但し慢心を戒しむ●縁談、良縁にして纏る。又目上の富有なる家庭より縁ある象也●戀愛、成功す。然し相五の我儘より破るゝ恐れあれば慎しむべし●家庭運、富貴盛大なる家に生れて幸福の象なるも、その爲に驕慢放縱に流れて身を破るに至る憂ひあれば戒しむべし●子實、子福者にて兒女の大成功を見て悦びを得る象なるも、養育上放漫に流れて前途を過まらす象あれば特に注意肝要也。妊娠女兒也●金談、成功す●賣買、大利を得。然し調子に乗るべからず●相場、高し。然し天井を突く象也●壽命、強健長壽の生れなるも、油斷不攝生に流れて天壽を全うせざる恐れあれば戒しむべし●病氣、峠を越して快方に向ふ象なるも、安心油斷は禁物也。高熱性の病、肺又は腹部の病也●待人、吉報を携へて來る●走人、高飛びする象、色情關係、金錢問題が原因也。手遅れせず迅速に尋ぬる要あり。方角南又は西北●失物、出づ。南又は西北の高所を尋ぬべし●旅立、吉利あり。出でゝ吉●争事、有利に運

ぶ●就職、好都合に運び、有望の地位を得る象●試験、優秀の成績を得る。慢心を戒しむ●開業、轉業、移轉、何れも吉●天候、快晴の象なるも悪化する兆あり。

(15)



地山謙

謙とは己れを卑下して誇らざる義である。此卦上卦坤は地、下卦艮は山で、今山の高きを以て低き地の下に居るは、尊きを以て遜りて人の下に居るもので謙の義である。又下卦艮を篤しとなし、上卦坤を從順となし、人に譲りて争はざる意を現すもので、亦謙の義である、乃ち以上の象義を取つて、此卦を謙と名づけたのである。

十五、謙の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運平安を得、諸事順調に運びて悦びを見る時也。然し驕慢に流れ、謙讓の徳を失ひ、急進妄動に走る時は、謙の道に反して平安の運氣を破り、失敗災害を招きて困苦に陥るに至るべきを以て、嚴に慎しみを守るべし●願望、我意我慾に走らず、誠實を盡して進まば成就すべし●縁談、和合幸福を得る良縁にして順調に纏るべし●戀愛、成功して悦びを得べし●家庭運、和合圓滿を得て、家運漸次に發展する運勢也●子實、溫順にして孝心深き兒女を得て幸福なる象也。妊娠男兒也●金談、分相

應の金談ならば成功するも、分外の大金は望みなし●賣買、利は薄きも順調に運ぶ象也。焦せる時は失敗すべし●相場、軟弱の象、先行は上るべし●壽命、攝生さへ守らば健康長壽を得べし●病氣、氣長に療養すること大切也。然らば經過順調に運びて全快すべし。腹部又は頭部の病の象、古き病根が原因となれる象あり●待人、來る●走人、間もなく歸來すべし、心配の要なし●失物、出づ。東北又は西南の方に當る何かの下を尋ぬべし●旅立、旅程平安の象、出で吉●争事、大凶、一日も早く溫和に解決すべし●就職、調ふ●試験、好成绩を得べし●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉なるも、急ぐは不利也●天候、靜穩の象。

(16)



雷地豫

豫とは象の大なるものゝことで、其貌がゆつたりして居り、安舒たる風があるもので、性質が柔和で他を害せざるものである。乃ち豫とは衆人と共に楽しみ悦ぶ義である。此卦上卦震は動、下卦坤は順で、上動きて下これに順ひ、上下和順の象があり、又震は雷 坤は地で、雷が地中を出で奮ひ、春陽の氣が發動して草木萌芽し、萬物生氣を得て融和悅樂する象である。又卦體より見ると四爻の一陽に他の五爻が從順し悦服する象である。乃ち以上の象義を取つて此卦を豫と名づけたのである。上

述の如く豫の卦は安舒悦樂の意を現すものであるが、人が悦樂に耽けると遊惰に流るゝ惧れがあるから、此卦に於いては、一面に豫備、豫防の義が存して、豫めこれを戒しめる意をも含んで居るから、此點をも忘れてはならぬのである。

十六、豫の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣安泰萬事意の如く運び、悦び滿つる時なるも其爲に心に緩みを生じ、遊惰安逸に流れて運氣を破り、勞苦を招くに至る象あれば、心身を引締めて努力を怠らず、盛運を保持する心掛け肝要也。尙上位の人に從ひ愛顧を受けての吉、功を急がずして努力せば大功を擧ぐる象、他と同和しての吉、正理を貫く爲には威力を以て抗争すべき意、規律を厳にし物事を整理して後日の紛糾を防ぐべき注意、油斷よりの失敗災害、盜難の象等あり●願望、金談、何れも順調に運ぶ象なるも、安心油斷を戒しむしべ●縁談、良縁にして順調に纏る●戀愛、成功疑ひなし。然し相互の我儘により破れを招く惧れあれば戒しむべし●家庭運、盛家に生れ多幸の象なるも、その爲に安逸遊惰に流れ、身を破り家運の衰退を招く憂ひあれば嚴に戒慎すべし●子實、前途有望の子供を得、親和幸福を得る象なるも、養育上放漫に流れて兒女の身を過らせ、折角の幸福を破る憂ひあれば戒しむべし。妊娠男兒也●賣買、活氣ありて利を得る象なるも、調子に乗り山氣に走らざる心掛け肝要也●相場、活況を呈して高

し●壽命、強健長壽の生れなるも、遊惰逸樂に耽りて健康を損じ、短命を招く憂ひあれば戒慎すべし●病氣、全快の望み確實なるも、油斷不養生の爲に失敗する象あれば注意を要す●待人、來りて悦びあり●走人、遊樂に耽り、身を持崩して家出せる象也。捨置かず早く尋出さざれば悔いあり。方角東又は西南●失物、遺失せるか盜難に遭へる象也。長引く時は出せず●旅立、出で、吉なるも、旅中油斷を戒しむべし●爭事、凶 和解有利也●就職、目上の力によりて調ふ象也●試験、好成绩也。然し慢心を戒しむ●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、良好に向ふ象也。

(17) 澤雷隨 たくらいずる

隨とは從ふ義で、己れを専らにせず、他に逆らひ戻ることなきを云ふのである。此卦上卦兌は澤、下卦震は雷で、雷が澤中に震へば澤も亦從つて動くもので、隨の義である。又兌を少女となし、震を長男となす。乃ち長男を以て少女に從ふ象で、亦隨の義である。又上卦は二陽が一陰に從ひ、下卦は一陽が二陰に從ふ象で、これ亦隨の義である。乃ち以上の象義を取つて此卦を隨と名づけたのである。

十七、隨の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、我意強情を慎しみ、他の意見を重んじ、これに從ひて進まば、萬事通達して功利を遂げ、吉

祥を得る時也。尙邪惡を退け正義に組すること大切の象、他の力を借りて物事成就する象、一事を守りて色々と他に心を移さざること肝要の象等あり ●願望、幾分長引くも他の力を借りて努力せば調ふ ●縁談、稍長引くも纏りて吉也。然し結婚後夫婦間の道を正しく守らざれば苦情不幸を招くべし ●戀愛、成功するも情慾に溺れて破れを見る憂ひあれば慎しむべし ●家庭運、盛家に生れて幸福の象なるも、放縱に流れて身を過ち家運を破る憂ひあれば慎しむべし。尙男子は養子となり、女子は一家を立つる象あり ●子實、親子間圓滿を得て幸福の象なるも、相互の我儘よりこれを破る憂ひあれば注意すべし。妊娠女兒也 ●金談、長引くも他の助力を得て進まば成功すべし ●賣買、順調に運ぶ象なるも、利慾に走り不正に陥りて失敗後難を招く憂ひあれば注意すべし ●相場、初め高く後安し ●壽命、健康長壽の生れなるも、生活放縱に流れてこれを破る憂ひあれば慎しむべし ●病氣、長引くも全快すべし。然し不養生より失敗する象あれば注意すべし。性病、消化器病等の象也 ●待人、長引くも來る ●走人、間もなく判明すべし。色情關係あり ●失物、出づ、何かの中へ紛れ込める象、方角東又は西 ●旅立、出で、吉、同伴者ある方好都合を得べし。旅行中慎しみを缺きて災ひを招く憂ひあれば注意すべし ●爭事、凶、和解を有利とす ●就職、目上の助力ありて調ふ ●試験、好成绩也 ●開業、轉業、移轉、何れも吉、但し急ぎて無理をなすべからず ●天候、今不良なるも後良好に向ふ象

(18)



山風蠱 さんふうこ

蠱とは皿の中にある物が腐敗して虫を生じたることを云ひ、乃ち敗壞惑亂の義である。此卦上卦艮は山、下卦巽は風で、風は動きて氣候を流通し、寒暑を往來せしめて萬物を發育せしめるものであるが、今風が山下に在るは、閉塞してその性能を發揮し得ざるもので、風が流通せざれば鬱結して物が腐敗し、虫が生ずるものであつて、乃ち蠱の義である。又巽を臭氣となし、艮を止むるとなし、覆器となす。今此卦艮を上にし巽を下にするは、臭氣ある物を皿中に入れ上より蓋をした象で、乃ち皿中の物が腐敗して虫を生ずるに至り、食ふことが出來ないので、虫が同類相喰みて共倒れとなる象で、これ亦蠱の義である。乃ち以上の象義を取つて此卦を蠱と名づけたのである。

十八、蠱の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事停滯して運ばず、氣運亂れて救ひ難き時也。此時に當つては、大勇猛心と慎重の態度とを以て斷乎これを一新する覺悟肝要也。然る時は運氣改りて通達の時を迎へ得るに至るべし。尙内憂ある象、家政紊亂の象、事業停滯の象、迷ひ事、色情の過ち、病難等の象あり ●願望、金談、何れも滯して運ばず。果斷方針を一新し、將來に其期を待つべし ●縁談、調はず。又故障苦情多き凶縁也。

宜しく断念して他の縁を求むべし●戀愛、複雑なる關係に陥りて苦惱甚しき象、断乎解消すべし●家庭運、紊亂紛糾せる家庭に生れ苦惱甚しき象、断乎たる決意を以て家政を改革し、一新を計らざれば、一家覆滅の惧れあり●子寶、遊惰不品行の兒女を持ちて苦惱不幸甚しき象也。嚴正強硬なる態度を以て兒女の改心を計ること肝要也。妊娠男兒也●賈貫、故障停滯して運ばざる象、商談を打切りて他方面へ轉換すべし●相場、停滯伸悩む象、先行は上る●壽命、病弱の生れの上に不攝生の爲短命に終る象也。日常攝生を嚴守し身體の強健を計ること特に肝要也●病氣、重態危険の象、手術又は特殊の療法によりて危険を脱する象あり。特に治療の機を過らざること肝要也。内臓の病、痛又は悪性の瘡物の象也●待人、故障妨害生じて來らざる象●走人、家庭の不和又は亂行の結果家出せる象也。警察の力を借りて迅速に尋ねざれば身上危険の憂ひあり。東を中心として南又は北よりの方角を探すべし。●失物、何かの下になり居るか箱等の底にある象、早く發見せざれば出でず。方角東南又は東北●旅立、故障延滞し、目的達せず。中止すべし●爭事、長引きて容易に解決せず。方針を變じ迅速果斷に解決を計らば有利に轉すべし●就職、長引くのみにて成功せず。方面を變じて運動すべし●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも断乎として進まば氣運轉換して吉を見るべし●天候、不良の天候續く。

(19)



地澤臨

臨とは上より下に臨むの意で、乃ち上に在つて下を見おろして治むる義であり、又同時に下より上を臨む義もあり、従つて、希望、願望の義を存するものである。此卦上卦坤は地、下卦兌は澤である。それ澤とは水を受入れる所、乃ち海の如きを云ふのであるが、澤の水は太陽の熱を受けて蒸發し、雲雨となつて地上の萬物を潤すが故に、地は萬物成育の功を遂げるものであり又、地上の水が再び澤中に流入する時は、地上の色々の物を伴ひ來りて、澤中に生育する海草魚類を生育せしめるものである。又地上の水は流れて澤に集り、澤中の水は浸潤して地上に行渡るもので、斯くの如く地澤互に相臨み、希望を共にする象がある。乃ちこれ臨の義である。又下卦兌を悦ぶとなし、上卦坤を順ふとなす、即ち下悦んで上に求め、上順ひて下に與ふる象でこれ亦臨の義である。乃ち以上の象義を取つて此卦を臨と名づけたのである。

十九、臨の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、盛運到りて諸事順調の運びを示し、前途に希望光明を認むる時也。然しこれに驕りて心を亂し折角の盛運を破らざる心掛け肝要也。尙交際上溫和圓滿を計るべき象、輕躁に流れざる心掛け肝

要、共同事吉等の象あり●願望、金談、何れも成就す●縁談、和合を得る良縁にて順調に纏るべし●戀愛、成功して悦びを見るべし●家庭運、盛家に生れ、和合を得て幸福の象也。然し其爲に心に緩みを生じて幸福を破る憂ひあれば戒しむべし●子實、順良にして孝心深き兒女を得て幸福の象なるも、愛情に溺れて兒女の身を過らす憂ひあれば注意すべし。妊娠女兒也●賣買、順調に運びて利を得る象なるも、急ぐ時は失敗すべし●相場、活氣を呈し、先行向上るべし●壽命、健康長壽の生れなるも、不攝生よりこれを破る憂ひあれば戒しむべし●病氣、全快する象なるも、油斷我儘より失敗する憂ひあれば戒しむべし。胃腸病、性病、泌尿器の病等の象也●待人、必ず來る。悦びあり●走人、間もなく歸來するか判明すべし。方角西又は東●失物、出づ。何かの中か又は水邊にあり。東又は西の方角也●旅立、出で、吉●爭事、和解有利也●就職、希望達して悦びを見る象也●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、良好に向ふ象也。

(20)



風地觀

觀とは前の臨の卦と反對で、下より上を仰ぎ見る義である。此卦下卦坤を民となし、上卦巽を號令の象となす。それ號令を民に施せば、萬民がこれを仰ぎ見るものであつて、乃ち觀の義である。又五

爻と上爻との陽剛が上に在り、下に在る四陰がこれを仰ぎ望んで居る象で、これ亦觀の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を觀と名づけたのである

二十、觀の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、盛運轉じて將に衰運に傾かんとする時にて、危険に臨める運勢也。此時に當つては、至敬至誠の念を以てこれに處し、危きを免れて安泰を保つ心掛けを肝要とす。然る時は盛運を保持し得て福利を得べし。尚上位高貴の人に頼りて吉を得る象、名譽回復の象、外觀好況に見えて内實空乏の象、波瀾變動事等の象あり●願望、金談、有望の如く見えて至難の象也。功を焦せらず、至誠を盡して時節を待つべし●縁談、もつれを生じて成立困難の象也。誠實を以て目上の力を借らば成立の望みあり。縁としては凶には非ざるも苦情波瀾を免れざる象也●戀愛、波瀾多く苦惱を見る象也。誠意を盡さば成功の望みあり、●家庭運、衰運に傾かんとする家に生れて辛勞困難を見る象也。至誠と努力を盡して挽回を計るべし。然らば衰退を防ぎ得て安泰を得べし●子實、兒女に就きて故障辛勞を免れざる運勢なるも、教育に力を盡さば兒女の成功を見て將來には幸福を得べし。妊娠女兒也●賣買、故障ある象也。急がず誠實を以て運ぶべし。利を焦せる時は失敗すべし●相場、目先波瀾を示し、先行下る●壽命、健康上故障多き象也。攝生を嚴守し身體の強健を計らば、これを免れて長壽を保ち得べし

し●病氣、病勢變化多き象、快否は養生次第也。呼吸器病、腹部の病、神経系統の病の象也●待人、故障ありて來らざる象也。若し來るも期待に反す●走人、轉々として行方定らざる象也。容易に判明せざるか又は身上危険の憂ひあり。方角東又は西の方にて南寄りを探すべし●失物、人手に渡りて出で難し●旅立、故障多き象なれば中止する方吉也●爭事、長引きて苦勞多し。中止すべし●就職、故障ありて調ひ難し。忍耐時節を待つべし●試験、成績不同の象にて全體を通じては不成績也●開業、轉業、移轉、何れも時期を得ず。暫く時節を待つべし●天候、風烈しく天候定らざる象、後雨となる。

(21)



火雷噬嗑

噬嗑の噬は嚙む義、嗑は合ふ義で、乃ち噬嗑とは物を嚙み碎きて後に合ふ意である。此卦の形を見ると、初爻と上爻の二陽は唇に當り、二爻、三爻、五爻の三陰は齒に當り、四爻の一陽が其間に挾つて居る形で、丁度物が口中に在る象を示し、これを嚙み碎いて後に上下の兩唇が相合ふことを得るものである。又下卦震の長男が、上卦離の中女に下る象で、よく相合ふの義がある。乃ち以上の象義を取つて此卦を噬嗑と名づけたのである。

廿一、噬嗑の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、故障妨害者ありて物事通達せず、進まんと欲して進み難き時也。此時に當つては優柔不斷に流れず、宜しく強硬果斷の態度を以て故障妨害を排除して進むべき也。然らばよく目的を遂げ通達を見るに至るべし 尙爭事の起る象、人を用ゐず自身直接物事の衝に當りて利を得る象、女、讒言中傷を被る象等あり●願望、金談、妨害ありて停滯困難を見る象也。強硬の態度を持し妨害を排して、自身直接に事を運ぶべし。然らば遂に成功すべし●縁談、初めは故障不和を見るも後には吉を得る縁也。成否は妨害ありて行惱む象なるも、積極的に進まば纏るべし●戀愛、妨害者あり、又初めは拒絶に逢ふも、強硬に進まば結局成功すべし●家庭運、故障不和を見、辛勞困難の象也。斷乎たる態度を以て家政の改革を計ること肝要也。然らば家運改りて平安幸福を得るに至るべし●子寶、兒女強情我儘にて親に反抗し、争ひ絶えずして不幸の象也。強硬嚴格なる態度を以て兒女を教育すること肝要也。妊娠女兒也。男兒の場合は産重し●賈買、故障多く意の如く運ばざる象也。積極的方針に出づべし。然らば故障を排除し得て利を見るべし●相場、活氣を呈して上る。他と逆の方針を取りて利を得る象あり●壽命、健康上故障多き象也。然し強硬手段を以て心身を鍛鍊せば、強健となりて長壽を保ち得べし●病氣、病狀重き象なるも、斷乎手術又は特殊の療法を用ふれば全快すべし。悪性の腫瘍、

神経痛、熱病等の象也●待人、故障ありて來らず。無駄に待つよりもこちらより出向くべし●走人、争事又は重大事件より家出せる象、身上危険の惧れあり。警察の手によりにて迅速に探すべし●失物、何かの中に挟り居る象也。早く發見せざれば出で難し。方角南又は東●旅立、故障を免れざるも中止し得ざる象也。用心して出づべし●争事、困難あるも強硬に出づれば勝利を得べし●就職、困難なるも積極強硬に運ばゞ成功すべし●試験、難問題の爲に苦しむ象なるも、今一段勉強せば及第すべし●開業、轉業、移轉、何れも故障は免れざるも積極的に進みて吉也●天候、險惡の象、一暴れありて後晴るべし。

(22)



山火賁 さんくわひ

賁とは飾り又あやの義である。此卦上卦艮は山、下卦離は火で、山下に火のある象である。それ山下に火があれば、その光が草木の葉や花に映じて、華麗に見えるもので、乃ち賁の義である。又下卦離を美となし、上卦艮を止むるとなす。それ美を止むるは飾りの義であり、又下卦離は陰を陽にて包み、上卦艮は陰の上を陽にて覆へる形であるが、陰は醜惡、陽は華美を現すもので、乃ち華美を以て醜惡を包み覆へる象であるから、これ亦何れも賁の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を賁と名づけたのである。

廿二、賁の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、外觀は派手に見えて内實これに伴はず、従つて内心に苦勞ある時也。此時に當つては、堅實を旨とし、先づ内容の充實を計る心掛け肝要也。然る時は運氣通達し、苦勞を脱して吉祥を得るに至るべし。尙他と親和を計ること肝要の象、先見の明を缺きて失敗不利を招く象、小事を厭ひて大事を過る象、志望大にして實行件はず人の誹謗を受くる象等あり●願望、金談、何れも分相應の事は成就するも、大金大望は成就せず●縁談、先方の情況を今一層委しく調査する必要あり。話の運び方如何によつて纏るべし●戀愛、成功はするも、相手を買被り居る象にて、失望を來すべし●家庭運、外觀盛大にして内實窮乏せる家に生れ、人知れぬ苦勞ある象也。奢侈虚榮を慎しみ家運の挽回を計ること肝要也●子實、養育華美に流れて兒女の身を過らせ、不幸を見る象なれば注意すべく、又身體虚弱の爲に苦勞ある象也。妊娠女兒也●賣買、景氣を附けて進まば成功すべし●相場、底意強きも伸惱む象、先行は上るべし●壽命、内質虚弱の象也。身體を鍛鍊して體質の改善を計らざれば短命に終る憂ひあり●病氣、外觀よりも重症の象也。養生に萬全を盡さざれば危険の憂ひあり。腺病質、胸、腹部の病等也●待人、來るも期待に反す●走人、間もなく歸來するか判明すべし。南又は東北の知人の

所に潜み居る象也●失物、何かの中に紛れ込み居る象也。南又は東北を探すべし●旅立、小旅行は可なるも、遠方又は長期間の旅行は見合すべし●争事、不利也。圓滿に和解すべし●就職、調ふ。然し高望みする時は失敗に終るべし●試験、實力よりも好成绩を得る象也●開業、轉業、移轉、身分實力を逸脱せざれば、何れも進みて吉也●天候、晴天なるも永續せず。

(23) 山地剝



剝とは刻割の義で乃ち刀を以て物を割き削ることである。此卦の形を見ると、陰が下から漸次に陽を剝し削つて来て、今や僅に一陽を上止めるだけの象であつて、これ乃ち剝の義である。又上卦の艮は山、下卦の坤は地で、これは雨の降る度に山の土が崩れ落ちて次第に平地となる象を現すもので、亦剝の義を示すものである。即ち以上の象義を取つて此卦を剝と名づけたのである。

廿三、剝の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、運勢衰亡、窮迫困乏甚しき時也。此時に當りては身を慎しみて、固く退守の方針を守り、時運の轉換解通を待つこと肝要也。尙色情の過ち、婦人に關しての困惑事、奸悪者の爲の災害、目下に就きての苦情災害、散財損失、身上の轉落等の象あり●願望金談、共に成就の望みなし。時節を待つ

べし●縁談、苦勞甚しきか、生別又は死別を見る凶縁也。断然中止すべし●戀愛、拒絶さるゝか、悲劇を見るべし●家庭運、没落の悲運にある家に生れ、困苦甚しき象也。刻苦奮勵家運の挽回に努力すべし。又身内の縁薄く不幸の象也。●子實、子供なきか、病弱短命か又は不和にして不幸の象也。妊娠女兒也●賣買、失敗損失の象也。手を引きて時節を待つべし●相場、大暴落の象也●壽命、病弱短命の象也。専心身體の健康を計るべし●病氣、重態にして回復の望みなき象也。頭の病氣、悪質の性病、腹膜、肺病等の象也。●待人、來らず。萬一來る時は迷惑あり●走人、身上危険の象也。寸刻も早く捜査に全力を盡すべし。大失敗、金錢問題、色情關係等ある象也。方角東北又は西南の山又は水邊也●失物、盜難又は遺失の象にて出でず●旅立、故障災難の象あり。中止すべし●争事、慘敗して困苦に陥る象也。大凶●就職、當分望みなし。時節を待つべし●試験、落第か大不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶、強いて進まば困難災害に逢ふべし●天候、險惡にして暫く續く。

(24) 地雷復



復とは元の位置に復歸する義である。此卦の形を見ると、前の剝の卦とは全く反對で、一陽が下に生じて漸次進み上り、上に在る陰を剝する象で、所謂一陽來復とはこれを云つたもので、陽氣が甦り

て萬事萬物がこれより發生し、次第に勢力を得るに至ることを現すものであつて、乃ち復義のである。又此卦は、下卦の震雷が上卦の坤地の中に在る象であるが、雷は陽氣の動くことに依つて生ずるもので、元は天に屬したものであるが、それが今下つて地中に居るのは、將來必ず發出して再び天に復るべきもので、これ亦復の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を復と名づけたのである。

廿四、復の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、衰運なりしもの、今や漸く盛運の兆を現し、前途に希望光明を生じ來る時也。然し未だ其勢ひ微弱なるを以て、調子に乗りて急進することなく、堅實を旨として一步一步漸進する心掛け肝要也。尙分外の大事大望を慎しむべきこと、物事を始むるに吉、故障滯滞事の解通、願望計畫事成功の緒に着く象、失敗損失事の回復等の象あり。●願望、金談、共に成就の望みあり。然し功を急ぐ時は失敗すべし。●縁談、急がず氣長に進まば纏るべし。縁としては漸次發展幸福を得るに至る良縁也。●戀愛、焦せる時は失敗すべし。誠實を以て氣長に進まば成功すべし。●家庭運、家運漸次に發展し、幸福隆昌を見る運勢也。●子實、子供多し。男兒多く女兒少き象、初めは苦勞を免れざるも後には幸福を得る象也。特に男兒の成功を見て悦びある象也。妊娠男兒也。●賣買、利あり。然し急ぐは不可也。●相場、漸騰す。●壽命、幼少の時は稍虚弱の象なるも、漸次強健となりて長壽を保つべし。●病氣、稍長引

くも心配なく全快すべし。胃腸、神経痛等の象也。●待人、幾分遅るゝも來る。●走人、一週間以内に歸來するか判明する象也。方角東又は西南●失物、出づ。根氣に東又は西方にて南寄りの方角を探すべし。●旅立、出で、吉。●爭事、有利に解決すべし。然し稍長引く。●就職、調ふ。焦せるは不可也。氣長に進むべし。●試験、成績進歩する象也。●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉なるも、落着きて行動すべし。●天候、漸次回復に向ふ象也。

(25) 天雷无妄

无妄の妄は事物の忽ち起り、忽ち滅し、幻の如く實なきことを云ひ、无は無しと同じ義で、乃ち无妄とは妄なき意で、眞實至誠の義である。此卦上卦乾を天となし、下卦震を動となし、兩者合して天道運行の妙用を示せるものである。それ天道の運行たるや、四時正しく行はれ、萬物育成し、至眞至誠なること萬古を経て毫末も違ふことなきもので、乃ち无妄の義である。又震を雷となし、乾を天となし、天下に雷行くの象がある。それ天下に雷の行くは、造化自然の妙用であつて、そこに何等人爲の跡なく、時來りて自ら然るもので、天真その儘の發露であつて、これ亦无妄の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を无妄と名づけたのである。

廿五、无妄の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、我意我慾を慎しみ、至誠を旨とし、自然の道に従ひて進退行動する心掛けを特に肝要とする時也。若し此心掛けを忘るゝ時は、意外の災厄を招き、苦勞困苦に陥るべし。尙退守吉進取凶の象、思掛けぬ出來事に遭遇する象等あり●願望、金談、何れも至誠を以て進まば成就する望みあり。此心掛けを忘るゝ時は成功せず●縁談 公明の態度と至誠を以て進まば纏るべし。縁としては夫婦間に至誠の念を失はざれば幸福を得べし●戀愛、成否係りて至誠如何にあり●家庭運、順調を得て幸福の象なるも、心の亂れよりこれを破る惧あれば慎しむべし●子寶、吉運幸福の象なるも、愛情に溺れ養育の道を過りてこれを破り、不幸を招く憂ひあれば注意すべし。妊娠男兒也●賣買、掛引をなさず正直に進まば利を得べし●相場、高し●壽命、強健長壽の生れるも、不攝生に流れてこれを破る憂ひあれば注意すべし●病氣、養生さへ充分ならば全快すべし。患者の我儘より失敗を招く象あれば注意すべし。呼吸器病、神経性の病等也●待人、來る●走人、遠方へ走れる象、身上危険の憂ひあり一刻も猶豫せず、迅速に手を盡して尋ねべし。方角東又は西北●失物、不注意より紛失せる象、出で難し●旅立、正しき目的の旅行ならば出で、吉、私利私慾を目的とする旅行は故障災害あり●爭事、正理に基く争ひならば勝ちを得て利あるも、非理の點あらば敗る●就職、誠意を盡して努力せば調ふ●試

驗、眞面目に勉強せば好成绩を得べきも、所謂山をかける時は失敗すべし、●開業、轉業、移轉、何れも無理に流れざれば進みて吉也●天候、雨天也。雷鳴を伴ふ象也。

(26)



山天大畜 さんてんたいちく

大畜とは、畜止、畜聚、畜養の三義を兼ねるものである。此卦上卦の艮を止むるとなし、下卦の乾を進むとなす。乃ち進まんとするものを止める象で、畜止の義である。又下卦の乾天が上卦艮山の中に在る象で、天は大にして山は小であり、乃ち小を以て大を止める象であり、又上卦艮は篤實、下卦乾は剛健で、人が日々に徳を畜積する象である。又全卦の體より見ると、五爻は君で、四爻は宰相の位に當るものであるが、今兩者が共に心を合せて、下卦の三陽乃ち下民が強剛にして上を冒し進まんとするのを制止する象である。即ち以上の象義を取つて此卦を大畜と名づけたのである。

廿六、大畜の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、運氣艱難にして進まんとし意の如く運ばざる象あるも、正道を堅持して忍耐努力せば、よく艱難を脱して目的を達し、功を遂げ大事を全うし得るに至るべし。尙畜財の象、事を企て、吉、目上に引立てらるゝ象、學事發達等の象あり●願望、金談、共に困難あるも、誠實を以て努力せば成功

の望みあり●縁談、行惱むも誠意を以て運ばゞ結局纏るべし。縁としては漸次發展幸福を得るに至る良縁也●戀愛、故障困難あるも、熱情と誠意を以て進まば成功すべし●家庭運、初め故障困難あるも正道を守りて努力せば、次第に家運發展して幸福を得るに至るべし。尙他家を繼ぎ又は家を離れて遠方に出でて、幸福成功を得る象あり●子寶、初め兒女に就きて故障苦勞を見るも、後には兒女の成功を見、幸福を得るに至る象也。妊娠男兒也●賣買、故障困難あるも努力次第にて成功利益を得べし。又遠方に出で、賣買上成功利益を得る象あり●相場、強調伸惱ぶも、先行は上るべし●壽命、少青年時代は健康上故障を見る象あるも、元來強健の質なれば、攝生に注意せばよく長壽を保つべし●病氣、相當重態にて長引くも、養生さへ届かば全快すべし。胸部又は腹部の病也●待人、故障生じて來らざる象也。然し日時を経て來るべし●走人、長引くも無事歸來するか判明すべし。稍遠方にて北を中心として東寄り又は西寄りの方角を尋ぬべし●失物、何かの下になり居る象、長引くも出づべし。方角東北又は西北●旅立、多少の故障困難は免れざるも、目的成功する象なれば出で、吉也●爭事、困難ありて長引くも、結局は勝利又は有利に解決すべし●就職、稍長引くも有望なる勤口を得て悦びを見るべし●試験、好成績を得べし●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、不良の象なる後回復して良好に向ふべし。

(27)



山雷頤

頤とはおとがひのことで、養ふ意、口のことを現し、頤養の義である。此卦の形を見ると、上交と初爻の陽は唇に當り、中の四陰が上下に分れて並ぶのは齒に當るもので、乃ち頤の象を現すものである。又下卦は下腮に當るものであるが、震で動き、上卦は上腮に當るものであるが、艮で止るのも亦頤口の象である。それ頤口は食を通じて人間の身命を養ふ所であるから、以上に述べたる象義を取つて此卦を頤と名づけたのである。

廿七、頤の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、時運を察し、境遇を考へ、正道を守りて身を慎しみ、運氣の安泰を計る心掛け肝要也。若し此心掛を守らずして急進妄動に走らば運氣を破りて災害不利を招き、辛勞困苦に陥るに至るべし。尙不養生よりの病難、言動の不注意よりの災ひ、目下に就いての苦情災害、争事を起しての不利、共同事成就等の象あり●願望、金談、成否は誠意と努力如何にあり●縁談、先方の内情特に健康に就きて今一度慎重に調査する必要あり。進行は其上の事にすべし。成否は當方の熱意如何にあり●戀愛、愛情に溺れて相手方を見誤り居る象也。冷靜に歸りてよく先方を觀察し直すべし●家庭運、素行を亂

し身を破り家運を傾けて困苦に陥る象也。反省して素行を正し、家運の興隆を計るべし●子實、甘やかして過ぎて兒女の養育を過り、特に健康を損じて不幸を見る象也。反省して養育法を改善せば幸福を得るに至るべし。妊娠男兒也●賣買、よく商機を察し誠實を旨として運ぶべし。成否、利不利は此心掛け如何にあり●相場、強調氣配あるも伸惱む●壽命、攝生を缺き、特に暴飲暴食の爲に健康を損じて病弱短命を招く象あり。此點に注意せば健康を得て長壽を保ち得べし●病氣、不養生の爲に回復の望みあるものを絶望に陥らしむる象也。何よりも養生を嚴守し、特に飲食に注意すべし。胃腸病、口又は咽の病の象也●待人、來らず●走人、高飛びせず、近所に潜み居る象也。東より北へかけての方角を尋ぬべし●失物、屋内にあり。何かの下になり居る象、東又は東北を探すべし●旅立、用意周到にして出づれば可也。旅中飲食に注意すること特に肝要也●爭事、不利、和解すべし●就職、急に運ばず。時節を待つべし●試験、今一層の勉強を要す。尙健康に注意を要す●開業、轉業、移轉、時期に非ず。急がずして時節を待つべし●天候、不良の象也。

(29)



澤風大過

大過とは大なるものが過ぎたる義である。それ易に於いては陽を大とし、陰を小とするものである

が、此卦は四陽二陰で、陽の大が陰の小に過ぎて居るもので、乃ち大過の象である。又此卦上卦兌を澤となし、下卦巽を木となす。それ澤は水を聚め蓄ふる所で、その水を以て木を潤ほし、これを養ふものであるが、今此卦に於いて巽の木が兌の澤中に没入せるは、水が多きに過ぎてその潤養が却つて過大に失するもので、これ亦大過の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を大過と名づけたのである。

廿八、大過の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、分に過ぎたる重任を負ひ、又は分外の大事大望を企て、力及ばず、將に挫折轉落せんとする危殆の運勢にあることを示す。此時に當りては、自己の身分と實力とを考へ、これに應じて進む様方針を改め、以て運氣の轉換安泰を計ること肝要也。尙輕舉よりの失敗災害、心身の不安定、爭事、文書に關しての間違ひ、水難等の象あり●願望、分外の厚望にして成就せざる象也●縁談、釣合はざる縁にて纏らず。又和合を得ざるか別離を見るか何れにしても凶縁也●戀愛、所謂高根の月と云ふ象にて、成功の望みなし●家庭運、大家の倒れんとする際に生れて困苦を嘗むる運勢也。家政を改革縮少して挽回を計る心掛け肝要也●子實、兒女多くして養育に困難の象、又子供との間不和の象也。然しよくこれに耐へ、養育に力を盡さば末は幸福を得るに至る望みあり。妊娠男兒也●金談、分に過ぎた

る大金にて調はず●賈買、實力不相應の取引にて失敗損失を招く象也●相場、今高きも先行崩落すべし●壽命、生來強健の質なるも、身體に無理をして病氣に冒され短命に終る象也。宜しく體力を考へて無理を避け、壽命を保つ様に心掛くべし●病氣、重態危険の象也。然し萬全の手を盡さば必ずしも絶望には非ず。脊髓病、肺病の象也●待人、來る象なるも餘り長引く時は望みなし●走人、高飛びして判明困難となる象あり。一刻も早く手を盡して尋ぬべし。方角西又は東南●失物、些少の物ならば出づるも、大金又は貴重品の場合は人手に渡りて出で難し●立、危険困難の憂ひあり。中止する方吉也●争事、重大なる困難を見る象也、なるべく和解の方針に出づべし●就職、困難なるも自己の分を考へ、これに應じて満足する心掛けならば望みなきに非ず●試験、難問の爲に苦しむ象なるも、大いに勉強せば相當の成績を得べし●開業、轉業、移轉、分に應じ實力相應の方針にて進むならば可也●天候、今良好なるも後悪化するべし。

(29)  坎かん爲み水すい

坎とは危険艱難の義である。此卦上卦、下卦共に坎である。坎は險難の象を現すものであつて、今此卦坎を重ねるは乃ち危険艱難なることを示すもので、乃ち坎の義である。又坎を水となす。此卦、

上下共に坎であるのは、これ水量の大なることを示すもので、此の水中に陥れば危険は必然であつてこれ亦坎の義である。即ち以上の象義より取つて、此卦を坎と名づけたのである。

廿九、坎の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、艱難困苦甚しき運勢也。此時に當つては、堅忍不拔の精神と至誠の心掛けとを以て、忍耐自重時運の解通を待つこと肝要也。然る時は氣運解通し艱苦散じて、今日の困苦は將來幸福の基となるの象也。尙進取不可退守吉、理ありて非に陥る象、策謀却つて不利を招く象、住居身上の不安定、争事を生じての不利、家庭身内間の紛糾不幸、盜難、病難、水難、不慮の災害等の象あり●願望、金談、故障困ありて調はざる象、時節を待つべし●縁談、故障ありて成立多難の象なるも、誠實を盡し氣長に運ばゞ纏る望みあり。縁としては初め故障苦勞あるも、辛抱せば末には吉を得るに至る縁也●戀愛、紛糾苦惱多き象也。忍耐と至誠を盡さば成功絶望には非ず●家庭運、困苦艱難を重ねる運勢なるも、忍耐努力せば家運を興して末には幸福を得るに至る象也。又不和より家庭の分裂を見る憂ひあり●子實、不幸苦勞多き象なるも、養育に心力を盡さば、末には兒女の成功を見て悦びを得べし。妊娠男兒也。産重き憂ひあれば注意すべし●賈買、故障ありて順調に運ばず。焦せらずして時期を待つべし●相場、下落す●壽命、病弱短命の象、然し攝生を守り身體の鍛錬に努力せば、よく健康を得て長

壽を保つに至る望みあり●病氣、重態危険の象なるも、養生に萬全を盡さば必ずしも絶望には非ず。心臓、腹膜、腎臓等の象也●待人、來らず。然し時を経て來る望みあり●走人、身上危険の憂ひあり。原因は家庭の不和、失敗事に依る象也。手遅れせず、一刻も早く尋ねべし。方角北方の水邊の象●失物、盜難又は遺失せる象にて出で難し。然し爲念北方の水に縁ある所を尋ね見るべし●旅立、困難災害ある象にて凶、中止すべし●爭事、長引きて不利の象、争ふべからず●就職、急に望みなし。時節を待つべし●試験落第か不成績也。然し勇氣を失はずして勉強せば、次回は好成绩を得べし●開業、轉業、移轉、何れも凶、時期を待つべし●天候、雨天續く。洪水の恐れあり。

(30)



離爲火

離とは附くの義、又明らかなる義である。此卦上卦、下卦共に一陰が上下二陽の間に附く象であり、又離は火の象で、火は氣ありて形なく、物に附きて始めてその形を現し、明らかになるものである。乃ち以上の象義を取つて此卦を離と名づけたのである。而して宇宙の萬象は悉く附くの義を取つて居るものであるが、その附く所が正しくして始めて長く榮えるものである。例へば日月星辰が天に付き、百穀草木が地に付き、父母が慈に付き、子が孝に附く如きは、皆その附く所が正しきを得るが

故に長く榮えるものなのである。故に此卦では離の道は正しきを失はぬことが肝要であることを説示して居るものである。

卅、離の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、正道を持し、我意を慎しみ、和順の心掛けを守りて人の意見を重んじ、協力の精神を以て進まば、運氣盛大を得、功を遂げ悦びを見るべし。尙共同事の成功、目上に従ひて吉、急進輕躁に走りての失敗災害、短慮の過ち、移氣に流れての失敗等の象あり●願望、金談、功を急がず、誠實の心掛けを以て進まば成就すべし。又目上の力を借りて利あり。●縁談、良縁也。有力者を仲人として氣長に運ばゞ纏る●戀愛、熱情に驅られ、成功を急ぎて失敗する憂ひあれば注意すべし●家庭運、盛家に生れて幸福の象なるも、驕慢に流れてこれを破る憂ひあれば慎しむべし●子實、子供多く幸福の象なるも、我儘に育て、これを破る憂ひあれば注意すべし。妊娠女兒也●賣買、利あり。然し急がず又不正に走らざること大切也●相場、上る●壽命、健康長壽の生れなるも、不攝生の爲にこれを破る憂ひあれば慎しむべし。●病氣、相當重態なるも氣長に養生せば全快すべし。熱病、腹部の病の象也●待人、來る●走人、煽動者、誘惑者ありて家出せる象也。南方の心當りを尋ねべし●失物、何かに附着して紛れ込める象也。落着きて探さば出づ。方角南●旅立、吉。但し輕卒の行動を慎しむべし●爭事、

感情に走りて災害不利を招く象也。穩に和解すべし●就職、目上に依頼し、急がずして時節を待たば、有望なる勤口を得べし●試験、好成绩を得る象なるも、落着を缺きて失敗する憂ひあれば注意すべし●開業、轉業、移轉、進みて吉なるも、急ぎて失敗する象あれば、充分準備を整へたる上にて實行すること肝要也●天候、快晴の象、又炎暑強く干魃の象あり。

(31)



澤山咸 たくざんかん

咸は感と同じ義で、物と物とが相對し、その心念が動きて合一することを云ふのである。凡そ天地間の森羅萬象は、一として相感ぜぬものはないのであるが、其中でも男女の情慾相感することを以てその最とするものである。而してその男女の中でも少男と少女とは相感することの最も強く激しいものである。今此卦を見ると、下卦の艮は少男、上卦の兌は少女で、少男が少女に下るもので、乃ち少男と少女が相交り、相感する象で、これ乃ち感の義である。又兌を悦ぶとなし、艮を止むるとなす。乃ち悦んで止る象で、凡そ其悦ぶ所に心を止むるは亦感の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を咸と名づけたのである。而して感すること正しきは吉なるも、不正なるは凶を招くものであるから、感の道はその正しきを得べきことを戒しめて居るものである。

卅一、咸の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣吉祥を得て物事順調に運び悦びを見る時也。然し情慾に驅られて行動を亂し、折角の吉運を破る憂ひあれば慎しみ肝要也。尙正邪を過りての失敗災害、色情の過ち、私情に囚はれての災害不利、善友悪友の判別を過りての不利、男女相愛、共同事吉等の象あり●願望、金談、調ふ●縁談、良縁にして順調に成立すべし●戀愛、相思の仲也、成功疑ひなし。然し愛情に溺れて破れを招かざる様慎しむこと肝要也●家庭運、和合幸福を得る象也。然し家族間の規律を亂さざる心掛け大切也●子寶、親子和合幸福の象なるも、愛情に溺れて兒女の將來を過らしむる懼れあれば戒しむべし。妊娠女兒也●賣買、順調に運びて利あり●相場、好調に進む●壽命、健康長壽の象なるも不攝生よりこれを破る憂ひあれば注意すべし●病氣、養生さへ嚴守せば、經過順調に運びて全快すべし、性病、胸部の病の象也●待人、來りて悦びあり●走人、色情關係あり。間もなく判明すべし●失物、何かの中に紛れ込み居る象にて出づ。方角東北又は西北●旅立、出で、吉●爭事、凶、穩に和解せば有利に解決すべし●就職、順調に運ぶ●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、雨となる象也。

(32) 雷風恒



恒とは常、又久しきの義で、乃ち不易恒久の常道を云へるものである。此卦上卦を震となし、下卦を巽となす。震は雷、巽は風で、震雷巽風相與みする象であるが、雷は陽氣の動きで發するものであり、風は陰氣の動きで生ずるもので、共に天地の生氣であつて、萬物を化育し、生々として息むことなく、その徳たるや、古今を通じて易ることなきもので、乃ち恒の義を現せるものである。又震を動となし、巽を従となす。これ上動きて下これに従ふ象で、上に立つ者が動きて善政を施き、下にある人民がこれに従つて其分を盡せば、國家が永く榮えて、上下恒久の道が行はれるもので、亦恒の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を恒と名づけたのである。

卅二、恒の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、心志を正しく持ち、常業本務を固守し、急進妄動に走らざれば、運氣安泰を得て長久繁榮を見るべし。尙諸事平安の象、新規の事に手を出すは凶等の象あり●願望、金談、調ふ●戀愛、和合長久を得る良縁也。順調に纏る象也●戀愛、成功疑ひなし●家庭運、舊家に生れ、家運長久を得て幸福の象也●子寶、親子和合し、安泰幸福の象也。妊娠安産にして男兒也●賣買、順調に運ぶ象、然し山

氣を出して經驗なきことに手を出す時は失敗すべし●相場、強含み持合ひの象●壽命、健康長壽の象也●病氣、長引くも養生次第にて全快す。慢性病 持病の象也●待人、來る●走人、長引く象あるも、無事にて歸來するか、判明すべし●失物、屋内にあり、氣長に尋ねれば出づ。方角東より南へかけて也●旅立、出でて吉●爭事、絶對に凶、穩に和解するを有利とす●就職 調ひて悦びを見る象也●試験、これ迄と變りなく好成绩の象也●開業、轉業、移轉、何れも不可、現状を守るべし●天候、變らず。靜穩なる天候續くべし。

(33) 天山遯



遯とは走る義、又逃るゝ義である。此卦上卦乾は天、下卦艮は山で、山高くして天に迫らんとするも、天は高く逃れて山が近づく能はざる象で、乃ち遯の義である。又卦の形から見ると、初爻、二爻の兩陰が下に漸く勢ひを長じ、上の四陽が次第に退いて其位地を逃れ去らんとする象で、亦遯の義である。又乾を父となし、艮を少男となし、陽を君子となし、陰を小人となす。乃ち此卦に於いては、乾の老父が退きて艮の少男が其後を繼ぐ象であり、又小人の道が榮えて君子の道が衰へる象であつて、これ亦遯の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を遯と名づけたのであるが、要するに此卦

は陰陽消長の理を示し、盛んなるものも亦衰へるに至ることを説示せるものである。

卅三、遯の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、衰運の兆を示す時なれば、萬事退守の方針を持し、身を慎しみ行ひを正しくしてこれを防止し、運氣の安泰を計る心掛け肝要也。尙家政不振の象、隱居の象、目下に就きての迷惑又は災害、小人奸佞者の爲の災害不利、理ありて非に陥る象、機を察し身を退きての吉利等の象あり●願望、金談、調はず。但し小事小金は調ふ望みあり●縁談、調はず。又別離破縁の象ありて凶縁也●戀愛、相手に逃げられて不成功の象也●家庭運、衰運に傾ける家に生れて不幸苦勞を見る象也。又身内に縁薄〜兩親に早別する憂ひあり●子實、我儘にして親の意見に従はざる兒女を持ち、不幸を見る象也。又兒女虚弱の象あり。妊娠男兒也。流産の惧れあれば注意すべし●賈買、失敗損失の象、早く手を引くべし●相場、崩落すべし●壽命、病弱短命の象也。攝生を嚴守し體質の改善を計るべし●病氣、病勢昂進し、危険の象也。養生に萬全を盡すべし。胸部、腹部、骨髓等の病の象也●待人、來らず●走人、不身持ち、家庭の紊亂より家出せる象にて、高飛びして判明困難の象也●失物、人手に渡りて出でざる象也●旅立、目的達せず凶也●爭事、敗るゝ象、中止すべし●就職、望みなし。時節を待つべし●試験、落第か又は不成績也●開業、轉業、移轉、何れも時期を得ず。見合せて時節を待つべし●天候

次第に不良となる象也。

(34)



雷天大壯

大壯の大は陽を指し、壯は強き意又盛んなる意で、即ち大壯とは陽の盛んなる義、又大いに盛んなる義である。此卦は前の遯の卦とは反對の形で、下の四陽が長じ上りて上の二陰に迫り、その勢ひが強く盛んなることを示すものであり、又陽の君子が榮え長じて、陰の小人が消え衰ふる象であつて、これ何れも大壯の義である。又下卦乾を天となし、上卦震を雷となし、乃ち雷が天上に在つて奮ひ動き、その勢ひの強く盛んなることを現すものである。又乾を至剛至健となし、震を動となし、至剛至健にして動くもので、その奮ひ動くことの強く盛んなることを現すもので、亦大壯の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を大壯と名づけたのである。

卅四、大壯の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣盛大なる時なるも、その爲に勢ひに乗じ調子に乗りて急進妄動に走り、折角の盛運を破る憂ひあれば、慎しみを守り正道を踏みて盛運を破らざる心掛け肝要也。尙和氣を缺き血氣に速りての失敗災害、己れの器量を持み人を侮りての失敗災害、和順謙讓の心掛けを守ること肝要の象等あ

り●願望、金談、何れも成功すべし。然し調子に乗らざる心掛け肝要也●縁談、纏る象なるも急ぐべからず。又縁としては將來繁榮を見る良縁なるも、夫婦間に和順禮讓の心掛けを缺きて縛れを起す憂ひあれば注意すべし●戀愛、一旦成功するも相互間に禮讓を缺きて破れを來す憂ひあれば慎しむべし●家庭運、盛大なる家に生れて幸福の象なるも、其爲に驕慢に流れて家庭に不和を起し、家運を傾くる憂ひあれば慎しむべし●子實、我意強情なる兒女を持ち、家庭に不和を招きて不幸を見る象あり。然し養育に注意し此缺點を正さば、兒女の成功を得て幸福を得べし。妊娠男兒也●賣買、成功大利を得る象なるも、その爲に調子に乗りて失敗を招く象あれば戒しむべし●相場、暴騰の象なるも先行き警戒を要す●壽命、強健長壽の生れなるも、これに誇りて無理をなし、折角の天恵を破る憂ひあれば慎しむべし●病氣、病勢尙昂進する象なるも、體質強健なれば養生次第にて全快すべし。急性肺炎、腦病等の象也●待人、間もなく来る●走人、高飛びせる象、判明困難也●失物、人手に渡れる象にて出でず●旅立、出で、吉なるも旅中行動を慎しまざれば災ひを招くべし●爭事、強争不利を招く象、穩に和解するを有利とす●就職、調ふも和順の心掛けを缺く時は永續せず●試験、好成绩を得るも慢心を戒しむ●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉なるも無理を慎しむべし●天候、良好に向ふ象也。

(35)



火地晋 くわちしん

晋とは、日出で、萬物進むの義である。此卦上卦を離となし、下卦を坤となす。離は日、坤は地で、乃ち日が地上に進み出で、その勢ひが光明盛大なる象で、晋の義である。又外卦離を明となし、附くとなし、内卦坤を順となす。内卦は我れに當り、外卦は彼れに當るもので、乃ち我れが彼れの明に付き順ふ象であるが、凡そ物事は明なるものに付き順へばその道が必ず開け進むもので、又晋の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を晋と名づけたのである。

卅五、晋の卦を得たる場合の占斷應用

運勢、運氣盛大を得、貴人目上の愛顧引立を受けて運氣益開け進む象也。尙業務繁榮身上發展の象、萬事進みて吉、名譽を得る象、國益公益となる事を發明して名を揚ぐる象、金運、共同事吉、外觀華美に過ぎて内實空乏する憂ひ等あり●願望、金談、有力なる援助者を得て成功する象也●縁談、大吉にして纏る。目上に依頼して便宜を得べし●戀愛、成功疑ひなし●家庭運、盛家に生れ、家運益々發展して幸福なる象也。然しその爲に慢心して不幸を招く憂ひあれば慎しむべし●子實、鋭才明智にして而も温順なる兒女を得、家運榮えて幸福を得る象也。妊娠女兒也●賣買、順調に運びて大利

を得る象也 ● 相場、上る ● 壽命、強健長壽の象也 ● 病氣、間もなく全快すべし。熱病、胃腸病の象也 ● 待人、吉報をもたらして来る ● 走人、高飛びせる象なるも、心配なく間もなく判明すべし ● 失物、出づ。南又は西南を尋ねべし ● 旅立、吉。目的を達し悦びを得べし ● 争事、有利に解決すべし ● 就職、目上の盡力により望外の好就職先を得べし ● 試験、優秀の成績を得べし ● 開業、轉業、移轉、何れも進みて大吉也 ● 天候、快晴の象也。

(36)



地火明夷

明夷の明は日の義、夷は高き所より低き所へ頽れ落ちる義で傷るゝ義である。乃ち明夷とは明らかなるものが傷られて光明の暗まされることを云ふのである。此卦上卦坤は地、下卦離は日で、日は元來天にある所のものであるが、今落下つて地中に入れるは、これ光明が減して昏暗の夜となれる象で、前の晋の卦とは全く反對の形で、乃ち明夷の義である。又離を火となし坤を地となす。それ火は高き所であれば、よく遠方を照らすことが出来るものであるが、低き所に在つては、その光が遠くに及ばぬものである。今此卦に於いて、離の火が坤地の下に在るのは、乃ち低きに在つてその光が遠くに及ばぬ象で、昏暗なることを現すものであつて、これ亦明夷の義である。又離を目となし、坤を害と

なす。それ目が害に遭へば明を失ふもので、又明夷の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を明夷と名づけたのである。

卅六、明夷の卦を得たる場合の占断應用

● 運勢、明夷の卦は、光明傷られて昏暗の象を現すものなれば、氣運非にして艱難多き事を示す。此時に當りては、身を慎しみ行ひを正しくし、忍耐自重時運の解通を待つこと肝要也。尙身體の傷害、他に欺かれての災害不利、故障澁滞事、迷ひ事、火難、盜難等の象あり ● 願望、金談、調はず。時節を待つべし ● 縁談、調はず。故障苦勞多き凶縁也 ● 戀愛、故障妨害ありて成功せず ● 家庭運、家運衰微、艱難苦勞多き象也。刻苦奮勵家運の挽回に努力せば、末には幸福を得る望みあり ● 子實、兒女の爲に苦勞困難する象也。然し養育に力を盡さば末には悦びを見る望みあり。妊娠女兒也。産重き憂ひあり ● 賣買、順調に運ばず。焦せらず時期を待つべし ● 相場、安し。先行きは好轉すべし ● 壽命、多病にして短命の憂ひあり。身體の鍛錬に力を盡すべし ● 病氣、重態の象。るも養生次第にては絶望には非ず。病毒潜伏の象、腹部の病也 ● 待人、來らず ● 走人、近所に潜伏し居る象也。西南又は南方の心當りを尋ねべし ● 失物、何かの下に掩はれ居る象也。西より南にかけての低所を尋ねべし ● 旅立、故障災難の憂ひあり。中止すべし ● 争事、敗るゝか不利を招くべし。争ふべからず ● 就職、急に見込

みなし。時節を待つべし●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶也。自重して時節を待つし●天候、不良にして續く。

(37) 風火家人



家人とは一家の人と云ふ義であるが、又單に家の義、家道、家業の義とも見ることがある。凡そ家を治むるの道は、男子が外に出で、活動し、女子は内に在つて家政を守ることがを以て常道とするものであるが、今此卦を見るに、五爻の陽剛が外卦の中に居りて位正しきを得、二爻の柔陰が内卦の中に居りて亦位正しきを得て居るのは、男子たる夫が外事に努め、女子たる妻が内事を務め、陰陽正しく相應じて、家道の大綱を得たることを示すもので、乃ち家人の義である。又上卦巽は長女で、下卦離は中女であつて、今長女が上に位し、中女が下に位するのは、一家に於いて長幼の序が正しきを得て居つて、家道の正しきことを現すもので、亦家人の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を家人と名づけたのである。

卅七、家人の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、此卦長幼序を得 陰陽相扶け、夫婦位を得たる象を現すものなれば、此卦を得たる時、一家和

合し、家道平安を得、運氣安泰、吉祥幸福なることを示すもの也。尙本業本務を守りて他に心を移さざること肝要の象、家庭身内の悦び事、急進過激の行動を慎しむべき象等あり●願望、金談、順調に運びて悦びを見る象也●縁談、和合幸福を得る大吉の縁にて順調に纏る●戀愛、成功疑ひなし●家庭運、平和幸福の家に生れて家運益發展する象也。●子實、兒女多く、而かも温順にして親思ひの子供を得て家運平安を得、幸福の象也。妊娠女兒也。又安産の象也●賣買、順調に運びて利あり●相場、一時上るも後安し●壽命、健康長壽の象也●病氣、大した事なく、經過順調に運びて間もなく全快すべし。下腹部の病の象也●待人、來りて悦びを得る象也●走人、心配なく間もなく歸來すべし●失物、屋内に在りて出づ。南方にて東寄りの方角を尋ぬべし●旅立、出で、吉。旅程平安の象也●争事、絶対に凶、温和に示談すべし●就職、順調に運びて悦びを見るべし●試験、好成绩也●開業、進みて吉也●轉業、移轉、現状を守るを吉とす●天候、平穩の象也。

(38) 火澤睽



睽とは二者相反きて和せざる義である。此卦上卦を兌となし、下卦を離となす。離は火にして炎上し、兌は澤にして潤下するもので、兩者がその性相反し相背くもので、乃ち睽の義である。又離を中

女となし、兌を少女となす。乃ち二女一室に同居して、中女は年既に壯なるを以て出で、他に嫁せんと欲し、少女は年未だ幼なるを以て家に止まらんと欲するもので、兩者その志を異にするものであつて、亦睽の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を睽と名づけたのである。

卅八、睽の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、此卦兩者相反き相和せざる象を現す。乃ち此卦を得たる時、氣運通ぜず、諸事齟齬を招きて兎角意の如く運ばざる事を示すもの也。此時に當りては、進むを戒しめ退き守るを吉とし、強剛に走らず溫和を旨とし、以て運氣の安泰を計るべき也。尙爭事、家庭身内の不和辛勞事、目算違ひ、親交者との疎隔等の象あり●願望、金談、調はず。然し小望、小金は望みあり●縁談、調はず。縁として性格趣味一致せず、和合を缺く凶縁也。又生別、死別の憂ひあり●戀愛、肘鐵砲を喰ふ象也●家庭運、不和の家に生れ、家運傾き困苦不幸を見る象也。又身内に縁薄く孤獨の象也●子實、親子不和を見るか、子供の縁薄きか、何れにしても不幸の象也。妊娠女兒也。難産の憂ひあり●賈買、故障失敗を招く象也。特に見込違ひより損失を招く象あり●相場、氣迷ひ浮動の象にて先行き安し●壽命、多病短命の象也●病氣、難症にて危険の象也。特に醫者の見立違ひより不幸を見る憂ひあれば注意すべし、内臓機能障碍の象也●待人、來らず●走人、爭事より家出せる象、高飛びして判明困難也●失

物、人手に渡りて出でず●旅立、障害ありて目的不調の象也。中止すべし●爭事、不利、和解すべし

●就職、望みなく當の外るゝ象也●試験、不成績也。又題意を取違へて失敗する象あれば注意すべし

●開業、轉業、移轉、何れも凶、希望計畫手違ひする象也●天候、不良也。

(39)



水山蹇 すゐさんけん

蹇とは足難みて進む能はざる義で、乃ち艱難甚しきことを意味するものである。此卦艮を下にし、坎を上にする。艮を止むるとなし、坎を險となす。これ險中に止つて出づること能はず、進退谷まれる象で、乃ち蹇の義である。又坎は水、艮は山で、進まんとすれば前に坎水の險が横はり、退かんとすれば後に艮山高く聳えてこれを阻み、進退谷まれる象で、亦蹇の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を蹇と名づけたのである。

卅九、蹇の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運閉塞して通ぜず、艱難甚しくして進退谷まれる象也。此時に當りては、正道を守りて隱忍自重し、時運の解通を待つべき也。尙目上の才徳ある人に従ひて進退すべき象、西南に向つて吉、東北に向つて凶、五ヶ月目又は五年目に盛運巡り來る象、奸計に陥りての災害不利、頼りとせる者當

にならざる象、勢力兩分して紛糾を見、物事治らざる象等あり●願望、金談、成就の望みなし。時節の到来を待つべし●縁談、纏らず。又故障苦勞多き凶縁也●戀愛、成功せず●家庭運、困苦の家に生れ、身内の縁薄く不幸の象也。忍耐刻苦家運の平和興隆に全力を盡すべし。然らば晩年幸福を得るに至るべし●子實、子供の縁薄く、苦勞多き不幸の象也。妊娠男兒也。産重き象あり●賣買、故障續出し、失敗損失を見る象也。時節を待ちて進むべし●相場、不勢續く象●壽命、病弱短命の象也。全力を盡して體力の増進を計るべし●病氣、重態危険の象也。然し氣長に構へ治療に全力を盡さば、回復必ずしも絶望に非ず。特に名醫の治療を受けて全快の悦びを得る象あり。腎臟、肝臟、腹膜、胸部の病等の象也●待人、來らず●走人、窮迫の極家出せる象、身上危険の惧れあるも、警察の力を借りて捜査せば無事の望みあり。五ヶ月以内に判明せざれば望みなし●失物、何所かへ陥り居るか、何かの中に挟まり居る象、根氣に尋ねれば出づる望みあり。方角北又は東北●旅立、艱難に遭ふ象にて出づるは凶也●爭事、長引きて困難甚しき象、中止すべし●就職、當分望みなし。目上に依頼して時節を待つべし●試験、難問に苦しみ不成績の象也●開業、轉業、移轉、何れも凶。時節を待つべし●天候、險惡の天候續く象也。

(40)



雷水解

解とは、散ずる義、又解ける義で、乃ち艱難の解散することを云ふのである。此卦下卦の坎は雨、上卦の震は雷で、雷上に動きて雨下に降り、鬱結の氣が解散する象で、乃ち解の義である。又坎を冬となし、震を春となす。乃ち冬より春に移り、寒氣次第に解消して春雨新に降り、和氣暖を送りて堅氷始めて解け、枯れたるもの生じ、蟄居せるもの起り、萬物鼓動發作する象で、亦解の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を解と名づけたのである。

四〇、解の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、久しく艱難辛苦せる事漸く解消して盛運に向ひ、諸事活氣を呈し順調の運びを示して悦びを見る時也。尙物事機を失せず迅速に運びて功利を得る象、分外に走らず調子に乗らずして平靜を保つべき時。西南に向ひて吉利ある象、目下の才力者の助力に依りて成功する象、出産、家庭身内に就きての吉兆等の象あり●願望、金談、成就す。躊躇して機を失せざること肝要也●縁談、良縁にして纏る●戀愛、引込思案に流れずして進むべし。然らば成功すべし●家庭運、初めは故障苦勞あるも、漸次家運開け進みて幸福を得るに至る象也●子實、初めは子供に就きて苦勞あるも、後には幸福悦びを

得る象也。妊娠男兒にて安産の象也●賣買、利あり。商機を逸せずして敏速に運ぶべし●相場、目先一時下放れて後漸次上るべし●壽命、少青年時代には病弱の象あるも、後健康となりて長壽を得べし●病氣、回復して悦びを見るべし。尙手遅れせざること肝要也。神經衰弱、胃腸病等の象也●待人、來りて悦びあり●走人、間もなく判明すべし●失物、出づ。早く東又は西を探すべし。長引く時は出で難きに至る憂ひあり●旅立、吉●爭事、有利に解決すべし●就職、思ひの外順調に運ぶ象、機を逸せざる様迅速に運ぶこと肝要也●試験、好成绩を得べし●開業、轉業、移轉、機を失せず早く進むべし●天候、雨となる象也。

(41)



山澤損

損とは減じ損ずる義である。此卦は内卦が三爻の一陽を損じて陰になり、外卦が上交の一陰を益して陽となるもので、乃ち内を損じて外を益する象で、損の義である。又下卦は民の象で、上卦は君の象であるが、今下卦の一陽を損じて上卦の一陰を益するは、乃ち民を損じて上を益する象で、民を損ずるはこれ國を損ずる所以で、乃ち損の義である。又内卦は我れで、外卦は彼れに當るものであるが、今内卦の一陽を損じて外卦の一陰を益するは、我れの有餘を損じて彼れの不足を益すもので、亦

395026

損の義である。即ち以上の象義より取つて、此卦を損と名づけたのである。

四一、損の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運衰微し、諸事意の如く運ばざる時なるも、誠意ありて努力する爲に漸次回復好轉に向ふ象也。尙損失失敗事回復して吉利を得る象、物事急に成就せざるも漸次有望に向ふ象、共同事吉、神佛の加護等の象あり●願望、金談、急に成就せざるも努力次第にて望みあり●縁談、初め故障苦勞を見るも末吉の縁也。成否は熱意と努力如何にあり●戀愛、至誠を以て貫かば成功すべし●家庭運、家運衰微に傾ける家に生れて苦勞を見るも、努力よくこれを挽回して幸福を得るに至る象也●子寶、初めは子供に就きて苦勞あるも、兒女誠實にして孝心深く、後には幸福を得る象也。妊娠女兒也●賣買、一時損失を招くも後に挽回して利益を得るに至る象也●相場、安し。先行は好勢に轉ずべし●壽命、病弱の生れなるも攝生よき爲に健康を得て案外長壽を保つ象也●病氣、相當重態なるも養生次第にて全快すべし。貧血、心身衰弱、消化器病等の象也●待人、遅るゝも來る●走人、稍長引くも歸來するか判明すべし。方角東北又は西●失物、出で難し。然し月日を経て或は出づることあり●旅立、旅中充分注意さへ怠らざれば出でゝ可也●爭事、不利、和解有利也●就職、行悩むも熱誠を以て努力せば遂に成功すべし●試験、今回は不成績なるも次回は好成绩を得る象也●開業、轉業、移轉、無理に流

れざれば何れも進みて吉、特に急ぎ焦せるべからず●天候、不良なるも次第に回復に向ふ象也。

(42) 風雷益



益とは増し益する義である。此卦上卦の四爻の陽を損じて下卦の初爻の陰に益する象で、これを國家に取りて見れば、政府がその費用を節減して人民の富源を益し、國家の事業が興隆する象で、乃ち益の義である。又此卦震雷下にあり、巽風上にある象で、風烈しければ雷迅く、雷激すれば風亦烈しく、兩者相與みして互にその勢ひを助け益す象で、乃ち益の義である。又外卦の彼れがその有餘を損じて内卦の我れの不足を益すものであり、又震を長男となし、巽を長女となす。それ長男長女相交和すれば、子孫が増益するもので、何れも益の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を益と名づけたのである。

四二、益の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、盛運にして大事を遂げ得る時也。然し盛運を全うする爲には猶豫狐疑することなく、決斷勇進を要し、又盛運に乗ずる時は心に緩みを生じ、調子に乗りてこれを破るに至る憂ひあれば、大いに戒慎を要する象也。尙家運繁榮、金運、願望計畫事の成就、共同事吉、他の援助、家庭身内の悦び事

等の象あり●願望、金運、成功す●縁談、和合繁榮を得る大吉の縁也。又纏ること疑ひなし●戀愛、相思の仲にて必ず成功す●家庭運、富貴盛大の家に生れ幸福の象なるも、心に緩みを生じ驕慢に流れてこれを破る憂ひあれば戒慎すべし●子寶、子供多く幸福の象なるも、養育放漫に流れてこれを破る憂ひあれば注意すべし。妊娠女兒也●賣買、順調に運びて大利を得る象也●相場、上る。然し先行き警戒を要す●壽命、強健長壽の生れなるも、その爲に不養生に流れてこれを破る憂ひあれば注意すべし●病氣、全快す。然し不養生の爲に失敗する憂ひあれば注意すべし。胃擴張、咽喉の病、性病等の象也●待人、吉報を携へて來る●走人、間もなく歸來するか判明すべし●失物、出づ。東より南へかけての方角を尋ぬべし●旅立、出で、吉利あり●爭事、勝利を得て悦びを得る象也●就職、順調に運び望外の悦びを見る象也●試験、優等の成績を得べし●開業、轉業、移轉、何れも積極的に進みて吉也●天候、良好なるも後不良となる象也。

(43) 澤天夬



夬とは決する義で、例へば汎濫せんとする水を他へ決し導きてこれを流通せしむるが如きことで、

果斷剛決の義を含んで居るものである。此卦五陽が進み長じて、上にある一陰を決し去らんとする象

であり、又陽は君子で陰は小人であるから、五陽の君子が一人の小人を退去せしめんとする象で、乃ち夬の義である。又此卦兌澤を上にし、乾天を下にする。それ澤は地勢上最も低位に在るものであるのに、今却つて乾天の上に在るは、高原の澤水が汎濫せんとする象で、必ず當に潰え下るべきものでこれを決して低位に導かざるべからざるもので、これ亦夬の義である。又乾を玉環となし、兌を毀切となす。玉環欠くる所ある、これを夬と云ふ。亦夬の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を夬と名づけたのである。

四三、夬の卦を得たる場合の占斷應用

●れ勢、此卦五陽長じて一陰を決去せんとする象なれば、今運氣盛大を示すと雖、危険困難迫れる時なれば、自重戒慎し、急進妄動を戒しめ、特に正道を守りてこれに備ふる心掛け肝要也。尙妄りに争ひを起しての災害不利、文書契約に關しての間違ひ又は災害、水難、住所の變動、奸惡者を排除して安泰を得る象等あり●願望、金談、急進妄動に走る爲に不調に終る象也。堅實正當の道を踏みて進まば成功の望みあり●縁談、調はず。又故障破綻を見る象ありて凶縁也●戀愛、邪戀の象也。不成功に終るか又は悲劇を見るべし●家庭運、盛家に生るゝも、家運傾きて困苦に陥る象也。又志行を亂して家運を傾け不幸を招く象也●子實、男兒多く女兒少き象也。又初め吉なるも末凶を見る象なれば戒慎

すべし。妊娠男兒也。出産故障の象あれば警戒すべし●賣買、失敗損失の憂ひあり。堅實第一主義を守ること肝要也●相場、今高きも先行き崩落す●壽命、强健の生れなるも、不養生又は不慮の災難の爲に天壽を全うせざる象あれば注意すべし●病氣、重態危険の象也。然し體質强健なる爲に手術又は特殊の療法によりて生命を全うする望みあり。治療上決斷を要す。頭部の病、腎臟又は腹膜等悪水の溜る病、悪性の瘰癧物の象也●待人、來らず●走人、高飛びして判明困難なるか、又は生命危険の憂ひあり。一刻も早く西又は西北の水邊を尋ねべし●失物、外に出でゝ返へらず●旅立、故障災難の憂ひあり。見合す方吉也●争事、敗るゝか不利を見るべし、中止すべし●就職、困難也。然し至誠を以て努力せば絶望には非ず●試験、不成績也。眞劍に勉強すべし●開業、轉業、移轉、見合す方吉也。事情己むを得ざる場合は特に慎重を期すべし●天候、一時荒れて後回復良好に向ふべし。

(44)



天風姤

姤は遇に同じく、乃ち期せずして相會する義である。此卦純陽の乾の卦の中へ、忽然として一陰が始めて來り遇ふ象で、乃ち姤の義である。又此卦乾の天が上に在り、巽の風が下に在るは、天の下を風が行く象で、風が天下を行く時は、萬物が皆これに觸れ遇ふもので、これ亦姤の義である。即ち以

上の象義を取つて、此卦を妬と名づけたのである。

四四、妬の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、此卦一陰が忽然として下に生じて、長じて上の五陽を削剝せんとする象なれば、此卦を得たる時、盛運中衰運の兆を萌し、辛勞困苦の迫り來れることを現す時也。此時に當りては、身を慎しむ萬事慎重の態度を守り、以て衰運を防ぎ安泰を計る心掛け肝要也。尙不慮の災難事、目下の奸佞邪惡なる者よりの災害 女難 盜難等の象あり●願望、金談、思掛けぬ故障妨碍を生じて不成功に終る象也●縁談、故障苦勞を見る凶縁也。見合すべし。又意外の故障妨碍を生じて纏らざる象也●戀愛、故障妨碍を生じて不成功に終る象也●家庭運、家運衰微の兆を示し、不幸困苦に陥る憂ひある象也。謹慎努力これが防止を計るべし●子實、志行定まらずして兩親に苦勞を掛くる子供を持ち、不幸の象也。養育上特に意を用ふべし。妊娠女兒也●賣買、意外の故障妨碍を生じて失敗を見る象也●相場、今高きも先行き漸落する象也●壽命、强健の生れなるも、病魔に襲はれて壽を保たざる憂ひあれば、油斷せず攝生を嚴守すること肝要也●病氣、病勢昂進の象なれば充分警戒して養生すること肝要也。性病、結核性の疾患、痔疾等の象也●待人、女ならば來るも、男は故障生じて來らざる象也●走人、情事關係あり。思掛けぬ所にて偶然遭遇することあり。又長引くも無事判明するか、歸來すべし●失物、意外の

縮所より出づる象也。方角西又は西北●旅立、故障災難の憂ひあり。中止すべし●爭事、不利、思止るべし●就職、調はず●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶、又思掛けぬ障碍ありて實現不可能の象あり●天候、今良好なるも、後不良となる象也。

(45)



澤地萃

萃とは聚る義である。此卦上卦は兌、下卦は坤で、兌を澤となし、坤を地となす。乃ち澤が地上に在るを以て、水の聚る象で、萃の義である。又坤を衆人となし、順ふとなし、兌を悦ぶとなす。これ衆人が悦びて順ふ象で、乃ち聚合の義である。又五爻は君の位、四爻は宰相の位であるが、今共に陽であるのは、剛明の才徳を備へるもので、他の四陰がこれに聚り従ふ象であつて、亦聚乃ち萃の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を萃と名づけたのである。

四五、萃の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、此卦聚合の象にて豐盛なることを現す。乃ち此卦を得たる時、人の親和を受け、資財集りて運氣の豐盛なることを現す。尙上下和合しての吉祥、目上に従ひての開運吉利、神明の加護、祖先の餘慶、金運、豊作、洪水、水難等の象あり●願望、金談、成就す●縁談、和合幸福の吉縁にして纏る

●戀愛、相思の象にて成功疑ひなし●家庭運、家運盛大にして而も和合幸福を得る象也●子寶、子供多く、親子和合して家運興隆する象也。妊娠女兒也●賈買、順調に運びて利あり●相場、安し●壽命、健康長壽の象也●病氣、全快疑ひなし。胸部又は腹部の病の象也●待人、來りて悦びあり●走人、心配なく、間もなく歸來するか判明すべし●失物、出づ。西又は西南を尋ぬべし●旅立、出で、悦びあり●爭事、争ふは不利、早く和解すべし●就職、順調に運びて悦びあり●試験、好成绩を得べし●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、大雨の象、洪水の惧れあり。

(46)



地風升

升とは進み上る義である。此卦上卦を坤となし、下卦を巽となす。坤は地、巽は風で、風が下に在り、地が上に在るは、これ風が地中に入れる象であるが、風は本來地上にあるべきものであるから、今地中に入るも後日必ず地上に發し上るべきもので、乃ち升の義である。又巽を木となし、坤を地となす。乃ち地中に木の生ずる象で、木が地中に生ずれば、成長して益高大となるもので、亦升の義である。又巽を從となし、坤を順となす。凡そ人が順徳を以て物事に從へば、その道が必ず上り進むもので、これ亦升の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を升と名づけたのである。

四六、升の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運順調に運び、諸事進みて功を遂げ、身上發展、業務繁榮を見る時也。尙漸進に吉にして急進は不可なる時、高德有力なる人に從ひて吉利を得る象、南進して吉の象等あり●願望、金談、成就す。然し功を急ぐべからず。又有力者に頼りて利あり●縁談、發展繁榮を得る良縁にして纏る●戀愛、成功するも焦せるべからず●家庭運、家運次第に發展して幸福を得る象也●子寶、子供運良く、兒女の成功を見て悦びある象也。妊娠女兒也●賈買、順調に運びて利を得る象なるも急ぐべからず●相場、漸騰す●壽命、健康長壽の象也●病氣、長引くも全快す。内臓、特に下腹部の病の象也●待人、稍遅るゝも來る●走人、失物、共に幾分長引くも無事にて判明すべし。西南又は東南の方角を氣長に尋ぬべし●旅立、出で、吉●爭事、勝利を得るか有利に解決すべし●就職、調ふ●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、好天氣續く。

(47)



澤水困

困とは困窮の義である。此卦上卦は兌、下卦は坎で、兌を澤となし、坎を水となす。それ水は本來澤中にあるべきものであるのに、今水が澤の下にあるのは、澤が枯渇して水の無い象で、乃ち困の義

である。又此卦に於いて、上卦の兌は一陰が二陽の上に居り、下卦の坎は一陽が二陰の間に陥つて居るのは、これ陰を以て陽を蔽ふ象であり、又坎は陽卦で兌は陰卦であるが、今兌が坎の上に居るはこれ陰を以て陽を掩ふ象であり、又陽は君子の道であり、男子であり、陰は小人の道であり、女子であるが、今兌が坎の上に在るは、小人の道が君子の道を蔽ひ、女子が男子を掩ふ象で、これ亦何れも困の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を困と名づけたのである。

四七、困の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣艱難を極め、困苦窮乏甚しき象也。此時に當りては、堅忍自重、正道を守りて運氣轉換の時期を待つべき也。尙物事成就の望みなき象、貧困の象、不信用の象、孤獨無援の象、進取凶退守吉、勞して功なき象、今日の困苦他日の開運幸福の基となる等の象あり、●願望、金談、成就せず。時節を待つべし●縁談、調はず。又困苦不幸を見る凶縁なれば中止して他の縁を待つべし●戀愛、不成功に終る象也●家庭運、微運困窮の家に生まれ、辛勞困苦を嘗むる象也。然し克苦奮勵よくこれに耐へて努力せば、家運を開きて末は幸福を得るに至る望みあり●子實、子供なきか、苦勞多き象也。然し末には悦びを見る望みあり。妊娠女兒也●賣買、故障多く意の如く運ばざる象也。無理をせず時節を待つべし●相場、安く、先行き尙下る●壽命、病弱短命の象也。然し攝生を嚴守し、身體の鍛錬

に心を盡さば健康を得て相當の壽を保つに至る望みあり●病氣、重態にして長引き、危険の憂ひあり。然し養生次第にて必ずしも絶望には非ず。心臓、肺、下腹部の病の象也●待人、來らず。時日を過ぎて來ることあり●走人、判明困難也。自然に判明する時を待つより方法なき象也●失物、出で難し●旅立、故障困難多き象なれば見合すべし●爭事、長引きて苦勞甚しき象也。自然の解決を待つより致方なし●就職、急に望みなし。時節を待つべし●試験、不成績の象也●開業、轉業、移轉、何れも時期に非ず。時節を待つべし●天候、不良の天氣續く象也。

(48)



すいふうせい 水風井

井とは井戸のことである。此卦上卦を坎となし、下卦を巽となす。坎は水で、巽を木となし、入るとなし、往來となす。今此卦に於いて、巽が坎の下に在るは、これ木製の器を以て井水を汲上げる貌であつて、乃ち井の象である。又巽を入るとなし、坎を陷となす。これ亦井の義である。即ち以上の象義を取つて此卦を井と名づけたのである。

四八、井の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、井戸は人の使用を待つて始めてその用をなすものにて、その徳、その用、人を益するものな

れども消極的也。故に此卦を得たる時、氣運平靜を得るも、積極的方針を避け、急進妄動を慎しみ、本業、本務を守りて、運氣の安靜を計ること肝要也。尙萬事成功間際にて破るゝ憂ひ、時節を待たば目上の救援ありて諸事吉利を得るに至る象、移氣を慎しむべき象等あり●願望、金談、急に成就せざるも氣長に努力せば成功の望みあり●縁談、平安を得る良縁也。焦せる時は失敗の憂ひあり。誠實氣長に運ば、纏るべし●戀愛、焦せりて失敗する象あり。至誠を盡して時節を待たば自然に成功すべし●家庭運、平和安靜を得る運勢也●子寶、順良の兒女を得て幸福の象也。妊娠男兒、又安産の象也●賣買、急がず、堅實に進まば成功利益を得べし●相場、持合ひの象也●壽命、健康長壽の象也●病氣、氣長に養生せば心配なく全快すべし。泌尿器、身體下部の病、冷え性等の象也●待人、急に來らず。氣長に待つべし●走人、近所に居る象、稍長引くも無事に判明すべし。方角北又は東南●失物、屋内に在り。氣長に探さば出づ。北又は東南の低所を尋ぬべし●旅立、見合せて時節を待つ方吉也●爭事、不利、溫和の態度にて和解すべし。仲人に委す方有利也●就職、急ぐべからず。目上に依頼して氣長に時節を待たば成功すべし●試験、普通の成績也●開業、時期早し。暫く辛抱して時節を待つべし●轉業、移轉、現状維持を吉とす●天候、平穩なる天候續くべし。

(49)



澤火革

革とは熟皮なしかはのことであるが、その意が轉じて、改革或は變革の義となれるものである。此卦上卦は兌で、下卦は離である。兌を澤となし、離を火となす。乃ち澤中に火ある象であるが、それ火燃ゆれば水乾き、水決すれば火滅し、兩者互に相克ち、相息むは革の義である。又兌を金となし、離を火となす。それ火を以て金を焼く時は、金は熔化してその形状を變化するもので、亦革の義である。又離を夏となし、兌を秋となす。夏は萬物繁榮し、秋は萬物凋落する時で、物の變革此季節より甚しきこととはないもので、これ亦革の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を革と名づけたのである。

四九、革の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運變革の時にて、一身上、業務上その他萬事に亘り變動を來す象あり。此時に當りては遲疑逡巡することなく、決斷を以て舊を去り新しきに就く心掛け肝要也。然る時は氣運一新を見て前途に希望光明を生じ來るべし。尙正道を保持して進むこと大切なる象、住所業務上の變動、一身上の變化、爭事等の象あり●願望、金談、共に困難なるも、決斷と勇氣とを以て進まば成功すべし。又方針方向を轉じて有利に轉ずる象あり●縁談、現在の話は見合せて新しき縁を求むる方吉也●戀愛、勇氣

と決断とを以て積極的に進まば成功すべし●家庭運、家運變動の際に生れて波瀾困難多き象也。勇氣と決断とを以て革新を断行せば、家運改りて繁榮に向ひ、將來は幸福を得べし●子實、子供運に於いて波瀾多く、初めは苦勞あるも末には幸福を得べし。妊娠女兒也●賣買、方針を改め果斷に進まば成功利益を得べし●相場、様變り波瀾を示し、後上るべし●壽命、初年は虚弱多病の象あるも、中年より體質改りて健康となり、長壽を得る象也。何よりも體質の改善鍛鍊を計ること肝要也●病氣、病勢變化多く、油斷は禁物也。養生次第にて全快すべし。尙醫師 治療の方法を變へて好結果を見る象あり。心臓、眼、下腹部の病等の象也●待人、來らず。重ねて強硬に催促すべし●走人、方針を變へて捜査すべし。方角西又は南●旅立、旅中故障困難は免れざるも、目的は達すべきを以て出で、可也●失物、長引く時は出でず。早く探すべし。西より南へかけての方角に望みあり●爭事、困難あるも強硬に進まば有利に解決すべし●就職、現在の希望先は望みなし。方向方針を變じて進まば成功すべし●試験、成績不同なるも大體を通じては先づ好成绩の象也●開業、轉業、移轉、何れも積極的に進みて吉也●天候、變化多くして定まらざる象也。

(50)



火風鼎 くわふうてい

鼎とは、饗宴祭祀に當り、食物を煮たきする三足兩耳の器物のことである。此卦初爻の陰は足に當り、二、三、四爻の陽は腹に當り、五爻の陰は左右の耳に當り、上爻の陽は鉉に當つて居つて、全體の形狀が鼎の形を成して居り、又上卦離は火、下卦巽は木で、木を火中に入れて物を煮たきする象がある。即ち以上の象義を取つて、此卦を鼎と名づけたのである。

五〇、鼎の卦を得たる場合の占斷應

●運勢、鼎は盛儀に用ふるもの、亦聖人が此卦の性情を以て天下統治の道を説示されたるものなれば、此卦を得たる時、氣運盛大にして萬事通達し、吉祥を得ることを示すもの也。尙上位の人に用ひられ器量才智を發揮して立身する象、小人不善の徒に親しまざる注意、疑惑解け物事の安定を得る象、官權公けの事に關して功利を收むる象、家督相續の象等あり●願望、金談、成就して悦びあり●縁談、幸福繁榮を得る良縁にて必ず纏る●戀愛、成功疑ひなし●家庭運、盛家に生れ家運益繁榮して幸福の象也●子實、才力優秀にして大成功を遂ぐる兒女を得て幸福の象也。妊娠女兒也●賣買、成功大利を得る象也●相場、活氣を呈して高し●壽命、健康長壽の象也●病氣、全快疑ひなし。熱病、消化器病の象也●待人、必ず來る●走人、間もなく歸來するか、無事にて判明すべし●失物、出づ。南又は東南を尋ぬべし●旅立、大吉●爭事、勝利疑ひなし●就職、順調に運びて悦びを得べし●試験、

優秀の成績を得べし●開業、轉業、移轉、何れも進みて大吉也●天候、快晴の象也。

(51)  震爲雷 しんみらい

●とは奮ひ動く義である。本來、陽の性はよく進むことを主とするものであるが、今此卦が、上卦、下卦共に震で、一陽が二陰の下に抑へ止めらるゝ象であるのは、忿激して動き出でんとするもので、乃ち震の義である。又此卦は、上下共に震を重ねる象であるが、震を雷となし、雷は奮ひ動くものであるのも亦震の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を震と名つけたのである。

五一、震の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、震は奮ひ動く象を現す。乃ち此卦を得たる時多事多難なることを示すも、氣運發動して盛運に向はんとする勢ひあれば、戒慎自重よくこれに善處して進まば、困難を排除して功を遂げ目的を達し、大いに盛運を克ち得るに至るべし。尙他の事業を受繼ぎて功利を擧ぐる象、學力才藝を備へ國家の爲に興起する象、立志名聲を揚ぐる象、威勢強大衆人を服する象、勇敢決斷の象、家名相續の象、己れを是とし他を非とし強引に走りて失敗を招く象、短慮躁動に流れて失敗不利を招く象等あり●願望、金談、困難あるもよくこれを排除して成功を見る象也●縁談、初め故障あるも末吉の縁也。よく

困難を排して遂に成立を見る象也●戀愛、波瀾故障あるも結局成功すべし●家庭運、初めには波瀾ありて苦勞を嘗むるも、奮勵よく家運を興隆し幸福を見るに至る象也●子實、初めは子供の爲に苦勞を見るも、後には成功を見て悦びある象也。尙兒女強剛の性質なれば養育上注意肝要なることを示す。妊娠男兒也。●賈買、困難なるもよくこれを突破して大利を得る象也●相場、高く、先行尙上る●壽命、健康上變動多き象あるも、生來強健の質なれば攝生さへ守らば長壽を保つべし●病氣、病勢變動多きも、養生次第にて全快すべし。神経痛、腦病、急性の内臓疾患等の象也●待人、意外に早く來るべし●走人、高飛びする憂ひあり。又身上危険の懼れあり。手遅れせず迅速に手配すること肝要也。方角東●失物、時を過ぐれば外に出で、返らず。寸刻も早く尋出すべし。方角東方の高所●旅立、困難あるも目的は達す。出で、可也●爭事、落着きて強硬態度を持すれば有利に解決すべし●就職、困難なるも努力次第にて結局成功すべし●試験、心配せしよりも好成绩の象也●開業、轉業、移轉、何れも進みて可なるも、急ぎて無理に走るべからず●天候、荒れ模様あるも後晴る。又大雷雨の象あり

(52)  艮爲山 こんみさん

艮とは止まると云ふ義である。此卦上卦下卦共に艮で、艮を山となす。山は進み行くものを阻止す

るものであり、又艮を止まる象となす。乃ち艮の義である。又此卦上卦下卦共に、一陽が下より進み上りて二陰の上に位し、今や上るに所なく、止まりて進まざる象で、これ亦艮の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を艮と名づけたのである。

五二、艮の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、此卦艮山相重なる象にて、止まる義を現す。乃ち此卦を得たる時、氣運停滞し、故障困難多く、諸事意の如く運ばざる時也。此時に當つては、自重退守の方針を堅持し、時運の解通を待つ心掛け肝要也。然る時は時節到來自ら氣運の解通を見るに至るべし。尙新事は凶舊事を守るに吉なる象、物事の長引く象、不和争事の起る象、情實に囚はられての災害不利、頑固偏屈に流れての不利、依頼心よりの失敗不利等の象あり●願望、金談、成就せず。急がずして時節を待つべし●縁談、故障生じて調はず。又和合を得ず苦勞多き凶縁也●戀愛、片思ひの象にて不成功也●家庭運、家運停滞し、一家和合を缺きて苦勞困難多き象也。然し忍耐誠實を以て家運の開發に努力せば、末には幸福を得るに至る望みあり●子實、親子和合せず、苦勞多き象也。然し辛抱強く養育に力を盡さば末には幸福を得る望みあり。妊娠男兒也。産重き憂ひあれば注意を要す●賣買、故障續出し、順調に運ばざる象、一旦中止して時節を待つ方有利也●相場、底意強きも頑強に持合ふ象也●壽命、健康上故障多く、短命

に終る憂ひあり。然し根氣よく身體の鍛錬に力を盡さば、健康を得て壽を保つに至る望みあり●病氣、病根深し、長引きて容易に全快せざる象也、然し氣長に養生せば回復の望みあり。結核性の疾患、動脈硬化症、腦病等の象也●待人、來らず●走人、行方容易に判明せざる象也。諦めて自然に判明する時を待つべし●失物、出で難し。爲念東より北へかけての高所にて何かの下を探して見るべし●旅立、故障多く目的達し難し。見合せて時期を待つべし●争事、長引きて不利、和解すべし●就職、長引きて調はず。時節を待つべし●試験、不成績也●開業、時期を得ず。暫く時節を待つべし●轉業、移轉、凶、現状を守るべし●天候、不良の天氣續く。

(53)



風山漸

漸とは順序を以て進む義である。此卦上卦を巽となし、下卦を艮となす。巽は木で、艮は山である。それ樹木の山上に生ずるや、先づその根が蔓延して然る後に枝幹が生ずるもので、その長ずること漸を以てするもので、乃ち漸の義である。又此卦、内卦の艮が下に止り、外卦の巽が上に従ふは、俄に進まざるもので、その進むに序があるものであつて、これ亦漸の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を漸と名づけたのである。

五三、漸の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、運氣次第に開け進み、諸事順調の運びを示し、前途に希望光明を認むる時也。宜しく此機を逸せず、奮勵努力以て運氣の發展隆昌を計るべき也。尙急進を慎しみ堅實に漸進する事肝要の象、小を積み大を成す象、輕卒に走りての失敗、物事急に成就せざるも遂に成就する象、婦人は特に身上に悦び事を見る象等あり●願望、金談、急に運ばざるも成功すべし。吳々も功を焦せるべからず震縁談、漸次幸福に向ふ吉縁也。急がず氣長に運ばゞ纏る●戀愛、感情に走らず、冷靜に進まば成功すべし●家庭運、家運漸次に發展興隆して幸福を得るに至る象也。又家を離れ遠方に出でゞ成功する象あり●子寶、堅實溫順にして將來有望の兒女を得、晩年程幸福を得る象也。妊娠女兒也●賣買、長引くも成功利益を得べし。急ぐ時は失敗すべし●相場、漸騰す●壽命、健康長壽の象なるも攝生を怠るべからず●病氣、長引くも養生さへ届かば全快す。耳鼻、胃腸等の病の象也●待人、稍遅るゞも必ず來る●走人、高飛びする象也。長引くも無事にて判明すべし。方角東を中心として南寄り又は北寄り也●失物、長引くも出づ。氣長に尋ぬべし。方角東南又は東北の高所也●旅立、出でゞ吉。然し豫定よりも幾分長引くべし●爭事、争ふは不利、辛抱強く和解の方針を取るべし●就職、長引くも將來有望の勤口を得べし●試験、成績進歩し、好成绩を得べし●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉なるも、

焦せりて無理をなすべからず●天候、漸次良好に向ふ象也。

(54)



雷澤歸妹

歸妹とは、妹が姉に先んじて嫁ぐことで、乃ち理に反し道に暗く、正しきを得ざる義である。此卦上卦を震となし、下卦を兌となす。震は長男で、兌は少女である。乃ち少女を以て長男に従ふ象であるが、兌に又悦ぶの象があるのは、年少の女子が未だ婚期を得ぬのに、情に走りて悦びて長男に従ふもので、禮に合はず、婚姻正しきを得ずして人倫に反するものであつて、歸妹の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を歸妹と名づけたのである。

五四、歸妹の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、歸妹は情慾に走り、理に反し正道を失することを示す。乃ち此卦を得たる時、目先吉運に見えて悦びを見るも、後亂れて凶災を招き、不幸困苦に陥る憂ひあることを示すもの也。尙物事終りを全ふせざる象、情慾に耽り正道を失しての災害不利、目前悦び事に見えて後の悲しみとなる象、夫婦不和、爭事の起る象等あり●願望、金談、初め順調に見えて結局不調に終る象也●縁談、不幸破綻を來して終りを遂げざる凶縁也。中止すべし。又成立するが如く見えて結局纏らざる象也●戀愛、邪戀

の象なり。一時成功して悦びを見るも、結局悲劇不幸に終る象也●家庭運、富貴の家に生れて幸福に見ゆるも、家庭不和にして治らず、家運次第に衰へて不幸を見るに至る象也●子實、素行治らざる兒女を持ちて不幸苦勞を見る象也。特に女兒に就きて苦勞多き象あり。妊娠女兒也●賣買、初め順調に見えて手違ひを生じ、失敗不利を見る象也●相場、目先強調に見ゆるも先行き下る●壽命、強健の生れなるも、亂行不攝生の爲に健康を損じ、短命に終る象也●病氣、一時回復の兆を示すも、不養生の爲に再び悪化し、絶望に陥る象也。消化器の病、胸部の病、性病、脳病等の象也●待人、違約して來らざる象也●走人、家庭不和、情事の纏れより家出せる象也。身上危険の憂ひあり。寸刻も早く手を盡して尋ねべし。方角東又は西●失物、家庭の内部に紛失の原因ある象也。出で難し●旅立、故障災難の憂ひありて凶●爭事、理なき争ひにて敗るゝ象也●就職、初め調子よく見えて結局不調に終る象也●試験、不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶、中止すべし●天候、一時好轉するが如く見えて再び悪化する象也。

(55)



雷火豊

豊とは、隆盛豊大の義である。此卦上卦を震となし、下卦を離となす。離は明で震は動である。乃

ち明らかにして動くもので、それ明らかにして動けば物事皆盛大を得ることは必然で、乃ち豊の義である。又震を雷となし、離を電となす。それ電雷大空に相遇ふ時は、その勢ひ盛大なるもので、亦豊の義である。又離を明となし、智となし、震を威となし、勇となす。それ人に明智威勇兼ね備はれば、その盛大に至ることは云ふ迄もない所で、これ亦豊の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を豊と名づけたのである。

五五、豊の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運盛大にして萬事活氣に富み、得意に満つる時なるも、その爲に心に緩みを生じ、慢心油断に陥り、怠慢に流れて折角の盛運を破るに至る憂ひあれば、運氣盛衰の必然の理を悟り、心身を緊張し、努力を怠らずして盛運を持続する心掛け肝要也。尙金運あるも奢侈を戒しめ儉約を守ること肝要の象、共同事吉、人を當にしての手違ひ、他に欺瞞されての災害不利、火難等の象あり●願望、金談、順調に運びて悦びある象なるも、調子に乗らざること肝要也●縁談、繁榮を得る吉縁にして纏る●戀愛、成功疑ひなきもその後に於いて相互に我儘を慎しむこと肝要也●家庭運、豊盛なる家に生れて幸福の象なるも、その爲に驕慢に流れ慎しみを失ひて身を破り、家運を傾くる憂ひあれば戒慎すべし●子實、子供多く、幸福の象なるも、養育上放漫に流れてこれを破る憂ひあれば注意すべし。妊娠

男兒也●賣買、成功大利を得る象也。然しその爲に調子に乗らざること肝要也●相場、上る。然し天井となる象あれば警戒を要す、●壽命強健長壽の生れなるも、健康に誇りて不攝生に流れ、これを破る憂ひあれば戒しむべし●病氣、相當重態なるも、體質強健なる爲に養生さへ守らば全快すべし。熱病、胃病、神経系統の病の象也●待人、吉報をもたらして来る●走人、心配なく間もなく歸來するか、判明すべし●失物、不取締りの爲に紛失せる象也。落着きて探さば出づ。方角東又は南●旅立、吉、然し旅中油断を戒しむべし●爭事、勝利か有利に解決すべし●就職、望外の成功を得べし。然し就職後慎しみを缺きて失敗の憂ひあれば注意すべし●試験、優秀の成績を得べし。然し慢心を戒しむ●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉也●天候、晴天なるも雷雨襲來の兆あり。

(56)



火山旅

旅とは旅行のことである。此卦上卦を離となし、下卦を艮となす。艮は山で、離は火である。乃ち火の山を焼く象であるが、火の山を焼くや、山は止りて動かず、火はそれよりそれへと移り行くもので、これを喩ふれば、山は客舎で、火は旅人の如きもので、乃ち旅の象である。又艮を止るとなし、離を明となす。乃ち旅人が、日が暮れると驛舎に止り、朝には明を見て出で行く象で、亦旅の義である。

る。即ち以上の象義を取つて、此卦を旅と名づけたのである。

五六、旅の卦を得たる場合の占断應用

●運勢、此卦旅の象、乃ち此卦を得たる時、恰も旅中にある如く、運氣安定を缺き、身上動搖不安の象ありて、物事意の如く運ばざる象あることを示す。此時に當りては、意志を強固に持ち、堅實の心掛けを守りて、運氣の安定を計ること肝要也。尙身上業務上に變動を見る象、孤獨無援の象、住居の故障變動、身内の縁薄き象、家庭上の紛糾、辛勞事、旅行生起、火難等の象あり●願望、金談、小事小金は調ふも大望、大金は調はず●縁談、苦勞多く安定せざる凶縁也。又長引くのみにて結局纏らざる象也●戀愛、相手の意志定らず、結局不成功に終る象也●家庭運、身内の縁薄く家運不安定にて孤獨不幸の象也●子寶、子供の縁薄く、孤獨不幸の象也。妊娠女兒也●賣買、故障多く、長引きて商談纏らざる象也●相場、浮動して定らざる象也。然し先行は上るべし●壽命、病弱短命の象也●病氣、病勢定らずして長引く象、危険の憂ひあり。呼吸器、消化器の病の象也●待人、來るとも長引く。先づ望みなき方也●待人、高飛びせる象にて、轉々として居所定らず、容易に判明せざる象也●失物、外に出て人手に渡りて出で難し●旅立、旅中故障苦勞を免れざるも、事情己むを得ざる象也●爭事、長引きて容易に解決せず、苦勞多き象なれば中止すべし●就職、有力なる斡旋者なく、長引くのみにて

當分望みなし●試験不成績也●開業、轉業、移轉、何れも凶、時節を待つべし●旅立、定らず不良の象也。

(57)



巽爲風

巽とは、入る義、又従ふの義で、即ち従順恭服の義である。此卦の形を見ると、上卦下卦共に、一陰が主となりて、二陽の下に入り伏して居る象である。それ陰の性は下り退くことを主とするものであるが、今二陽の下に入り従ひて、出づることを得ざる形であるのは、其身を卑下して伏し従ふもので、乃ち従順恭服の象で、巽の義である。又巽を従ふとなす。此卦上下巽を重ねるは、亦巽の義である。即ち以上 象義を取つて、此卦を巽と名づけたのである。

五七、巽の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、巽は風の象、風は動きて定らざるもの、乃ち此卦を得たる時、運氣波瀾がちに流れて定らざることを現す。此時に當りては心志を強固に持ち、常時は巽の義を體して恭順の態度方針を守り、機に應じ變に臨みて果斷敏速の態度に出で、よく機を掴みて進退行動する心掛け肝要也。然る時は思ひの外功利を擧げ得べし。尙不決斷より失敗不利を招く象、英邁果斷の人に謀りて物事を運ぶべき象、

家庭上特に家督相續問題にて爭論紛議の起る象、交際の圓滿を計るべき象、平靜を缺き躁動に流れて失敗不利を招く象、時運に投じて利を得る象等あり●願望、金談、分相應の事は成功すべし。焦せらず、冷靜沈着に運ぶ心掛け肝要也●縁談、多少の波瀾あるも大體良縁也。急がずして有力者に依頼せば纏るべし●戀愛、感情に走らず、冷靜果斷の態度に出づれば成功すべし●家庭運、故障波瀾は免れざるも、長上の意見に従ひ行動平靜を守らば、家運の繁榮を得て大體幸福を得べし●子寶、養育上苦勞は免れざるも、従順の兒女を得て、苦勞を報ひられ悦びを得べし。妊娠女兒也●賣買、困難はあるも、時運に投じ機會を捕へて利益を得る象也●相場、波瀾高下烈しき象、先行は上るべし●壽命、健康上故障を免れざるも、攝生さへ守らば相當の長壽を保ち得べし●病氣、病勢變化多く長引く象也。特に内攻して病症頑固の象なり。然し生命には危険なく、思切つて手術をして効果を得る象あり。性病、糖尿病、神経痛等の象也●待人、來るも長引く。こちらより出向きたる方有利也●走人、近くの縁故ある所に潜伏し居る象也。捜査上強硬手段を取りて功あり。方角東南●失物、何かの下に埋伏せる象也。長引く時は出でず。早く尋ぬべし。方角東より南へかけて也●旅立、長引く象あるも出で、宜し●爭事、支障困難多く長引く象也。有力者の力を借りて和解するを有利とす●就職、有力者に依頼せば長引くも調ふべし。希望通りの成功は望み難し●試験、成績不同の象なるも大體を通じては普

通也●開業、轉業、移轉、急ぎて無理に走るは不可なるも、然らざれば何れも進みて可也●天候、大體良好なるも、風強く變化多き象也。

(58)



兌爲澤

兌とは悦ぶ義である。此卦の形を見ると、上卦下卦共に、一陰が主となりて二陽の上に位して居る象である。それ易に於いては、陽を剛となし、尊しとなし、陰を弱となし、卑しとなす。今卑賤微弱なる一陰が陽剛尊貴なる二陽の上へ上げられて居るのは、これ即ち大いに悦ぶものであつて、兌の義である。又兌は澤で、澤は萬物を潤してこれを悦ばすものであるが、此卦上下共に兌で、兌を重ねるは、潤すこと潤澤にして悦びも従つて大なることを現すもので、亦兌の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を兌と名づけたのである。

五八、兌の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、大體吉運を得て諸事順調に運び、悦びを見る時なるも、悦びに溺れ、調子に乗り、志行放縱に流れて災害不利を招く憂ひあれば、身を慎しみ行ひを正しくして、運氣の亂れを招かざるやう心掛くること肝要也。尙他と親和を計りて吉、喜慶事ある象、物事の中折れを見る象、口舌の禍ひ、女難

等の象あり●願望、金談、調ふ象なるも、安心油斷の爲に成功間際の所にて破るる惧れあれば注意すべし●縁談、和合を得る良縁なるも、夫婦間の節度を亂して破れを招く憂ひあれば注意すべし。又成立の望みあるも安心油斷より頓挫を來す惧れあれば注意すべし●戀愛、成功するも相互の我儘より破れを來す象あれば慎しむべし●家庭運、和合幸福の象なるも、家庭間の節度を失ひて折角の幸福を破る憂ひあれば慎しむべし●子實、親子和合幸福の象なるも、愛情に溺れてこれを破る憂ひあれば注意すべし。妊娠女兒也●賈買、利ある象なるも、七八分通り進行せる所にて頓挫を來す憂ひあれば注意すべし●相場、好況なるも挫折の象あり●壽命、健康長壽の象なるも、不養生よりこれを破る憂ひあれば注意肝要也●病氣、全快する象なるも、安心油斷より失敗を招く憂ひあれば警戒すべし。性病、胃腸病、肺病等の象也●待人、來りて悦びある象也●走人、色情關係あり。間もなく判明すべし●失物、出づ。方角西●旅立、吉●爭事、和解有利也●就職、調ふ象なるも確定迄は安心油斷すべからず●試験、好成绩を得べきも慢心を戒しむ●開業、轉業、移轉、何れも吉也●天候、良好なるも後崩る。

(59)



風水渙

渙とは離散解消の義である。此卦上卦を巽となし、下卦を坎となす。巽は風で、坎は水であり、即

ち風水上を行く象である。それ風の水上を行くや、必ず水を吹き散らすもので、渙の義である。又坎を冬となし、氷となし、巽を春となし、風となす。乃ち春風到りて嚴寒の氷雪が解消する象で、亦渙の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を渙と名づけたのである。

五九、渙の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、氣運解通し、辛勞艱難解消して悦びを見る時也。然し一面に於いて油斷放漫に流れ、慎しみを缺きて失敗不利を招く憂ひあれば、戒慎すべきことを示す。尙諸事敏速に進みて吉、新しく物事を企て、吉、運輸によつて功利を見る象、旅行殊に船による旅行の起る象、他の救援に依りて艱難を脱する象、朝謀夕變と云ふが如く志行移り動きて失敗不利を招く象等あり●願望、金談、不動の方針を持って進まば成功すべし●縁談、故障解けて纏る象也。又初めは苦勞を免れざるも將來は吉を得る縁也●戀愛、初め縛れを見るも、確固不動の精神を以て進まば成功すべし●家庭運、初めは故障苦勞を見るも、漸次吉運幸福を得るに到る象也●子實、初め子供に就きて苦勞を見るも、養育の苦心實を結びて後には幸福を得る象也。妊娠女兒也。又安産の象也●賣買、初め故障あるも、不動の方針を守り敏速に進まば成功利益を得べし●相場、崩落する象也●壽命、少青年時代には健康上故障を見るも、後健康を得て案外長壽を保つ象也●病氣、一時危険の容態に陥るも、持直して全快し悦びを見る象也。

血行機關の病、呼吸器病の象也●待人、意外に早く來ることあるも、長引く時は來らず●走人、遠方に走りて判明せざる象也●失物、外に出でたる象、手に返らず●旅立、出で、吉なるも旅中慎しむ肝要也●爭事、和解成立の象也●就職、調ふ●試験、好成绩也●開業、轉業、移轉、何れも吉也●天候、好轉すべし。風強き象。

(60) 水澤節 すゐたくせつ



節とは、操持檢制の義で、物事に處して分限あることを知つて止まることを云ふのである。此卦上卦を坎となし、下卦を兌となす。兌は澤で坎は水である。乃ち兌澤に坎水を容れる象であるが、澤池が水を受容れることは自ら限量があるものであつて、其量過ぎれば溢れ、其水乾涸すれば其用を廢す。溢れず涸れずして中節を得るを貴ぶ。乃ち節の義である。又此卦の全體の形を見ると、下より初爻と二爻とが陽、三爻と四爻とが陰、五爻が陽、上爻が陰で、その形が丁度竹節の疎密宜しきを得たるに似て居るのも、亦節の象である。即ち以上の象義を取つて、此卦を節と名づけたのである。

六十、節の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事分限を考へ節度を守り、急進妄動を慎しまば、運氣平安を得て萬事通達を得べきも、若

し此心掛けを忘れて、分外に走り、利慾に迷ひて志行を亂すことあらば、氣運に逆らひて失敗災害を招き、困苦に陥るに至るべし。尙難に安んじて時節を待つべき象、讒言中傷を受くる象等あり●願望、金談、急に成就せず。忍耐時節を待つべし●縁談、吉、急がず氣長に運ばゞ纏るべし●戀愛、成否一に忍耐根氣の如何にあり●家庭運、規律正しく平安なる家に生れて幸福の象也●子寶、溫順律義なる兒女を得て平安幸福の象也。然し親としての品位素行を正しく守らざれば、子供の反抗に逢ひて折角の幸福を破るに至るを以て慎しむべし。妊娠男兒也●賣買、未だ時機を得ず。暫く時節を待つべし●相場、底意強きも持合ひの象也●壽命、攝生よき爲に健康長壽を得る象也●病氣、長引くも養生よき爲に全快する象也。神経痛、消化器病の象也●待人、急に來らず。氣長に待つべし●走人、近くに居る象なるも急に判明せず。心配せず氣長に構ふれば、自然に歸來するか、判明すべし●失物、屋内に在る象也。根氣よく探さば出づ。方角北又は西●旅立、見合せて時節を待つ方吉也●爭事、不利也。忍耐を以て和解すべし●就職、急に望みなし。氣長に時節を待たば道開くべし●試験、大體好成绩也●開業、轉業、移轉、時機を得ず。見合せて時節の到來を待つべし●天候、良好の象也。

(61)



風澤中孚

中孚の孚は誠の義で、乃ち中孚とは中に誠信あるの義である。此卦上卦を巽となし、下卦を澤となす。兌は澤、巽は風で、乃ち澤上に風あるの象であるが、風が上に動けば澤水もこれに感じて動くもので、恰も上にあるものが誠心を以て下に臨めば、下にあるものが感動してこれに従ふのに當るもので、乃ち中孚の義である。又兌を悦ぶとなし、巽を順ふとなす。乃ち悦びて順ひ、僞なくして相感する象で、亦中孚の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を中孚と名づけたのである。

六一、中孚の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事誠心誠意を以て進まば、他の信用を得て運氣次第に開け進む象也。尙邪心を藏し不信に走らば、運氣を破り災害不利を招くに至る象、人に信義を盡さばその報ひを得て吉利到る象、共同事吉利を得る象、他と親和を計りて吉を得る象、交際する人を誤たざる注意肝要の象、旅行の起る象等あり●願望、金談、順調に運ぶ象、然し誠實を缺く時は失敗すべし●縁談、和合繁榮を得る良縁也。而して順調に運ぶべし●戀愛、誠意届きて成功する象也●家庭運、和合平安を得て幸福の象也●子寶、溫順健康にして孝心深き兒女を得、幸福の象也。妊娠女兒也●賣買、好都合に運びて利を得る象也。然し手固く運ぶこと肝要也●相場、頑強に持合ふ象也●壽命、攝生よく健康長壽を得る象也●病氣、養生よき爲に全快する象也。胃擴張、腹膜炎、腎臓病等の象也●待人、必ず來る●走人、心配なく間も

なく歸來するか、判明すべし●失物、屋内に在りて出づるか、又は親切なる人の手によりて返る象也●旅立、旅程平安の象、出で吉●争事、争ふは絶対に不利、誠意を以て和解すべし●就職、順調に運ぶ象也●試験、好成绩を得る象也●開業、轉業、移轉、何れも進みて吉なるも無理は避くべし●天候、現在の天候続く象也。

(62)



雷山小過

小過とは、小なるものゝ過ぎたる義、又過ぎること小なる義である。易に於いては陽を大となし、陰を小となすものであるが、今此卦二陽四陰であるのは、陰乃ち小が、陽の大に過ぎたる象で、小過の義である。又二陽が内に在つて主となり、四陰が外に在つて客たる象で、これ客が主に過ぎたるもので、澤風大過の卦と反對であつて、これも小過の義である。又艮は山、震は雷で、乃ち山上に雷ある象であるが、雷の山上にあるや、その所少しく高きに過ぎ、よくその性を奮ふ能はず、その響遠きに達せざるもので、これ亦小過の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を小過と名づけたのである。

六二、小過の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事進み過ぎて失敗不利を見る象あれば、なるべく控目を守り、身を慎しみ大事を取る心掛けを肝要とす。尙分外に走りての失敗不利、退守吉進取凶、不和争事の起る象、近親者又は從來關係ある事との別離、人の依頼を引受けて後日災害の因となる象等あり●願望、金談、小望小金は調ふも、大望、大金は調はず●縁談、不和別離を見る凶縁也。見合すべし●戀愛、一時成功を見るも、永續せざる象也。特に相手の心變りする象あり●家庭運、不和の家庭に生れ、又家運も傾きて不辛苦勞を見る象也。又家を離れて遠方に出づる象あり●子寶、子供の縁薄きか又は不和にて苦勞多き象也。妊娠女兒也●賣買、見込違ひ又は手違ひを生じて失敗損失の象也●相場、今安きも後上り、又再び崩落する象也●壽命、病弱短命の象也●病氣、一度は快方に向ふも、再發して危険の象也。然し養生次第にて必ずしも絶望には非ず。熱病、胸部の病の象也●待人、來らず●走人、高飛びして判明困難の象也●失物、盜難又は遺失の象にて出で難し●旅立、災難の憂ひあり。見合すべし●争事、不利の象也。中止すべし●就職、望みなし。一時腰掛けの職を求め、氣長に時節を待つべし●試験、不成績か落第の憂ひあり●開業、轉業、移轉、何れも進むは凶也。中止して時節を待つべし●天候、不良の象也。

(63)



水火既濟

既濟とは、物事が既に済みて成就せる義である。此卦六爻皆正位を得、二爻、五爻共に中正を得、且六爻が皆、相應じ、相比して居るのは、易に於いて貴び重んずる所が悉く備つて居つて、整濟の象を現すもので、乃ち既濟の義である。又此卦上卦を坎となし、下卦を離となす。離は火、坎は水で、乃ち水が火上にある象である。それ火の性は炎上し、水の性は潤下するものであるが、今水が上に在つて火が下に在るのは、太陽の火熱が、下土を照し、地中の水氣が蒸發する象であつて、水火陰陽の二氣が相交りて各その用を濟すもので、乃ち既濟の義である。又坎を中男となし、離を中女となす。今坎の中男が上に在り、離の中女が下に居るは、男女各その所を得たるもので、嫁娶既に済むの象で、亦既濟の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を既濟と名づけたのである。

六三、既濟の卦を得たる場合の占斷應用

●運勢、萬事功利を遂げ、氣運の安泰隆盛を示す時なるも、將に盛運の極衰運に傾かんとする兆あれば、安心油斷を戒しめ、堅忍自重以つて盛運を保持する心掛けを肝要とす。尙初め吉にして終り亂るゝ象、別離分散の象、退守吉進取凶、物事一旦調ひて再び破るゝ象、分外の大事大望を企つべからざる象、

る象、親近者との不和等の象あり●願望、金談、順調の運びを見るも成功間際にて破るゝ憂ひあれば、安心油斷を戒しめ、最後の達成を見る迄努力すること肝要也●縁談、初め吉にして末凶の縁にて、終りを全ふせざる憂ひあり。又一旦纏るも破談となる象あり●戀愛、一旦は成功するも、永續せずして破るゝ象也●家庭運、盛家に生れて、初めは幸福なるも、後家運傾きて不幸苦勞を見る象也●子實、初めは和合を得て幸福なるも後には親子間に不和を來し苦勞を見る象也。尙子供の死別又は家出を見る憂ひあり。何れにしても親子同居せざる方が平安を得て幸福を得べし。妊娠男兒也●買賣、初めは順調に運ぶも中途にて故障の起る象あれば、油斷安心して調子に乗らざること肝要也。尙大利を望む時は失敗すべし●相場、目先上るも天井となりて崩るゝ象也●壽命、健康の生れなるも中年期に到りて健康上に故障を生じ、長壽を保ち得ざる憂ひあれば、充分攝生を重んずること大切也●病氣、一旦回復するも、再發して危険を招く象あれば、安心油斷せず、徹底的に養生して、療養の完全を期すること肝要也。心臓又は腹部の病、老衰等の象也●待人、途中より引返して來らざる象也。若し來るも期待に反する象也●走人、一度歸來するか、間もなく判明するも、再び家出する憂ひあれば注意すべし。重ねて家出せる場合には判明困難の象也●失物、一度は判明するも、何れにしても縁なく、身を離るゝ象也●旅立、出でず共用の足りる象あり。尙出でゝ凶には非ざるも旅中節約の慎しみ

肝要也●爭事、初め有利に見えて結局不利に終る象なれば中止すべし●就職、一旦成功するも永續せざるか、成功間際にて破るゝ象也●試験、好成绩を得るも、氣に緩みを生じて次回には不成績を見る象あれば注意すべし●開業、轉業、移轉、何れも見合す方吉也●天候、良好なるも續かざる象也。

(64)



火水未濟

未濟は既濟の反對の卦にて、物事未だ濟はずして成就せざる義である。此卦上卦を離となし、下卦を坎となす。坎は水、離は火で、乃ち火の水上にある象である。それ火の性は炎上してその用をなし、水の性は潤下してその用をなすものであるが、今水が下に在つて、火が上に在るのは、水火共にその位を得ずして、よく其性を盡し、其用をなすこと能はざる象で、乃ち未濟の義である。又坎は中男で、離は中女であるが、今坎の中男が下に居り、離の中女が上に居るは、各その位を得ずして相對し、未だ婚嫁を遂げざる象で、亦未濟の義である。即ち以上の象義を取つて、此卦を未濟と名づけたのである。

六四、未濟の卦を得たる場合の占斷應用

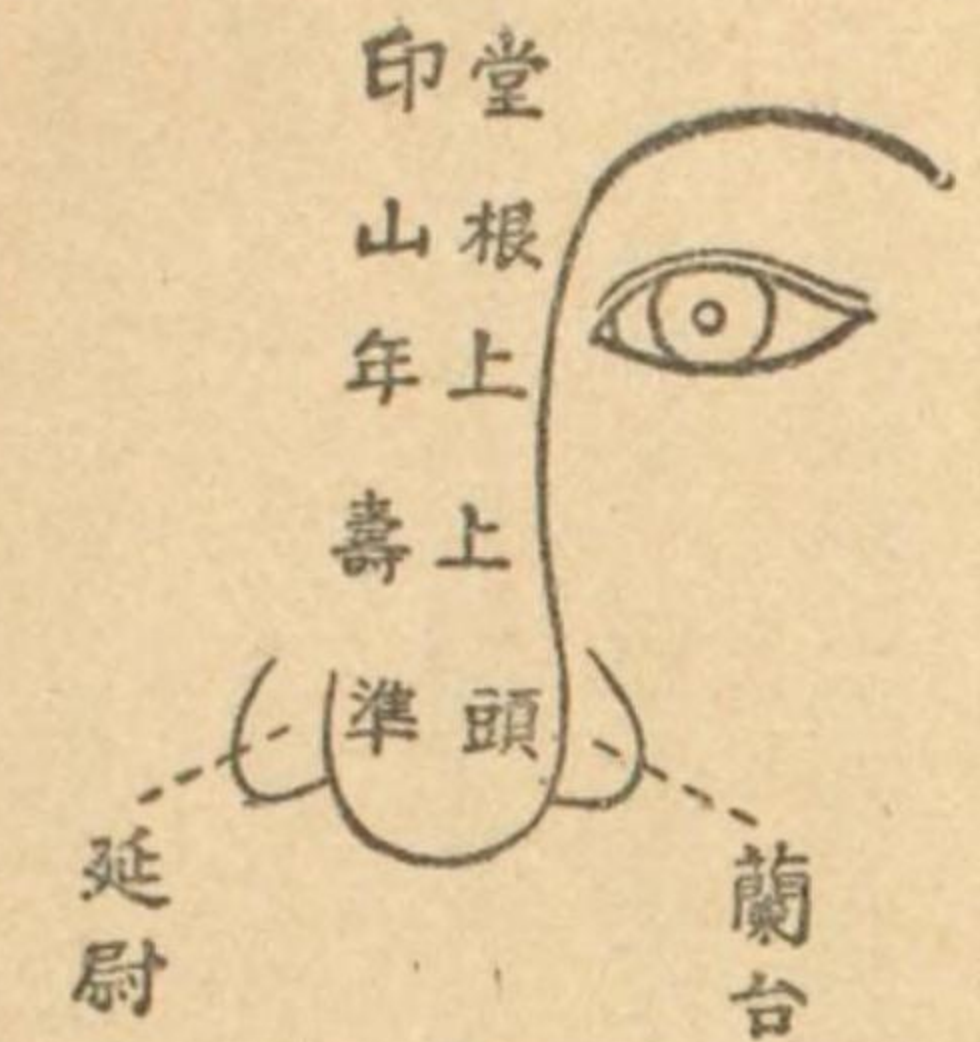
●運勢、氣運通ぜず、諸事順調に運ばざる象あるも、恰も夜の明け行くが如く、次第に運氣開け進みて、順調の運びを現し來り、前途に希望光明を認むるに到る時なれば、勇氣を失はず、焦せり氣味に流れず、堅實の方針を守り、努力を怠らずして、徐々に漸進する心掛け肝要也。然らば、必ず將來盛運を迎へて、功利を遂げ悦びを見るに到るべし。尙輕躁妄動を慎しむべき象、暗黒より光明に向ふ象、初め困難に見ゆる事も終に成就を見るに至る象、慎重を缺き輕卒に走りての失敗、進取の方針を取りて吉、他と協力して大事を遂ぐる象等あり●願望、金談、困難ありて急には成就せざるも、急がずして努力を盡さば遂に成功を見る象也●縁談、初めは故障苦勞あるも末には幸福を得る象にて良縁の方也。又故障ありて長引くも氣長に運ばゞ纏る象也●戀愛、初めは形勢非に見ゆるも、至誠と根氣とを以て進まば遂に成功の悦びを見るべし●家庭運、初めは家運振はずして苦勞艱難を見るも、次第に家運開けて隆盛に向ひ幸福を得るに至る象也●子寶、初めは子供に就きて苦勞あるも、末には幸福悦びを見る象也。又子供を得ること遅き象あるも案外多き象也。妊娠男兒也●賣買、初めは商談順調に運ばざる象あるも、誠實を以て氣長に運ばゞ結局成功利益を得べし●相場、漸騰の象也●壽命、少青年時代は病弱の象なるも、その後健康を得て長壽を保つに至る象也●病氣、長引くも峠を越したる象にて、今後の養生さへ届かば全快すべし。腹部又は血行機關の病也●待人、遅るゝも吉報をもたらして來る●走人、長引くも歸來するか、判明する象なれば、心配に及ばず●失物、根氣に探さば出

づ。何かの中へ紛れ込み居る象也。方角北又は南●旅立、旅程豫定より長引く象なるも、出で、吉也
 ●争事、長引く象也。和解を有利とす●就職、急に成就せざるも、根氣を以て努力せば案外有望なる
 勤口を得る象也●試験、心配せるよりも好成绩を得て悦びを見る象也●開業、轉業、移轉、何れも進
 みて吉なるも、急ぎて無理に流れざるやう注意すべし●天候、次第に良好に向ひ永く續く象也。

第六章 人相学手引

鼻の現す運命の種々相

(一) 鼻の相と智能性格



●鼻の形が正しく整つて居る者は正直である●鼻が高く鼻頭(準頭)が円
 い者は情義に厚く仁侠の性質がある●鼻が高く隆起せる者は一技に長じて
 名聲を博するものである●鼻が廣くて長い者は技藝に長じ一藝に秀でるも
 のである●鼻の相に縮りがあり小鼻(蘭台、延尉)のはつきりして居る者
 は節度があつて成功するものである●鼻頭の高い者は慈善心に富むもので

ある●鼻頭の豊かなる者は心が善良である●鼻頭が尖り色の白い者は藝術を好みその才能を有するも
 のである●鼻頭が円くして厚い者は忠實善良である●鼻梁が隆くしてよく通つて印堂の所まで達して
 居る者は心が清く明らかである●印堂から鼻にかけて川の字の如き筋がある者は聰明である●鼻の穴

が一本の指が入る位の大きさの者は聰明である●小鼻が張つて固く引締つて居る者は手先が器用で一技に長ずるものである●鼻は大きい方が吉相ではあるが餘りに大き過ぎる者は強情で強慾に走るものである●鼻の短小なる者は小心で氣力に乏しくて且見識を欠くものである●鼻の先が鷺の嘴のやうに曲つて居る者は性質が奸佞で不善を行ふものである●鼻が釣針の如き形の者は心中に毒を藏するものである●鼻が小さくて尖り小鼻に力がなく上向いて居つて鼻孔が外面へ露はれて居るやうな者は性質が不正で人に義理を欠くものである●鼻が途中で曲つて居る者は性質が奸惡で道德心を欠き正義の觀念に乏しく、理非を顧みずして自己の慾望を遂げやうとするものである●鼻筋が不正で曲つて居る者は性質が奸惡で詐欺心があるものである●鼻筋が劍の背のやうになつて居る者は強情である●鼻梁に骨が露はれて居る者は忍耐自重の精神に乏しく成功の覺束ないものである●鼻梁の骨の硬い者は意志は強いが頑固で向ふ意氣が強く意地張りである。反對に鼻梁の柔かい者は温順ではあるが、意志が弱く柔弱である●鼻頭が細くて尖つて居る者は好んで奸計を企てる性質がある●鼻頭の肉が垂れ下つて居る者は貪慾多淫である●鼻頭が尖つて斜めになつて居る者は心の曲れる印である●鼻の穴が小さくて口の尖つて居る者は性質が輕躁で短氣である●鼻の穴が張り廣がつて太鼓のやうな形をして居る者は山氣があつて勝負事を好むものである●小鼻に赤い白筋のある者は酒色に耽つて身を亡すに至るものである●山根が薄くし尖つて居る者は正直で一見識は備へて居るものであるが、とかく理窟に走つて寛容の徳を欠き、他人の僅かな過ちをも見逃すことが出來ず、人和を欠きて孤獨に陥るものである。

(二) 鼻の相と富貴貧賤

●鼻に光澤があり潤ひを帯びて隆起して居る者は貴相で、金運も備はるものである●鼻が筒を縦に切つたやうな形をして胆嚢を掛けたやうな者は富貴の相で、中年より必ず大いに榮達するものである●鼻が豊大で肉の厚き者は富貴の相である●鼻が高くして廣く眞直ぐな者は大いに富貴を得る相である●鼻が囊のやうな形をして居る者は晩年に富貴を得る相である●鼻が獅子のやうな形をして居る者は明達の相で高位に上り社會に名聲を上げるものである●鼻が高く興隆せる者は官祿が備つて居つて榮達する相である●鼻の色が鮮明で黄色を帯びて居る者は貴相である●鼻頭が円くて鼻の穴が上向きになつて居らず又外面へ露れず且左右の小鼻が均齊を得て居る者は富貴の相である●鼻頭の平直なるは人に優れて福祿を受くる相である●鼻頭が円くして豊かなる者は福相で衣食に豊かである●鼻筋が通つて額に達する者は貴相で大いに名を揚げるものである●左右の小鼻が高くして豊かなる者は富貴の相である●鼻の下は廣い方が富貴の相である●鼻の穴が左右均齊を得て居る者は中年に富を得る相である

ある●鼻に檢紋のあるのは財を破りて貧困に陥る相である●鼻が狭く骨が露れて居る者は貧賤の相で一生浮ぶ瀬がなく貧苦に終るものである●鼻頭が尖つて肉の薄いのは貧賤の相で上達の望みがないものである●鼻の穴が大きくして前から見えるやうに露出して居るのは貧相で一生財を得る望みが無いものである●鼻の穴が天井を向いて居る者は貯蓄心がなく財を積む望みがないものである●鼻の穴の大き過ぎるのは巨財を得る望みのない相である●小鼻が小さくて殆んど形がないやうなのは貧賤の相で一生恵まれることがなく不遇に終るものである。

(三) 鼻の相と家庭運

●鼻が高く秀で、鼻梁の通つて居るのは家庭運に恵まれて一家の繁榮隆昌を得る相である●鼻に光澤があり、潤ひを帯びて肉の豊かなる者は身内の縁が深く一生幸福を得る相である●鼻が筒をたてに切つたやうな形をして居る者は家庭運に恵まれて、家運を興し繁榮を得るものである●鼻の形が正しく整ひ且鼻頭の中直なる者は家庭運が良く、一家の平和円満を得て家運の繁榮を得、特に晩年に於いて子供に就いて幸福を得るものである●鼻頭が円く鼻梁が通つて勢ひがあり、印堂を貫く者は美人の妻を得て幸福の相である●小鼻が豊かで鼻の下が廣く暢びやかな者は子供が多く幸福を得る相である●

鼻に縦筋があるのは他人の子供を養育する相である●鼻に曲りの三つある人、所謂三段鼻の人は孤獨の相で家を破るある●鼻に三つの凹みのある者は骨肉相争ひ不幸に終る凶相である●鼻が左の方に偏つて居る者は父の縁が悪く早く父に先立たれる相であり、反對に右の方に偏つて居る人は母の縁が悪く早く母に先立たれる相である●鼻が大きく骨の露出して居る者は、身内の縁が薄く一生苦勞を免れぬ相である●顔の大きい割に鼻の小さいのは財運に恵まれず、たとへ富家に生れても財を失ひ家を破るに至り、又夫婦の縁も悪く夫婦互に相刺し、不幸を見るものである●鼻が顔全體より凹んで居る者は家庭運が悪く、生家を離れて他郷に流浪し苦勞する相である●鼻が左右何れかへ曲つて居る者は身内の縁が薄く、一生の中に家運を挫折するに至る憂ひがある●鼻の上に横筋又は節のある者は夫婦別居を見る相である●鼻の上に筋のある者は、男は妾狂ひをし、女は多情で家庭の治まらぬ相である●鼻にホクロが多くある者は、一時は家運が榮え事業に成功しても永續せぬ相である●鼻に横筋のあるのは家財を破る相である●鼻が低くて平べつたく欠如したやうな者は孤獨の相である●額、兩頬、顎が低くて鼻だけが突飛に高い者は、富貴の家に生るゝも中途にして財を失ひ家を破りて窮迫に陥る相である●小鼻の左の方に欠陥のある者は父親の縁が薄いか又は父との間に円満を欠く相であり、反對に右の方に欠陥がある者は母親と縁が薄いか又は母との間に円満を欠くもので不幸の相である●小鼻が

大きくして堅く引締つて居る者は子供と別居する相であり、若し同居する時は故障不幸を見るものである●鼻筋に屈節のある者は中年に挫折して孤獨に終る相である●鼻筋が險阻な危い道のやうに高い者は兄弟の爲に苦勞することの多い相である●鼻柱が平直でなく欠陥のある者は養子となつて他家を繼ぐ相である●山根の部位に八字型の筋のある者は妻を刺する相で、妻縁上不幸を見るものである●山根又は印堂の部位が落凹んで居る者は中年時代に一身上に大變動を生じて家運を傾ける相である●鼻頭の尖つて肉の薄い者は孤獨の相で、一生を淋しく暮らすものである●鼻頭が紅色を帯びて居る者は家郷を離れ東西に流浪して世を終る相である●鼻の穴が上を向いて居る者は轉々として安住の地を得ざる相である。

(四) 鼻の相と壽命

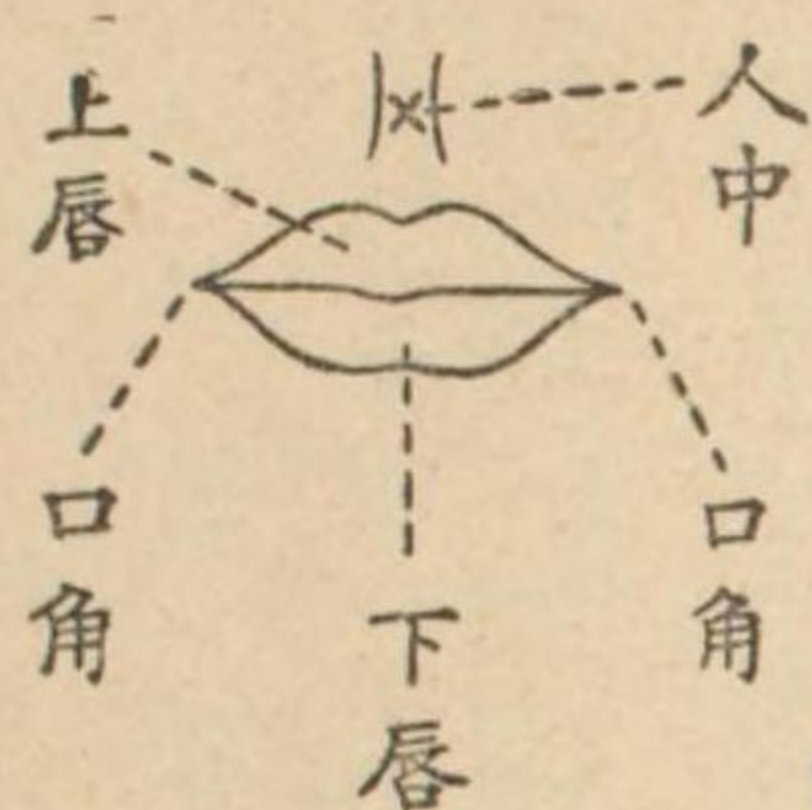
●鼻に光澤と潤ひがあり、豊かに起れる者は長壽の相である●鼻の長い者は長壽の相である●鼻が硬くして骨のあるのは長壽の相である●鼻梁の高隆なる者は長壽の相である●小鼻がよく發達して居つて豊かなる者は長壽の相である●山根に欠陥がなく平順なる者は長壽の相である●年上、壽上の部位に光澤と潤ひがあり、豊かに起れる者は長壽の相である●鼻の肉が薄くして色の黒い者は短命の相である

ある●鼻にホクロのあるのは病苦に悩む相で長壽を望み難く、その數が多い程凶相である●鼻が削いだやうな形をして仰向いて居り、且鼻梁の露出して居る者は長壽を得難く、特に他郷で客死する憂ひのある相である●鼻の短小なる者は病弱で殊に呼吸器病に犯され易く、長壽の望みのない相である●鼻の短いのは短命の相である●鼻が斜めに曲つて居つたり、鼻に屈節凸凹のある者は短命の相である●鼻梁に骨がなく柔軟なる者は天死の相である●鼻梁に骨のないのは幼少にして死する相である●鼻の穴の形が正しく整つて居らず、はつきりしない者は短命の相である●鼻の穴が天井を向いて居る者は短命の相である●兩方の小鼻に赤白い筋のある者は酒色に耽つて壽命を縮める相である●鼻筋に黒い斑點のある者は持病があつて長壽を保ち難い相である●山根の部位に欠陥のある者は短命の相である

口の現す運命の種々相

(一) 口の相と智能性格

口がゆるやかで舌の廣い者は、必ず歌樂を好みこれに長ずる相である●口の形が端正で豊厚なる者は、慎しみが深く妄言を吐かず徳が厚い相である●口が四の字を横たへたやうな形の者は心が誠眞である●口が榮螺さかのやうな形をして縮



んで居る者は、獨り歌ひ獨り樂むと云つた風があつて物事を苦にしないものである●兩唇が均齊を得て居つて形の正しい者は性格が偏らずして中正を得る相である●唇が正しくして厚く、牛の如き者は性質が純で賢明の相である●平常は兩唇がよく揃つて居つて一見稍小さく見えるが、發言に際して口角が擴がつて大きくなるのは、辨舌に長じてこれによつて成功する相である●唇の厚い人は沈黙寡言で信義を重んずる相である●女子で唇の赤く光のあるは賢婦の相である●女子の唇の甚しく紅いのは精力旺盛の相である●口角の上向いて居るのは徳のある相で、言行が正しく人に信用敬服されるものである●音聲の清く澄める者は心の正しい相である●舌の厚いのは徳のある相である●口が左右へ引つけられて頬部に到れる者は、性格が奇矯で偏狭の相である●物を言はぬのに馬のやうに口の動く者は嫉妬心が強く人をそしる癖がある相である●口にホクロのある者は酒を好み食道樂の相である●口が開いて居つて齒が外に露れて居る者は計數にうとく失敗損失を招いて運勢を破る相である●口邊の紫色な者は性質が貪慾で災ひを招き運勢を破るに至る相である●物を云ふ時に體裁をつくるふやうに口をゆがめる者は、性格が甚だ陰險で常に陰謀をたくらみ危険な人物である●口が鼠のやうに細い者は嫉妬心が強く、人を中傷誹謗して喜ぶ傾向があるものである●口がつまみ集めたやうな形をして居る者は心情が甚しく下賤なる相である●口の上下兩線が各偏つて居つて口角の薄い者は誹謗を事とする性質がある●上唇が下唇を覆ふ者は心が不安定で、とかく物事に處して迷ひがちであせり氣味になる相である●下唇が上唇を覆ふ者は輕薄で信用が出来ないものである●上下兩唇が鳥の嘴のやうな形をして居る者は信義心がなく友とすべからざる相である●上下兩唇共に薄き者は品性が下劣なる相である●上下兩唇が均齊を得て居ない者は盜心のある相である●上唇が突出し、下唇が引込んで猛鳥の嘴のやうな形をして居る者は、輕躁兇暴で警戒すべき相である●上唇が引込んで下唇の突出して居る者は口やかましくて他と和合しない相である●左右の口角に高低がある者は、邪智に長じ噓言家である●女子で口ヒゲのあるやうな者は、性格が男子のやうに荒々しく、夫に不從順で家庭にいざこざが絶えない相である。

(二) 口の相と富貴貧賤

●口が大きくて横に眞直な者は貴相で榮達するものである●口が横に眞直で廣く、口角の切れ目がはつきりして居る者は貴相で、人の上に立つ運勢が備はれる者である●口が弓の弦の方を上に向けたやうな形をして居る者は富貴の相で、官祿が備はれるものである●口の中へ自分の拳が入るやうな形をして居る者は富貴の相で、將帥、宰相、大富豪となる運勢が備つて居るものである●口が紅のやうに赤

い者は福相で、一生衣食に事を欠かないものである●口が四の字の如き形をして居る者は福相である●口が広く豊かな者は食祿も豊かである●上下兩唇が均齊を得て形が正しい者は福相である●唇の小筋が上下相對して居る者は財運の豊かなる相である●唇が廣くて厚い者は財運に恵まれる相である●齒が密で揃つて居り、人中が深くて長い者は、官祿を受けることが宏大なる相である●口が尖つて反りかへり、形が偏つて薄い者は貧賤の相で、成功上達の望みがないものである●口が細くて尖り、鼠の口に似た形の者は貧相で、衣食に窮する憂ひがある●口が犬の口の形に似た者は卑賤の相で、上達の望みがないものである●縦筋が口に入れる者は貧相で、衣食に窮する憂ひがあり、特に晩年が不幸である●口がつまみ上げたやうな形をして居る者は甚だしく卑賤の相で、一生浮ぶ瀬がないものである●口が開いて居つて、齒の露出せる者は卑賤の相で、一生を苦勞の中に終るものである●口が縮んで居つてふくろのやうな形の者は貧相で、衣食に窮するに至るものである●口が火を吹く時のやうな形をして居る者は貧相で、生活に窮するに至る憂ひがある●口が馬の口のやうな形をして居る者は貧相で、衣食に窮するに至るものである●口が小さくて舌が大きい者は貧相で、富を得る望みがないものである●人の居らない所で獨言を云ふやうな者は卑賤の相で、立身成功の望みがないものである●上下兩唇の薄い者は卑賤の相で、上達の望みがないものである●口角の垂れ下つて居る者は貧相で衣食に恵まれないものである。

(三) 口の相と家庭運

●口の形が正しくして清く、唇が厚く、舌が鋭い刃の如く、且色が紅色なる者は吉相で、家庭運が豊かで一生幸福を得るものである●口がひろくと大きく、横に眞直で、口角のはつきりして居る者は家庭運に恵まれて、繁榮幸福を得る相である●口唇の方正なる者は、家運の繁榮を得、子孫に恵まれる相である●女子で口が紅のやうに赤い者は、夫の愛憐を受けることが深いものである●女子で唇に紋の多い者は子供が多く、反對にその少ない者は子供が少いものである●口が尖つて火を吹く時のやうな形の者は孤獨の相で、子供が少なく、身内の縁が薄くて家庭的に不幸である●口がふくろのやうに縮んで居る者は、子供の縁が薄く別居生活を免れないものである●口の青黒い者は、家庭を破り、家を捨て、流浪するに至る相である●口が左に片よつて居る者は妻を剋し、反對に右に片よつて居る者は夫を剋する相で、男女共に不幸を見るものである●口の右邊に立筋のある者は家庭を破る相である●口をすぼめて話をする人は家運を破る憂ひのある相である●紋理が口邊を巡つて居る者は、晩年に至つて家運が傾き、困窮に陥る相である●女子で口の廣く大きい者は、初運は吉祥で安樂を得る

が、晚運は凶悪で苦勞を見るものである●女で口が特別に大きく、横に眞直になつて居る者は、名聲を上げることはあるが夫運が悪く、縁が遠いか、夫と和合を欠くか、又は夫に早別する憂ひがあるものである●上唇が下唇を覆つて居る者は、妻子兄弟を刻して不幸を見る相である●上唇の薄い者は父と相刻して早別し、反對に下唇の薄い者は母と相刻して早別する相である●下唇が上唇より發達して居る者は孤獨の相で、家運を破るに至る憂ひがあるものである●女子で下唇の突出して居る者は夫を刻して、家權を奪ふに至る相である●舌が常に青色を帯びる者は、家産を破りて家を離れ、又骨肉の縁が薄くて兄弟相分離するに至る相である。

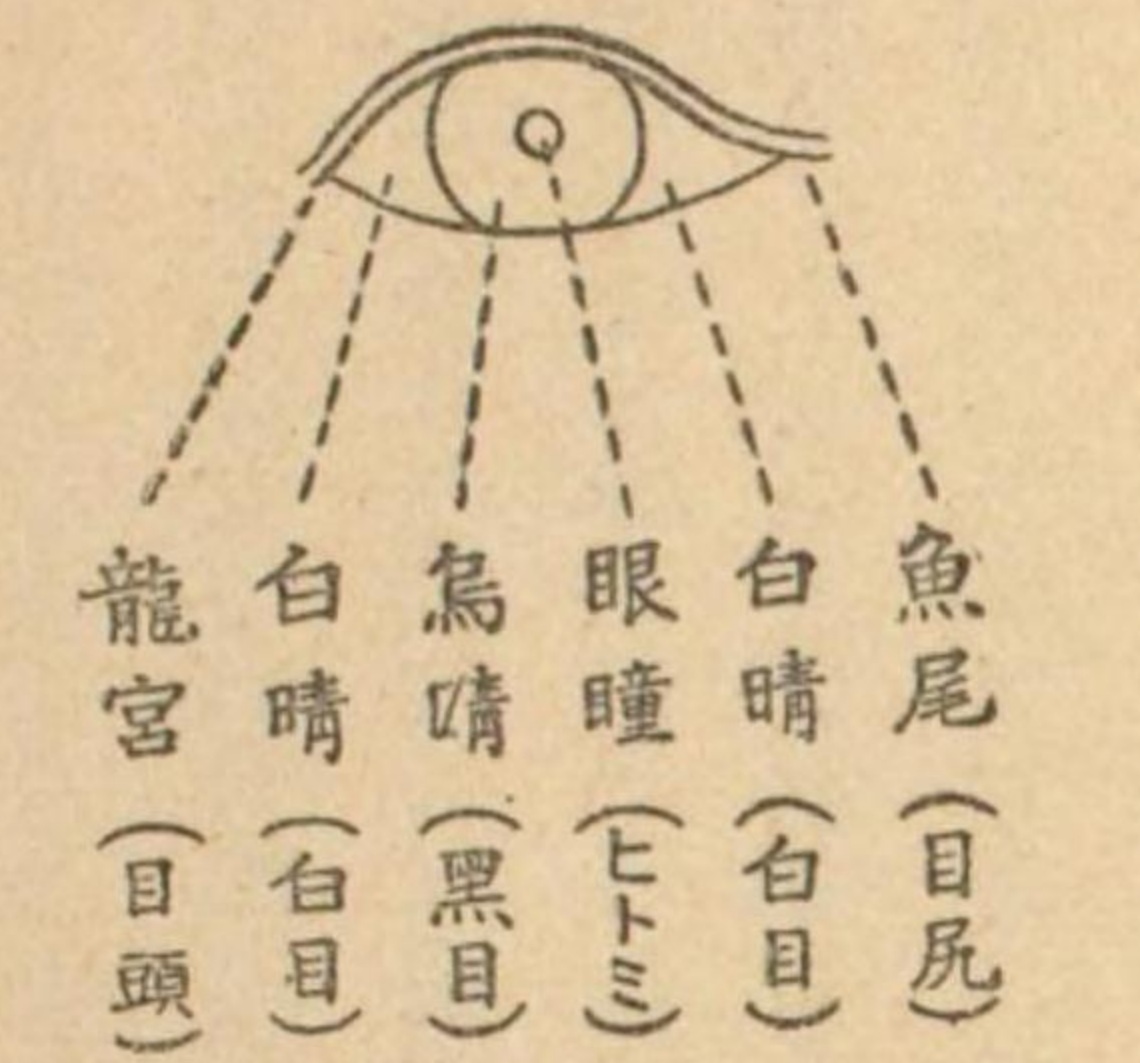
(四) 口の相と壽命

口が横に眞直で廣く大きく、口角のはつきりして居る者は長壽の相である●上下兩唇が均齊を得て居つて、形の正しい者は長壽の相である●唇の色が清くして光澤のある者は健康で長壽の相である●口が紫黑色を帯びて居る者は、胃腸に疾患があつて長壽を保ち難い相である●口が小さくて舌の大なる者は短命の相である●口が小さくてふくろの縮んだやうな形の者は短命の相である●口が暗黑色を呈する者は、惡死、毒死を見る憂ひのある相である●口が青色を帯びて居る者は天死の相である●臥

して口を開く者は短命の相である●口が眼より小さい者は劍難の相である●口唇が黄色を帯びて居る者は、内臓に疾患があつて長壽を保ち得ない相である●唇の色が枯れて生氣のない者は短命の相である●兩唇が尖つて前方へ突出し、齒が露出して居る者は若死の相である●唇が反り返つて人中の淺い者は天死の相である●音聲が枯れて力のない者は短命の相である。

眼の現す運命の種々相

(一) 眼の相と智能性格



●黒眼が黒きこと漆の如き者は、聰明にして學問に秀づる相である●瞳が清く黒眼と白眼とが分明で、魚尾 (目尻) のよく切れて居る者は、聰明の相ではあるが、酒を好む癖がある●黒眼が大きく白眼の部分の少ない者は、聰明にして忠孝信義の心の厚い人である●眼の大きい者は志が高く、深い者は志が遠大で、正しい者は心も正しい相である●眼光明らかにして下まぶたの厚く豊かな者は、剛柔宜しきを得て忍耐心が強く、よく凶運を轉じて吉運となす働きを備へて居るものである●物を見ること正しくして定まり、怯えざる者は、神氣の

壯んなることを現す相である●瞳が円くして大なる者は賢明の相である●奥目の人は概して性質が善良で信仰心が深いものである●眼に潤ひのある者は、孝心が深い相である●眼の秀美なる者は君子の相である●女子で黑白分明なる者は端正貞淑の相である●眼全體の形が中央でくびれて居つて、丁度瓢箪のやうな形をして居る者は、一家の見識を備へて居る者であるが、とかく角が多く他と和合しない相である●眼は小さいよりは大きい方が吉相ではあるが、餘り大に過ぎる者は、勇氣はあるが粗放に流れて失敗を招き敵を作る憂ひがあるものである●眼が細くて奥目の者は、陰性で消極退嬰に流れ、頑固な所があつて片寄つて居るものである●出目で人を流し目に見る者は淫慾の強い相である●眼が暗く濁つて居つて、横目を使ふ者は心の不正なることを現すものである●眼の短小なる者は、暗愚で心が賤しい相である●立ち目で、眼の玉が外へ出張つて居つて、怒氣を含んで居る者は、性急で争心がある相である●白眼の部分が多く、黒眼の部分少く、死人のやうに上を向いて居る者は、性質が凶悪で終りをよくしない相である●眼の玉がむき出したやうに見える者は、心に毒がある相である●眼に紫色の斑點がある者は、表面は素直に見えて内心に毒を含み、油斷のならぬ人物である●眼瞼の円い者は、兎角争心があつて人と和合しない相である●兩眼の形が大小不同な者は性質が奸陰でむら氣なることを現すものである●黒眼の四方が白眼になつて居る者は、これを四方白眼と云ひ、黒眼

が下にさがつて居つて三方が白眼なる者は、これを下三方白眼と云ひ、何れも凶相で、性質が奸惡邪智で偽瞞騙詐を事とし、不幸に終るものである。特に四方白眼を大凶相とし、身を亡し刑罰を受くるに至るものとする●上眼瞼に、ホクロ、アザ、傷痕等のある者は、貪慾で盜心を有することを現すものである●兩眼が非常に小さい者は、小才はあるが大才がなく、目先の利慾によつて動き、小成功に安んずるものである●目尻が釣上つて居る者は、性質が頑強偏固で、時には發狂する懼れのある相である●眼球の色が茶色を帯びて居る者は、性質が驕慢で、人を侮蔑する傾向がある相である●眼球が甚しく落込んで居る者は、陰險邪惡で人情を欠き、且強慾なる相である●黒目が上下に動く者は性急で、九仞の功を一箕に欠く憂ひがあるものである●目尻の円い者は誠實を欠く相である●眼頭(龍宮)が円くて目尻(魚尾)の尖つて居る者は、虚勢を張る人で、外見に似合はず小心にして臆病なるものである●平常は細長いが、眼を開くと白眼となる者は、野望を抱く人で危険なる人物である●瞳が非常に大きく、黒眼一ぱいに廣がつて居る者は、奸雄の相で、油斷のならない人物である●眼に紫色を帯びる者は粗暴短慮の相である●上眼瞼に立筋のある者は短慮で、不慮の災ひを招き、下眼瞼に立筋のある者は心が不正なることを現すものである●眼が大きくて円く、且中高なる者は、短慮で怒りつばいことを現す相である●眼が濁つて居つて偏視する者は不正である●眼が丸くて小さく、

且短くして引込んで居る者は不善の相である●眼中に黒い點になつた凹みのある者は奸佞の相である●白眼の黄色なる者は淫亂の相である●上眼瞼が薄くて眼球の出張つた者は強情の相である●眼が斜めになつて居る者は心も邪しまである●眼を上げて人を見る者は傲慢であり、斜めに見る者は心が邪しまで嫉妬心が強い相である●相對した際に目を上げたり、伏せたり、又はあちらこちらを窺ひ見て定まらぬやうな者は、輕躁で思慮の定らぬ人である●物を眼下に見る人は、陰性で疑心が深いことを現すものである●目が怒つて居るやうに見える者は性質が強暴である●目が赤くて瞳の黄なる者は、心に毒を含む相である●眼がうるんで水が垂れるやうな感じを現して居る者は多淫の相である●眼を閉ぢて物を云ふ者は心が邪陰である。

(二) 眼の相と富貴貧賤

●眼が長くして深く、光があつて潤ひを帯びる者は、高貴の相で榮達するものである●兩眼が神氣を内に藏し、明らかにして光ある者は富貴の相で、地位人に優れ財運も豊かなるものである●瞳の位置が正しく、安定して動き流れざる者は福相で財運が豊かである●眼が秀で、長き者は貴相で、人に優れて榮達を得るものである●黒眼と白眼とが分明なる者は貴相で、人に抜んずるものである●眼が大き

くして光りある者は福相で、財を積むものである●眼が切れ長で清秀なる者は貴相で、高位高官に上るものである●眼が正しく眉長き者は福相で、財を積むものである●眼の長さが一寸に至る者は貴相で、高位に上るものである●眼烈しく威ある者は貴相で、萬人の歸依を得るものである●相法上雙瞳と稱して、兩眼に瞳が二つづゝあつて横に並んで居る者は、萬人に優れたる英傑の相であるとし、又舜眼しんがんと稱して瞳が二つづゝ縦に並んで居る者は、大聖人の相なりとして居るが、果して實際に斯くの如き眼を持つ者があるかどうかは疑問である。雙瞳は又重瞳とも云ひ、支那の英傑、舜や項羽はそれであつたと傳へられて居る。然し予が思ふに、これは古人が大英傑、大聖人を形容に於いて表現する際に、誇張して説いたのでないかと思ふが、参考として此所に掲げて置く●龍宮即ち眼頭にアザや傷痕があり、又は欠陥のある者は貧相で財を破るものである●白眼が多く神氣が流れて安定せざる者は貧相で、窮迫に陥り上達の望みがないものである●黒眼の所に白い雲がかゝつたり、班點のある者は貧相で、一生浮ぶ瀬がないものである●兩眼の下眼瞼の間が暗く濁れる者は、徳がなく卑賤の相で上達の望みがないものである●眼が大きくて浮出て居り、光澤のない者は貧相で、財を得る望みがないものである●眼が深く窪んで居る者は貧相で、衣食に窮する憂がある●眼が濁つて昏暗なる者は貧賤の相で、財運がなく上達の望みがないものである●兩眼が大小不同なる者は卑賤の相で、上達の望みが

ないものである●魚尾即ち眼尻の理が鬢に入るやうな者は卑賤の相で、財を破り不遇に終るものである●眼の下に骨の突起せる者は卑賤の相で、一生を貧窮下賤に終るものである●眼が細くて白く目長い者は貧寒の相で、一生財運に恵まれないものである。

(三) 眼の相と家庭運

●眼大にして光ある者は、家運を興し財を積む相である●眼の形が正しく、眉の長い者は、家を興し財を積む相である●黒眼と白眼とが分明で神氣流れず、灼然として光明ある者は、家庭運に恵まれて幸福なる相である●眼下の兩眼瞼の間が豊満なる者は、子孫に恵まれて居る相である●女子で眼下の肉が豊かで紅潤なる者は、子供が多く貴子を生む相である●眼が細く、黒眼が圓く、中心が青みを帯びる者は、親不孝で肉身に迷惑をかける相である●上眼瞼が高く下眼瞼の低い者は、子供に縁が薄く、子供を得ても生別又は死別を見る相である●上眼瞼が薄くて眼球の凸出して居る者は、強情で親兄弟身内と不和を生じ、孤獨に終る相である●兩眼の大小不同なる者は、兩親に異状があり、腹違いの兄弟を持つ相である●左眼の小なる男子は女難の相で、家庭が亂れ、妻との間に折合ひが悪いものである●眼頭に、ホクロ、アザ、欠陥等のある者は、家庭運が悪く、殊に子供と生別を見るか折合ひ

が悪く、又家産を破りて困苦に陥る相である●四方白眼、下三方白眼（前々項参照）の者は、何れも家庭運が悪く、骨肉相叛き、孤獨困窮に陥る相である●白眼が赤く、瞳の黄なる者は、身内の縁が薄く孤獨の相である●黒眼が小さく白眼が大なる者は、家を離れて流浪し、刑罰を受くる憂ひのある相である●兩方の眼尻が垂れ下つて居る者は、夫妻分離の相である●眼が深く陥りて涙を含み、眼中の濁れる者は孤獨窮迫の相で、他郷に客死する憂があり、殊に女子にして斯くの如き相の者は、夫を剋して家運を破り、又病弱の子を生んで苦勞が多いものである●眼下に、ホクロ、アザ、又は傷痕のある者は、夫婦縁と子供運が悪く、早婚すれば破縁の悲しみを見、子供が育たないか又は子供との不和を招いて苦勞が多いものである●眼尻に、アザやホクロのある者は、妻縁が悪く、生別を見るか、妻女が病弱であるか然らざれば淫奔である●左眼が失明するか、又は左眼に欠陥や傷痕のある者は父親に縁が薄く、反對に右眼が斯くの如き場合には母親に縁が薄いものである●斜眼俗に云ふやぶにらみの者は身内の縁が薄く、片親を早く失ひ、夫婦縁がうまく運ばず、子供に就いて苦勞が多いものである●黒眼が半分も上眼瞼に入つてかくれて居るやうな者は、男子は妻に薄情であり、女子は不貞にして夫を剋するものである●黒眼の中に黒點のある者は親を剋し、家督を全うしない相である●眼中に細かい粟粒のやうなものを生ぜる者は、家庭運が悪くて親に早く死別する相である●眼が中央でく

びれて瓢箪の如き形をして居る者は、配偶者、子供に縁が薄く、晩年に孤獨に陥る相である●眼が三角形をして居る者は、三角眼と稱して家庭運が悪く、苦勞が絶えぬものであり、殊に女子の場合には、夫を刺して家庭を破るものである●白眼黄色なる者は、男子は妻を刺し、女子は夫を刺して家庭が繁榮しないものである●物を正視せず、斜に見る者は、家庭運が悪く、父祖の業を繼ぐことが出来な
い相である●眼尻に紋理があつて、直斜して髪が生際に入つて居る者は、妻のことで災厄を招き恥辱を受けることがある相である●眼が赤く、瞳が金色をして居る者は、情愛がなく、親兄弟を見捨て、顧みぬ者である●女子で眼の下が凹み、枯れしぼんで居る者は、子供がなく、若しあつても縁のない相である●眼の上下の肉が落込んで居る女子は、子供がないか、若しあつても幼少で死別するか又は病弱なる相である●右眼の小なる女子は、夫との間の折合ひが悪く、又左眼の小なる者は、義理の子供を育てるか、或は養子にかゝる相である●女子で黒眼が小さくして白眼が大なる者は、夫を刺して家運が榮えないものである。尙その上に瞳が黄色くして眼中に赤脉のある者は、姑と争いを生じて不幸を見る相である。

(四) 眼の相と壽命

●眼が細くて奥目の者は長壽の相である●瞳が丸くて大きく、且黒くして光のある者は長壽の相である●眼が大きくして圓く、中高に浮出して居つて怒氣を帯びている者は、長壽を保ち難き相である●赤い筋が瞳を貫いて居る者は、非業の死を遂げる相である●眼が突出して居つて神氣の流るゝのは死者である●瞳が散大して力を欠き、ぼんやりして居る者は、心身の衰弱せることを現し、病難の相である●赤い筋が黒球の周圍を巡つて居る者は、内臓の衰弱せることを現し、病難の相である●白眼の所が全體に赤色を呈する者は、天死するか又は不慮の死を遂げる相である●出目で瞳が飛出して居る相は天死の相である●眼の下に井字形の紋理のある者は、自殺の惧がある相である●眼が露出して居つて白い者は、傷害の爲に死する惧れがある相である●眼の力が弱くして光のない者は若死の相である●眼の上に立筋のある者は横死の憂いがある相である●女子で眼の下が赤色なる者は難産の相で、その爲に壽を縮める憂いがある●女子で眼の甚しく廣く大なる者は若死する憂ひがあり、反對に甚しく小なる者は、難産の相で、その爲に壽を縮める憂ひがある。

眉の現す運命の種々相

(一) 眉の相と智能性格

●眉が清秀にして長き者は聰明の相である●眉骨の昂たかれる者は性質が剛毅なる相である●眉の卓然として立つ者は性豪宕なる相である●眉の中にホクロのある者は聰明にして賢智なる相である●眉が尻上りになつて居る者は性善にして、心がしつかりして居るものである●眉が新月のやうな形をして居る者は聰明にして心も清く正しく、名聲を揚げる相である●眉毛細くして秀で起れる者は賢明にして貴相である●眉の纖細なる眼は技藝に長じ、又眉の中にホクロのある者も技藝に秀でて名を揚げる相である●眉長くして眼を過ぎる者は性質が忠直である●眉毛が鬢に入る者は聰俊の相である●眉が高くして直なる者は心が清いものである●眉が細くして平らで、眼を過ぎる者は、操守清くして人に秀でる相である●眉が高く其勢ひ聳ゆる者は、奇を好み性質が片よつて居るものである●眉毛が豊かで濃淡中庸を得て居る者は友情に厚い相である●眉の形が弓の如き者は、性質は善良であるが勇氣に乏しい相である●眉が清く光彩ある者は、己れを持すること高く、高尚なる生活をする人である●眉頭にホクロのある者は、性質が剛毅なる相である●眉が粗くて強く、且逆立つて亂れ迫れる者は、性質が兇暴頑固なる相である●眉尻の垂れ下つた者は性質が怯懦である●眉骨が角立つて突出して居る者は、性質が兇暴で、物事に滞りが多い相である●眉の中に欠けた所のある者は、奸計を巧み、油斷の出来ない人物である●眉薄くして無きが如き者は、性質が狡佞邪智の相である●眉毛が太く重くして

糸の如き者は、貪慾多淫の相である●眉が曲つて蛾の如き者は好色の相である●眉尻にアザのある者は盗心を藏する相である●男子で女の如き眉の者は多淫の相である●両方の眉が不揃ひで均齋を欠いて居る者は、性格にむらがあつて偏狭なるものである●眉尻がピンと跳上つて居る者は、反逆陰謀性を現すもので、終りを全うしない相である●眉が目より短い者は社交的でなく、孤獨性を現す相である●眉頭に渦卷のある者は争鬪心が強く殺生を好む相である●眉が逆立つて居る者は性質が強悪なる相である●両方の眉頭が逆立ち合つて居るやうな者は、剛情で人と親和を得ない相である●眉が濁り汚れて居るやうに見える者は、性質が愚昧の相である●眉が箒で掃いたやうな形をして居る者は、義理人情を欠き忘恩の徒である●女子で眉が糸の如く細く、且物を云う時に微動する者は多淫不貞の相である。

(二) 眉の相と富貴貧賤

●眉長くして眼を過ぎる者は富貴の相である●眉が高く額の部位に達する者は富貴の相で上達するものである●眉が高く聳えて秀でたる者は、威權があり、福線も豊かなる相である●眉毛に光澤があつて潤ひを含んで居る者は貴相で、成功を得、人に抜んでゝ高位に上るものである●眉の上にホクロのある者は貴相で、貫祿豊かにして高位に上り、萬人の上に立つに至るものである●眉毛が細くして起

れる者は貴相で上達するものである●眉が新月の如く美しき形の者は富貴の相で、名聲が四海に轟くに至るものである●眉尻が高く、眉毛が密生せずしてさつぱりして居つて、清秀の感じを興へる者は人の上に立ち 家運が榮え、名聲を揚げる相である●眉が短かくて眼を覆はざる者は貧相で、財を得る望みがないものである●眉が眼に迫りてこれを壓するが如き者は貧賤の相で、窮迫に陥るものである●眉の上に横筋のある者は貧賤の相で、財を得ず、上達の望みのないものである●眉は濃い方が吉相ではあるが、餘りに濃きに過ぎる者は、財を破りて窮境に陥るものである●兩方の眉頭が相交はる者は貧相で、財を得る望みがないものである●眉が逆毛になつて居つて粗い者は貧賤の相で浮ぶ瀬がなく、殊に長毛の生じて居るのは凶相で、晩年に於いて窮迫に陥るものである●眉がせばまつて短く、愁ひの感じのある者は、財を破りて窮迫に陥る相である●眉頭に紋の繞つて居る者は貧賤の相で、一生安樂を得る望みがないものである●兩方の眉頭が八字形をなして居る者は貧賤の相で、一生を苦勞の中に終るものである●眉の薄いのは貧相で、財を散じ破るものである●眉骨が聳え立つたやうな形をして居る者は貧賤の相で、一生を苦勞の中に過し、安んずることなきものである●兩眉が近く迫れるものは貧相で、特に金錢上に關しては他の助けがないものである。

(四) 眉の相と家庭運

●眉長くして眼を過ぐる者、眉が高く聳えて清く秀でたる者、眉が濃くして光澤があり且潤ひを帯びる者、眉の形が新月の如き者、眉が細くして清く起れる者、以上の相は凡て家庭運が良く、一家の和合幸福を得て家運の繁榮を見るものである●眉が濃くして清く正しく、且生え揃つて居る者は、兄弟も多く和合を得て幸福なる相である●眉毛が濃くして長く、眼を過ぐる者は、兄弟が三四人あり眼を過ぎざる者は二人位の相である●眉の後部即ち眉尻へ寄つた方に旋の一つある者は兄弟が二人 二つある者は三、四人、三つあつて濃く長い者は四、五人ある相である●眉が明らかで潤ひがあり、まばらでない者は、兄弟が多く、六、七人もある相である●眉頭の相交はる者は身内の縁が悪く、特に兄弟間の折合が悪い相である●眉毛が逆立つて居る者は、妻子を虐待し、兄弟運が悪く、兎角家庭上の苦勞故障の多い相である●兩眉の中に旋毛のある相は、腹違ひの兄弟を持つか或は双生兒の相であり又家郷を離れて他郷に去る相である●眉が伏し又は仰むいて居る者は家庭運が悪く、色々と不幸の續く相である●眉が途中で切れて居る者は身内の縁が悪く、家郷を離れて他郷に流浪する相である●眉の短い者は身内特に兄弟の縁が薄く、孤獨の相である●眉が薄くて短く、散らばつて居る者は孤

獨の相で、家庭運が悪く、苦勞が絶えないものである●兩方の眉頭が八字形をなして居る者は、身内と折合が悪く、萬事につけて家庭上故障苦勞が絶えないものである●眉が逆さに生へて居る者は、親に縁が薄く早別するものであり、又女子で斯くの如き眉の者は、夫を刺する凶相である●眉は秀で、居るが眼はこれに反して濁つて居る者は、妻子に苦勞をかける相で、刑罰に觸れる惧れがある●眉が青黒くして一文字になつて居る者は、妻子に反逆される相である●左眉に卷毛がある者は父に先立たれ右眉にある者は母に先立たれる相であり、又左右兩眉にある者は早く兩親を失つて孤兒となる相である●眉毛の群生して居る者は身内の縁が薄い凶相である●眉頭に傷痕やアザがあつたり、又は眉頭の陥没して居る者は、中年に家を破りて家運を傾ける相である●兩方の眉が均齋を欠いて居る者、即ち一方が高く一方が低いとか、一方が眞直で一方が曲つて居るとか、一方が長く一方が短いとか、又は一方が濃くて一方が薄いとか云ふやうなものは、凡て肉親との折合ひが悪いとか、何れか片親に早く別れるとか、又は兄弟が腹違ひであつたり和合を欠くもので、兎角家庭上故障苦勞が多い相である●眉が短かくてせばまり 愁ひを帯びて居る者は、家産を破り家運を傾ける相である●眉が餘り濃すぎる者は家産を破る相である●兩方の眉頭に紋や節のある者は、家運を保つことが出来ず、中年に至つて家を破り固苦に陥る相である●眉頭が際立つて角立ち、凸起して居る者ば家業の沈滞を招きて

困窮に陥る相である●眉頭が垂れて愁ひを帯びて居る者は、妻に對して苛酷で家庭の平和が保てない相である●眉が迫つて眼を壓するやうな者は、家庭上幼少時代に苦勞を重ねた相で、兩親に縁が薄くて同居することが出来なかつたか、どちらか片親に早く別れたことを現すものである●眉毛が糸の如きは、淫慾に耽つて子供を得ざる相である●眉毛が眼を塞ぐやうな者は、兄弟仲が悪く不幸を見る相である●眉頭がバサ／＼して散らばつて居るやうな者は、男兒が多く生れ女兒が少ない相である●眉に縦紋のある者は父母に早く別れる相である。

(四) 眉の相と壽命

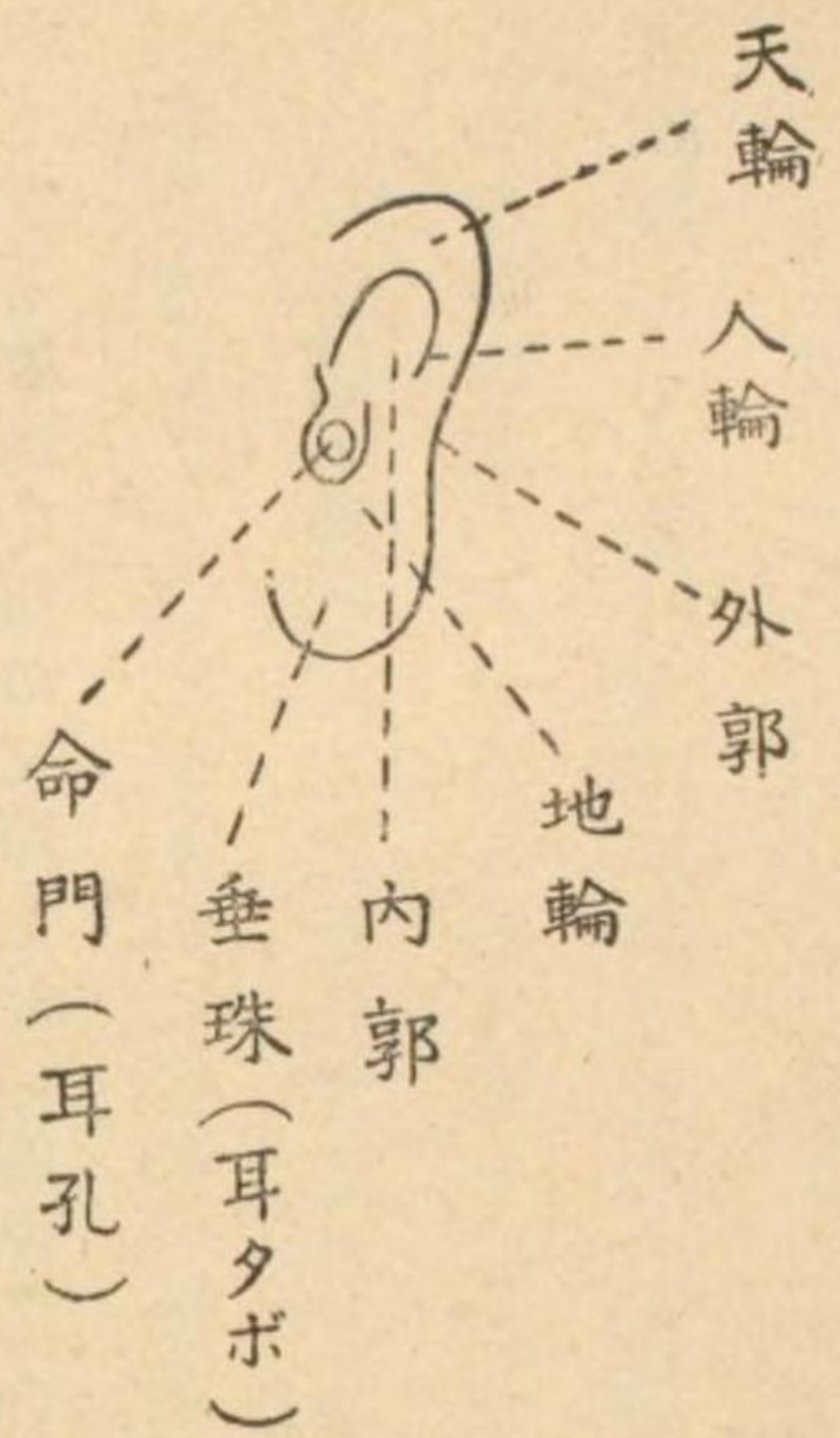
●眉が長くして白毛を生ずる者ほ長壽の相である●眉が長く垂れて居る者は長壽の相である●眉毛の中に長い毛の生えて居る者は長壽の相である●眉尻の毛が長い者は長壽の相である●眉が高く額の上に在る者は長壽の相である●眉が濃く長く清くして光澤のある者は、長壽の相である●眉毛が粗くて角があり、眉骨の高い者は、健康長壽の相である●眉が大小中庸を得、左右兩眉が均齋を得て光彩のある者は、長壽の相である●兩眉が相交はつて區別の出来ないやうな者は、短命の相である●兩眉が均齋を欠く者(前項参照)は、何れも病弱で長壽を保ち難い相である●眉が低くして額の尖つて居る

者は短命の相である●眉毛がせばまつて横一文字になつて居る者は、短命の相である●眉が短くして顔の詰つて居る者は、短命の相である●眉が粗くて下顎のこけて長い者は、長壽を保ち得ない相である●眉が迫つて居つて暢びやかでない者は、長壽を保ち得ない相である●両方の眉が枯れて黄色を帯びて居る者は、長壽を保ち得ない相である。

耳の現す運命の種々相

(一) 耳の相と智能性格

●命門即ち耳の穴が、深くして廣くゆるやかなる者は、智謀が遠大で性質が豁達なる相である●耳の輪郭がはつきりして居る者は聰明の相である●耳にホクロのある者は聰明の相である●耳の輪郭が桃紅色を帯びて居る者は、性質が玲瓏なることを現す相である●耳が清く秀でて居る者は聰明の相である●両方の耳の位置が均衡を得て居る者は、學問に秀で、文學の才能を備へる相である●耳の内部が深くして廣い者は多智の相である●耳が紅い者は、精力が強く活動家の相である●耳の輪が大なる者は、性質が豪宕濶達の相である●耳が前の方へ進んで居る者ほど、本能的で動物性が強く、理智に乏しいことを現すものであり、反對に後の方へ寄つて居る者ほど、理智に優れて居ることを現すものである●耳の位置が餘りに高い者は、上品ではあるが消極的で、活動力を欠き進取の氣象に乏しく、反對にその位置が低い者は、積極的、實際的ではあるが、品位に乏しい欠點を現すものである●耳の柔軟なる者は、感傷的で情に脆く、心が弱いことを現す相である●耳の輪郭が外へ反りかへつて居る者は、性質が下賤なる相である●耳の肉が厚くして前方へ向いて居る者は、凡庸なることを現すものである●耳の小さいのは愚鈍の相である●耳が前へ伏せたやうになつて居る者は多淫の相である●耳が上つて尖つて居る者は剛情の相である●耳が黒くて焦げたやうで、きめが粗く、塵に汚れたやうな感じを與へる者は、暗愚で物の役に立たない相である●耳が大きすぎる者は、性質が粗野で行動が亂れがちになることを現すものである●耳の上部が尖つて居る者は、性質が卑しく、心が殺伐なる相である●耳が小さくて輪郭に欠陥のある者は、性質が奸險なる相である●耳が低くて反り、附根が尖つて居る者は盜心のある相である●耳の汚濁なる者は精神も昏暗なるものである●耳が反つて輪のない者は不良の徒である●耳の内にアザや欠陥のある者は小心の相である●耳の輪の小さい者は意志の薄弱なる相である。



は、精力が強く活動家の相である●耳の輪が大なる者は、性質が豪宕濶達の相である●耳が前の方へ進んで居る者ほど、本能的で動物性が強く、理智に乏しいことを現すものであり、反對に後の方へ寄つて居る者ほど、理智に優れて居ることを現すものである●耳の位置が餘りに高い者は、上品ではあるが消極的で、活動力を欠き進取の氣象に乏しく、反對にその位置が低い者は、積極的、實際的ではあるが、品位に乏しい欠點を現すものである●耳の柔軟なる者は、感傷的で情に脆く、心が弱いことを現す相である●耳の輪郭が外へ反りかへつて居る者は、性質が下賤なる相である●耳の肉が厚くして前方へ向いて居る者は、凡庸なることを現すものである●耳の小さいのは愚鈍の相である●耳が前へ伏せたやうになつて居る者は多淫の相である●耳が上つて尖つて居る者は剛情の相である●耳が黒くて焦げたやうで、きめが粗く、塵に汚れたやうな感じを與へる者は、暗愚で物の役に立たない相である●耳が大きすぎる者は、性質が粗野で行動が亂れがちになることを現すものである●耳の上部が尖つて居る者は、性質が卑しく、心が殺伐なる相である●耳が小さくて輪郭に欠陥のある者は、性質が奸險なる相である●耳が低くて反り、附根が尖つて居る者は盜心のある相である●耳の汚濁なる者は精神も昏暗なるものである●耳が反つて輪のない者は不良の徒である●耳の内にアザや欠陥のある者は小心の相である●耳の輪の小さい者は意志の薄弱なる相である。

(二) 耳の相と富貴貧賤

●耳が眉より高く上に位する者は高貴の相で、上達するものである●耳が肩へ垂れて居る者は大貴人の相で、高位に上るものである●耳が肥大にして厚く堅く、且形容が正しくして紅潤なる者は、人の上に立ち地位を得る貴相である●耳が白くして光明なる者は、大いに名望を得る相である●耳の隆起せる者は名聲を揚げる相である●耳の色が顔の色より白い者は、天下に名聲を顯す相である●耳が眼より高く上つて居る者は、人の師長となる相である●耳たぼが豊かで堅い者は高位に上る相である●兩耳の位置が均衡を得て居る者は名聲を揚げる相である●耳が前から見えぬ者は貴相で、人徳を得て上達するものである●耳が厚く輪廓が豊かで、垂珠（耳たぼ）が肩に垂れ、色彩が潤澤鮮明なる者は大貴相で、高位高官に上るものである●耳が頭に貼りつけたやうになつて居つて、輪廓共に堅く、その位置が眼より上つて居る者は英賢の相で、人に拔んずるものである●耳が長くして聳ゆる者は、位祿が備はる相である●耳が光明にして潤澤なる者は、名聲が遠く轟く相である●耳の輪廓が紅黄色なる者は、富貴の相である●耳が眼より高く上つて居る者は、財運の豊かなる相である●耳たぼが圓くして厚く、豊かなる者は、富裕の相である●耳たぼが前に向いて居る者は、財運の豊かなる相である

●命門即ち耳の穴が廣くして大なる者は、富有の相である●耳が肥大にして厚く、且木の如く堅くして形が正しく、紅潤なる者は、財運が豊かで中年より富を得、晩年に至つて安樂を得る相である●耳が白くして紅色を加へ、光と潤ひのある者は、財運に富む相である●耳たぼが口に到る者は富有の相である●耳が眉よりも一寸程も高い者は富有の相で、一生困窮することがないものである●耳の輪廓が共に高い者は、一生安樂を得る相である●耳が紅黄色を帯びる者は財運の備はる相である●耳が前から見えぬ者は富の備はる相である●兩方の耳が頭へ貼はりつけたやうになつて居る者は、富有の相である●耳が圓くて厚い者は、衣食に窮せず、一生を豊かに過すことが出来る相である●耳たぼの上にホクロのある者は財運の豊かなる相である●耳の色が赤黒い者は貧賤の相で、財運に恵まれず上達の望みがないものである●左右兩耳が大小異なる者は一生故障が多く富も得られず、地位も昇進する望みがない相である●耳の形が鼠の耳の如き者は貧賤の相で、一生窮乏の生活を送り、人の下積みとなつて終るものである●耳が前から見える者は貧賤の相で、財運が乏しく上達する望みがないものである●耳が反りかへつて居る者は貧窮下賤にして世を終る相である●耳が眼の下より生じて居つて、輪廓のない者は貧賤の相で、財運に恵まれず、上達の望みがないものである●耳が薄くして前に向つて居つて、耳の穴に風の入るやうな者は貧賤の相で、財産を消費し、困窮に陥るものである●耳が黒く

て焦げたやうで、塵に汚れて居るやうな感じがする者は貧相で、一生困窮に終るものである●耳が紙のやうに薄い者は、貧賤孤獨の相である●耳が矢の羽根の如き形をして居る者は貧相で、衣食に窮するものである●耳の中にアザや欠陥のある者は、中年に於いて訴訟事で財を破る相である。

(三) 耳の相と家庭運

●耳が圓くて、輪郭が均齊を得て相扶け合つて居るやうな形の者は、家運を興して繁榮を得る相である●耳が肥大で厚く堅く、紅潤にして形の正しき者は、身内の縁が豊かで幸福の相である●兩耳が頭へ貼りついたやうな形の者は、身内の縁に恵まれ、平和幸福を得て家運繁榮の相である●耳にホクロのある者は貴い子を得る相である●耳たぼの肉が豊かで光澤があり、口に到るやうな者は、富家に生れて繁榮幸福を得る相である。●耳たぼが前へ上つて居るやうな者は、家運を増大する相である●耳の輪郭の高い者は家庭運が良く、安樂に世を過し得る相である●耳が眼及び眉より一、二寸も高い者は、家庭運に恵まれ、一生を富裕に暮す相である●女子で左の耳が厚くて豊かな者は男の子に縁が深く、反對に右の耳が同様な者は女の子に縁が深い相である●一方の耳が大きく、一方の耳が小さい者は、二人の母に育てられるか、又は腹違ひの兄弟を持つ相である●耳が薄くて前に向き、風が耳の穴

に入るやうな者は孤獨の相で、身内に縁が薄く、又父祖の遺産を賣盡して困窮に陥るものである●耳の位置が片寄つて居る者は一生安住の家を得ざる相である●兩耳が大小不同で均齊を欠く者は一生故障が多く、家運が振はずして苦勞を重ねる相である●耳の皮が粗く、塵で汚れたやうな感じを興へ、又は黒くて焦げたやうに見える者は、逆境に育ちて身内の縁が薄く、一生苦勞を重ねる相である●耳が黒くて班點が飛びくにあるやうな者は、家を破り父祖の名を汚すに至る相である●耳が鼠の耳の如き形の者は孤獨の相で、家庭運に恵まれないものである●耳の位置が低くて反つて居り、輪のないやうな者は、父祖の業を破りて困窮に陥る相である●天輪(圖解参照)の尖つて居る者は安住の家を得ず、轉々として居を變へ、苦勞する相である●耳が青黒くて皮の粗い者は、家郷を離れて異郷に走る相である●天輪ありて地輪なき者は(圖解参照)事業上に成敗が多く、従つて家政上にも變動が多く、一家の安定を得ない相である●耳の中にアザや欠陥のある者は家庭上に故障が多く、特に中年に於いて家運の衰退を招く相である●耳の穴の小さい者は、次第に家運が傾き貧窮に陥る相である。

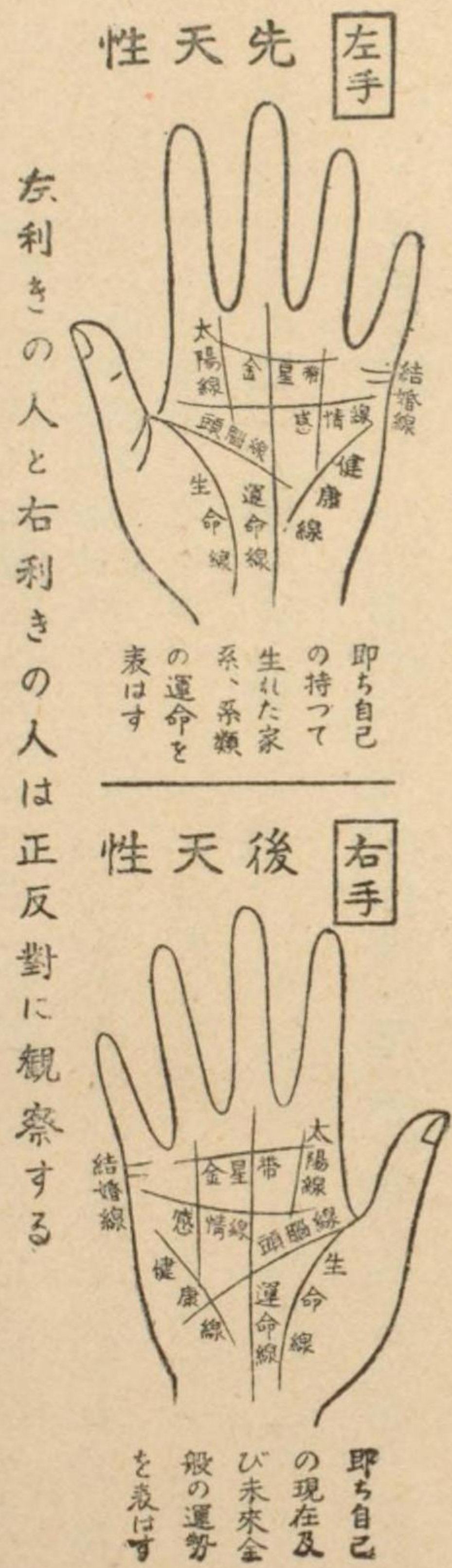
(四) 耳の相と壽命

●耳の中に毛を生ずる者は富貴長壽の相である耳●たぼが豊かで前に上つて居る者は長壽の相であ

●耳の穴が廣くて大なる者は長壽の相である●耳たぼが長くして豊かで、口に到る者は長壽の相である●耳が紅黄色の者は長壽の相である●兩耳が頭に貼りつけたやうで輪廓が堅く、位置が眉と眼よりも高く上つて居る者は非常に長壽の相である●耳の輪郭が分明なる者は長壽の相である●耳の中にホクロのある者は長壽の相である●耳が紙のやうに薄い者は天死の相である●耳が枯れて光澤がなく、洞んで居る者は病弱短命の相である●耳の小なる者は短命の相である●耳に肉がなく軟かな者は長壽の望みがない相である●耳の穴の小なる者は短命の相である●耳の昏暗なる者は病弱短命の相である●耳が鼠の耳のやうな者は天死の相である●耳が薄くして根のないやうな者は短命の相で、特に幼少にして死する憂ひがある●耳の前後に長い青筋のある者は横死の相である●耳にアザや欠陥のある者は内臓が弱くて長壽を保ち難い相である。

第七章 手相学 手引

手相の諸線図解



(一) 生命線

生命線とは、圖解の如く、拇指の周圍を繞る長い線のことを云ふのであつて、此線は主とし健康状態、壽命の長短を現すものである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●生命線が、細く深く且長くして分明で、亂れがなく、淡紅色を帯びて居るのは吉相で、強健長壽の

生れであることを示すものである●生命線が亂れて居つて切れ目、島、汚點、班點等があるのは、病弱短命なることを示すものである●生命線に現れたる、班點又は短い横線は、比較的軽い急性病を現すものである●生命線に現れたる島型は慢性病を現し、切斷線は重病を意味するものである●生命線が鎖状型又は波状型をして居るのは、生れつき病弱で、内臟機關特に消化器が弱く、一生病氣がちであることを示すものである●生命線は、人差指と拇指との中間が起點となり、手頸の所に達して居るのを普通とするものであるが、此起點の部位が初年の健康状態、末尾の部位即ち拇指の下方、手頸の所を晩年の健康状態其中間即ち掌の中央の凹みの部位を中年の健康状態を現すものと見るのである。

(二) 頭 腦 線

頭腦線とは、圖解の如く、人差指の下方、生命線の起點の近くから起り、眞横又は斜め下に走る線を云ふのであつて、此線はその人の智能の程度、頭腦力の状態を現すものである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●頭腦線は、細く深く且長くして淡紅色を帯び、亂れや缺陷のないのを大吉相とし、腦力が明敏で記憶力の強いことを現すものである●頭腦線が生命線の起點とごく僅に離れて始まり、長くして缺陷のないのは、克己心獨立心が強く、又意志が強固で剛毅果斷にして操縦力があり、活動的で衆人の上に立ち、財運も豊かなることを現すものである●頭腦線が一直線に掌を横斷する人は、想像力には乏しいが、物質的、事務的の能力を備へ、意志が強固で忍耐力が強く、實際的に成功し金運も豊かである。然し人情味に缺ける嫌ひがあるものである●頭腦線の起點が生糸線と重つて一本となつて居る人は、敏感、緻密で、用意周到の性質であることを現すものである●頭腦線の初めの方の半分が眞直ぐな横線で、後半が斜めになつて居る人は、常識に富み、實務的才能を備へ、想像力も相當に發達して居ることを現すものである●頭腦線の始めの方が生命線と交叉して居る人は、非常に神経過敏で臆病なることを現すものである●頭腦線が甚しく斜めになつて下方へ下つて居る人は、感傷的、空想的で、放縱に流れることを現すものである●頭腦線が生命線の起點と餘りかけ離れて居る人は、兇暴性を備へて所謂向ふ見ずであることを現すもので、不良青年には此線の持主が多いものである●頭腦線が生命線と平行して居る人は理想家である●頭腦線が稀には二本ある人があるものであるが、斯くの如き人は、温順と放胆、情熱と冷靜との二重人格の人であることを現すものである●女子で頭腦線の二本ある者は、頭は良くて職業婦人として、適するが、家庭運が悪く、特に子供に縁が薄いものである●頭腦線全體が、鎖状型又は波状型の人は、頭腦が不健全で、従つて頭も悪く特に記憶力が乏しいものである

る●頭脳線の切れ目は頭の病氣に罹ることを現すものである●頭脳線に、島、汚點、缺陷等のある者は、頭の悪いことを現すものである。

(三) 感情線

感情線とは、圖解の如く、頭脳線の上に在つて、人差指の下方より小指の下方へ向つて走る、長い横線を指して云ふのである。此線は、愛情、感情等の精神状態を示すものである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●感情線は、深く長く且明瞭で、亂れとか汚點とかなく、淡紅色を帯びて居るのを吉相とし、清く高く深き愛情を有することを現すものである●感情線が人差指と中指との中間より起り、亂れのない者は、愛情が深く誠實心を有することを示すものであるが、一面に於いて非常に常識的で、情に溺れるやうなことがないものである。又斯くの如き感情線の者は概して早熟である●人差指の下方から始まり、小指の下方の側面に至る感情線は、清くして強い愛情を現すものである●人差指の下方の側面から起り、小指の下方の側面まで貫く長い感情線は、餘りに愛情が深きに過ぎて盲目的に走り、嫉妬心が強いことを現し、その爲に自ら苦しみを招くことを示すものである●人差指の下方で、頭脳線の

方に垂れ下つて居る感情線は、愛情が濃やかで同情心が深く、犠牲的精神に富む熱情家であることを現すものであるが、その爲に程度を越えた行動をなし、人に裏切られて失望する憂いがあることを示すものである●感情線が、中指の下方より起りて短い者は、利己的で物質慾、名譽心の爲に愛情を犠牲にするものであり、又執念深くして薄情なることを現すものである●感情線と頭脳線が餘りに高くして上方にある者は、理性的で愛情も打算的なことを現すものである●感情線が下方に下り、頭脳線と接近して居る者は、感情に走り理性を没脚するに至ることを現すものである●感情線が薬指の下方から股になつて、頭脳線を横切つて居る者は、痴情の爲に運氣を破るに至ることを現すものである●感情線が中指の下方で股を生じて、頭脳線を横切つて下向する者は、他の反對妨害によつて、相互に熱愛があつても愛情に破れを招き、結婚が不成立に終ることを示すものである●感情線が切れて居るのは、失戀又は愛情生活の破綻を示し、又心臓の弱いことを現すものである●感情線が中指の下方で切れて居るのは、災難、病氣等で、戀愛關係又は結婚生活の破れる憂ひを示し、薬指の下方で切れて居るのは、我儘の爲に戀愛關係、結婚生活の破れを見ることを示し、小指の下で切れて居るのは、物質慾が強い爲に、戀愛關係、結婚生活の破れを見ることを示すものである●感情線が短ければ短い程高等感情に乏しいことを示すものである●感情線が、鎖狀型又は波狀型をなして居る者は、愛情に持

續性がなく、移氣であることを示し、又心臓の弱いことを現すものである●感情線と頭脳線が重合つて一本となつて、掌を横に貫いて居る者は、非常に神経質で物事に對して執着心が強く、又利己主義でけちん坊で、孤獨に陥るに至ることを現すものである●感情線の末端にある短い支線は、子供の數を示すものであり、此線が鎖状型をして居る人は、子供が少なか又は子供が備はらないものである。

(四) 運 命 線

運命線とは、圖解の如く、手頸の邊より中指の直下に向つて上昇して居る線を指して云ふのであつて、此線を一生の運命の動向を現すものとするのである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●運命線に亂れや缺陷がなく、勢ひよく中指の下まで上昇するものを吉相とし、一生の吉運幸福なることを現すものである●運命線が手頸の中央部の上邊より現れて居る者は、自力によつて運命を開く相である●運命線が、小指の下方の手頸の上邊から始まり、中指の下に至る者は、他人の援助、又は世人の人氣によりて運命を開く相である●運命線が拇指の下方の手頸の上邊より始まり、中指の下に至る者は、身内縁者の助けによつて運命を開く相である●運命線から支線が出て、指の方へ上る者は、開運成功を得る吉相であつて、此支線が人差指の下方に上る者は、向上心が強く霸氣に富み、そ

の支線の分岐點が示す年頃から大いに運が開け、成功を克ち得るものであり、此支線が薬指の下方に上る者は非常に幸運で、特に財運が強く、實業家として成功を得るものであり、又此支線が小指の下方に上る者は、頭腦が明敏で科學者に適し、又實業家としても成功の望みがあるものである●運命線が感情線の上に伸びた人は、晩年に於ける幸運を示すものである●運命線が掌の中央から現れて居る人は、中年までは逆境であるが、中年以後に運の開く相である●運命線が頭脳線の邊まであつて、それ以上ない人は、中年までは順調であるが、その後には不遇失意の境遇に陥ることを示すものである。而もそれが頭脳線で遮られて消えて居る場合は自身の考へ違ひから失敗する相である●運命線の始めの部位が、生命線に引つけられてこれに接觸して居る者は、若年時代に家庭の事情の爲に運命を妨げられて不遇を見る相であるが、その所より上の方の線が強く勢ひよく伸びて居れば、家庭を離れることによつてよく障碍を打破して、運命を開拓するに至ることを現すものである●運命線の切れ目は、財運上の困難に遭遇する逆境時代を示すものである。然し假令切れて居つても、その切れた兩端が重り合つて居る場合は、單に境遇の變化だけを意味するものである●運命線にある、班點や短い横線は、その時期に運命上一時的の障碍を見ることを現すものである●運命線が鳥型で始まる者は、幼年時代の病弱なりしことを示すものである●運命線が鳥型で終つて居る者は、晩年運が悪く、貧困

不遇に世を終ることを示すものである●運命線上にある、鳥型、汚點、切れ目は運命の變動波瀾、特に財運上又は道徳上の亂れを示すものである●運命線が、鎖狀型又は波狀型の者は、一生を通じて波瀾が多く、住所職業が轉々として變化し、苦勞の絶えなことを現すものである●左右兩手の運命線が同じ型で、變化のない者は、平穩にして波瀾のない生涯を送ることを示し、反對に甚しく相違する人は、波瀾變化の多い生涯を送ることを現すものである。

(五) 太陽線

太陽線とは、圖解の如く、運命線と並行して手頭の上より薬指の下方へ上昇する線を指して云ふのである。而して太陽線は、幸運、繁榮、成功を現すものであつて、即ち運命線と相關連して、その人の一生の運勢の動向を現すものである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●運命線と太陽線とが共に吉相であつて、始めてその人の運勢が、幸運盛大を得るものであつて、假令運命線だけが吉相であつても、太陽線が少しも現れて居ない人は、概して幸運に恵まれないもので、その成功繁榮の程度に大なる差違があるもので、その一生がどことなく、暗く淋しいものである●運命線が吉相な上に、太陽線が清く長くして分明で、缺陷のない人は、非常に幸運で、大いに成功

發展を得るものである●太陽線が掌の中央部から現れて居る人は、中平から開運を見て、晩年に大いに幸運を得る相である●太陽線上に星型の現れて居る人は幸運に恵まれ、大成功を得ることを現すものである●太陽線の亂れや缺陷は、衰運を現すもので、太陽線を横切る短い横線は一時の衰運を示し、鳥型は地位、名譽の失墜を示し、又切れ目は失意不遇を示すものである。然し切れ目の場合は、それより上の方の線が良い者は運勢の挽回することを示すものである●太陽線上に現れて居る十字型は、地位又は名譽に關して故障の起ることを示すものである●太陽線の切れくゞになつて居るのは、運勢上波瀾盛衰の激しいことを示すものである。

(六) 結婚線

結婚線とは、圖解の如く、小指の眞下に側面から現れて居る短い横線を指して云ふのであつて、大抵の人は二、三本現れて居り、中には七、八本も現れて居る人があるものである。此線は父母兄弟などのような近い肉親でない異性から受ける印象、又これに對する愛情關係を現すものである。今その概略を解説すれば次の如くである。

●結婚線が他の諸線と巾も深さも同じである人は、愛情が濃やかで温みのあることを示すものである

●結婚線が眞直に伸びて居て亂れがなく、鮮明な人は、結婚上幸福を得ることを示すものである●結婚線が短くて不鮮明なのは、戀愛又は婚約はしても實際に結婚を實現するに至らないことを示すものである●結婚線が他の諸線よりも細くて浅い人は、愛情の冷やかなることを現すものである●明瞭な力強い結婚線や不明瞭で弱い結婚線が何本も現れて居る人は、熱情家であることを示すものである●他の諸線に比較して特に細く浅い結婚線が何本も現れて居る人は、移氣で浮氣な性質であることを示すものである●女子で、巾の廣い非常に浅い結婚線の現れて居る者は、冷酷性があり、異性を翻弄して快感を感じるやうな性質を待つて居るものである●結婚線の先端が下方に曲つて感情線に達して居る者は、配偶者に死別することを示すもので、これが女子の場合なれば俗に云ふ後家相である●結婚線の先端が小指の方へ曲つて居る者は、縁遠いことを現し、中には一生未婚に終る人があるものである●結婚線から下向の支線が數多く出て居る者は、配偶者が病弱で苦勞することを示すものである●結婚線の先端が二股に別れて居る者は、夫婦の別居生活を送ることを示すものである。而して此の二股が下向きに曲れる場合は、夫婦離別の悲しみを見る憂ひのあることを示すものである●結婚線が切れ居る者、又は鳥型の現れて居る者は、結婚生活の破綻、紛争苦情等を見ることを示すものである●結婚線が感情線の眞近にある者は早婚を現し、結婚線が小指の根元に近い程晩婚であることを示すものである。

のである。

(七) 金星帯

金星帯とは圖解の如く、人差指と中指の間から、薬指と小指との間にかけて、弓なりに現れる線を指して云ふのであるが、此金星帯の現れて居る人は、非常に感受性が強く、神經過敏で、物事に對して凝性で、何事に對しても一時的には非常に熱するものであるが、永續きしないものであり、又性慾の問題に關して人一倍興味を持ち、その研究に耽弱する傾向があるものである。又金星帯が切れくになつて居る人は、ヒステリックで非常に氣むづかしい性質を有するものである。

(八) 健康線

健康線とは、圖解の如く、小指の下向から斜めに手頭の方へ下つて居る線を指して云ふのである。今此線に就いて概略を解説すれば次の如くである。

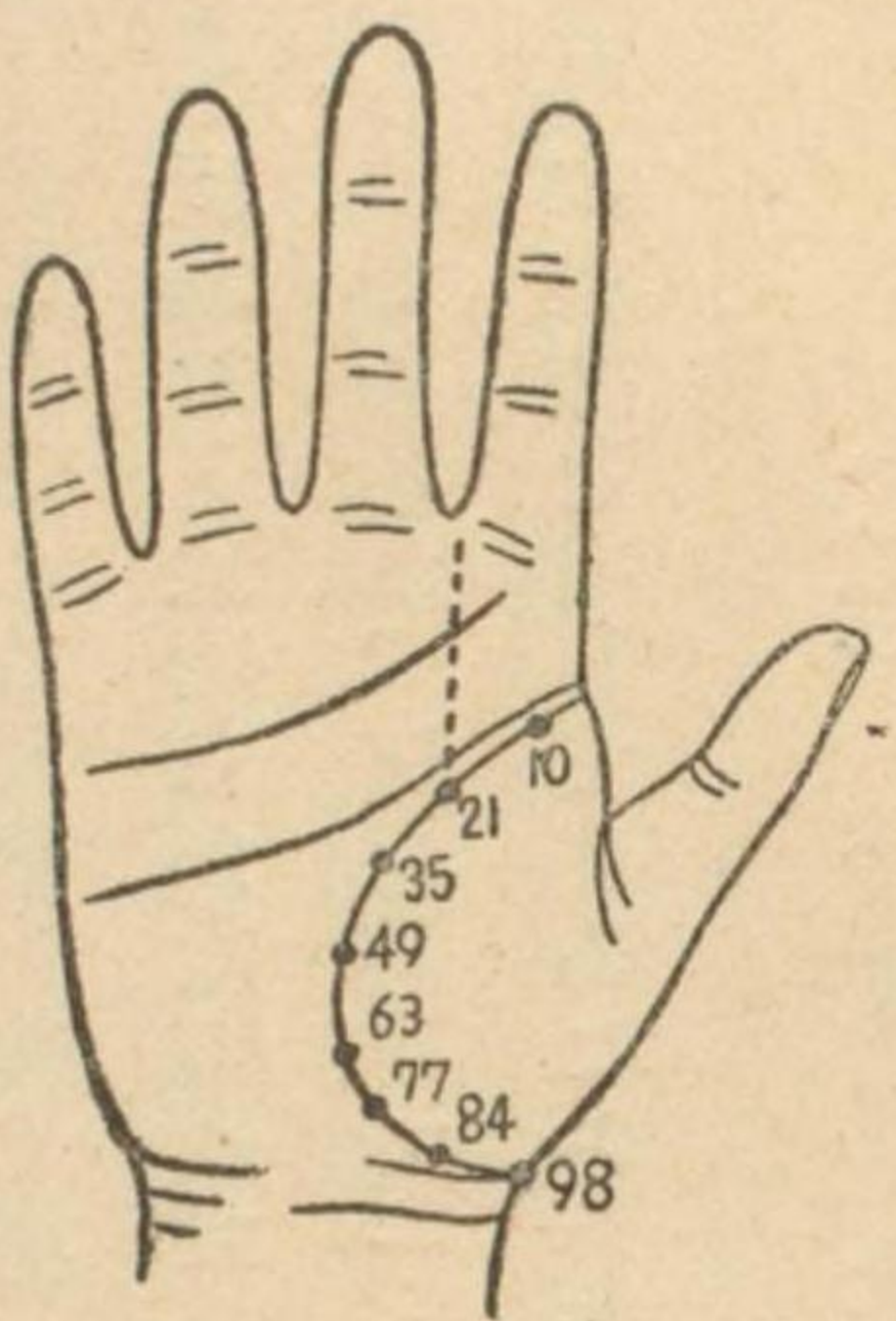
●健康線はどちらかと云へば、却つて現れて居ない方が良いのであるが、若しあるとすれば、生命線

に接近せずして手頭の方へ下るのが吉相であつて、斯くの如き人は體質が健全なることを示すものである●健康線が長く深く、又色が濃くて生命線と交叉して居る者は、體質が弱く重病に罹り易いことを示すものである●健康線上に現れたる島型は、呼吸器系統の病患に犯される憂ひを示すものであり、その島型が大きければ大きい程、病勢の重いことを現すものである●健康線が切れくになつて居るのは、消化器系統の機關の弱いことを現すものであり、これが段々と伸びて生命線を横断するに至れば、消化機關の重病に犯される憂ひを示すものである●健康線が生命線よりも長くして力強く、生命線と交叉するに至れるは、その交叉點が死期を示す憂ひを現すものである。

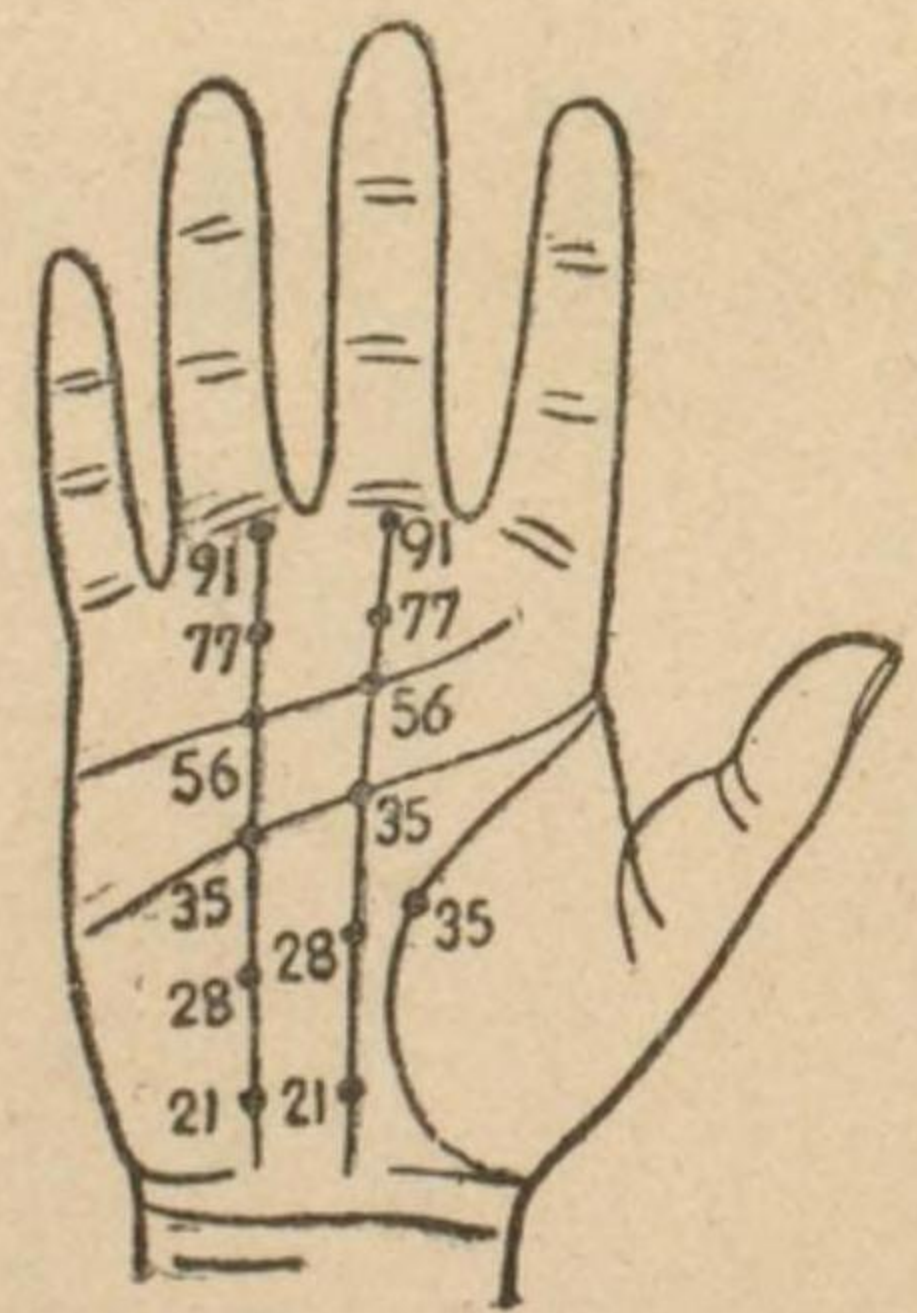
(九) 生命線並に運命線と流年法

生命線に於ける大體の流年法に就いては、先に生命線の解説の終りに於いて一寸説明して置いたのであるが、生命線並に運命線に於ける、年齢別の流年法はこれを圖解に依つて示せば、大體左圖の如くである。

生命線の流年圖解



運命線の流年圖



第八章 家相学手引

家相學の原理

予の研究上より見て、家相學の原理は、衛生學、心理學、及び陰陽循環の理法の三點に存すると考へるのである。次にこれに就いて簡単に説明することにする。

(一) 衛生學上より見たる原理

昔の人には、今日の如く組織立つて衛生學と云う様な科學的研究がなかつた爲に、家相の吉凶を説くに當つて、衛生學上から見て良いとか、悪いとか云ふ様には説いては居ないのであるが、仔細にこれを注意して見ると、家相の吉凶と云ふこと、衛生上に對する適否と云ふこと、が、永い間の實際の經驗上から、巧妙に一致させて説かれて居ることが知られるのである。今その一、二の例を擧げて此關係を次に實證して見ることにする。

例へば、南向の家を家相上吉相とするのは、日當りや通風の點から、衛生上の見地と一致することは改めて説明を要しない所であり、又家の周圍に汚水が停滯して居るのは病難の家相であるとし、家の東方に近く山のあるのは陽氣を塞ぐ構へで凶相であるとするが如きも、衛生上害があると云ふ點から來て居ると云ふことは明らかなる所である。此他にも例を擧げれば、衛生學上の見地と一致する所は色々であるのであるが、煩を避けて一々茲に列擧することは省略するが、以上の例より見ても、家相學が衛生學に根據を有して居ることを斷定し得るのである。

(二) 心理學上より見たる原理

予が、家相が心理學の見地に根據を有して居ると考へるのは、即ち次の如き實例によつてである。

例へば家の周圍に、大木又は古木に非ざる、灌木、竹林等が生え茂つて居るのは吉相で、富貴をもたらし、文學思想に秀でたる者を出すとか、又、中庭に花の咲く樹木を植えるのは、家族に色慾を起さして、家庭の平和を亂す惧れがあると云うことが、家相上に説かれてあるのは、その家に住む人の心理的影響が多分に加味されて居るものと云へるのである。古人も居は氣を移すと云つて居り、家相がその家の居住者に心理的影響を與へることは必然の理であつて、家相の吉凶を論ずるに當つては、此心理學の原理を考慮すべきであると思ふのである。

(三) 家相學と陰陽循環の理法

在來の家相を説いた書物には、陰陽循環の理法と云ふことは、明確には説示されて居ないのであるが、例へば、鬼門即ち丑寅の部位が、家相上特に重要視されて居ること、又、辰巳即ち東南の部位に門や玄關を設けるのを吉相とすること、又、戌亥即ち西北の部位に倉庫を設けるのを吉相とすることなどが説かれて居るのは、凡て陰陽循環の理法に基づいて居ると考へるのである。即ちその理由は、丑寅（東北）に當る部位は、陰氣の活動が始まる所で、陰陽轉換の所點に當るから、これを重要視して居るのであり、辰巳（東南）は陽氣の勢ひが最も旺んなる部位に當るから、門